第１７号議案

２０２０年度に小学校において使用する教科用図書および小学校の特別支援学級において使用する学校教育法附則第９条第１項に規定する教科用図書の採択の適正を図るため、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第８条に定める選定に必要な資料について

２０２０年度に小学校において使用する教科用図書および小学校の特別支援学級において使用する学校教育法附則第９条第１項に規定する教科用図書の採択の適正を図るため、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第８条に定める選定に必要な資料について、次のとおり定める。

令和元年６月６日

滋賀県教育委員会

資料 1

小学校教科用図書選定に必要な資料（2019 年度作成）

― 小　学　校 ―

「選定に必要な資料」の活用について

国　　語 …… 1
書　　写 …… 9
社　　会 …… 19
地図（社会） …… 27
算　　数 …… 33
理　　科 …… 43
生　　活 …… 53
音　　楽 …… 65
図画工作 …… 71
家　　庭 …… 77
保　　健 …… 83
英　　語 …… 93
道　　徳 …… 105
参考資料 …… 117

「選定に必要な資料」は、いずれの種目（教科）においても、次の４つから構成されている。

① 観点の内容：「観点」「観点のための研究調査事項」「指導についての留意事項」を示したもの
② 調査方法：カウントした内容・項目について説明したもの
③ 調査結果：「観点のための研究調査事項」について○印を入れて示したもの
④ 選定のための参考：各発行者の特長を総合的に文章表記したもの

滋賀県教育委員会

小学校教科用図書「選定に必要な資料」の活用について

滋賀県教育委員会

1　「選定に必要な資料」作成にあたっての基本的な考え方

(1)　「選定に必要な資料」を作成するにあたっては、文部科学省の指導通知に基づき、各採択権者において、より参考となるよう内容の一層の工夫・充実を図った。

(2)　研究調査については、種目（教科）ごとに学習指導要領に示された目標を達成するための観点を中心として、「観点」「観点のための研究調査事項」「指導についての留意事項」を設定し、客観性を重視した。

(3)　「観点のための研究調査事項」については、種目（教科）ごとに各発行者の特長を○印で示した**「調査結果」**を作成した。他の教科書との比較の上、その教科書で重きを置いている研究調査事項の３つに○印を付した。

(4)　**「選定のための参考」**については、**「調査結果」**を基に種目（教科）ごとに特長を総合的に文章表記した。

2　「選定に必要な資料」活用にあたっての留意事項

(1)　**「選定のための参考」**を熟読し、調査研究に活用すること。

(2)　**「調査結果」**の○印のみに注目することなく、総合的に研究調査をすること。

①**「調査結果」**の○印と併せて、教科書での取扱い・取り上げ方についても、十分調査研究をすること。

②「調査結果」の元資料として、観点のための研究調査事項について、項目数やページ数をカウントして作成した「調査結果（数値）」を、参考までに資料の最後に添付している。

(3)　「研究調査事項」については、「指導についての留意事項」で示した内容をふまえ研究調査に活用すること。

(4)　**「調査方法」**については、種目（教科）ごとに示しているので、**「調査結果」**を見る際の参考にすること。

国　　語

東　京　書　籍

学　校　図　書

教　育　出　版

光　村　図　書

観点の内容

国語科　目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
（2）日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
（3）言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

観　点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A　知識及び技能	・伝統的な言語文化や言葉の特徴やきまり、使い方に関する内容を取り上げている箇所数 ・情報の扱い方に関する内容を取り上げている箇所数	・日常の言語活動の中にある言葉の特徴やきまりなどに気付くことや、学習したことを日常の場面に生かすことを意識しながら学習できるように留意する。
B　思考力・判断力・表現力等	・話すこと・聞くことを学習課題として取り上げたり、学習活動を学習過程の中に示したりしている箇所数 ・書くことを学習課題として取り上げたり、学習活動を学習過程の中に示したりしている箇所数 ・読むことの力を高めるための文章の種類や内容について、文学的文章、説明的文章、詩・短歌・俳句等の数	・話すこと・聞くことを一体的にとらえ、説明、発表、対話、討論などの言語活動を通して、目的に応じて効果的に話をしたり、相手の意図を捉えながら聞いたりすることができる言語能力を意図的、計画的に育成する。 第１学年及び第２学年は年間３５単位時間程度、第３学年及び第４学年は年間３０単位時間程度、第５学年及び第６学年は年間２５単位時間程度を配当する。 ・説明、記録、手紙、感想などを書くことや、意見発表のための文章や資料を作成するなどの言語活動を通して、相手や目的に応じ、条件に合わせて効果的な文章を書くことができる言語能力を意図的、計画的に育成する。 第１学年及び第２学年は年間１００単位時間程度、第３学年及び第４学年は年間８５単位時間程度、第５学年及び第６学年は年間５５単位時間程度を配当する。 ・多様な文章を取り上げ、内容や要旨を捉えながら読む、調べるためによむ、音読や朗読をする活動を通して、目的に応じて文章の内容を的確に読みとることのできる言語能力を意図的、計画的に育成する。
C　学びに向かう力・人間性等	・学習指導要領の言語活動例に関わる内容の数 ・目的に応じた読書への誘いを内容とする学習課題の箇所数	・どのような言語活動を通して資質・能力を育成するか明確にする。 ・児童の読書意欲を高め、日常生活における読書活動につながるよう留意する。

調査方法

種目名【　国語　】

観点	調査した内容・項目についての説明
A 知識及び技能	・伝統的な言語文化を取り上げている箇所数について調査を行った。 例）昔話、俳句、短歌、古文、漢文等 ・言葉の特徴やきまり、使い方に関する内容を取り上げている箇所数について調査を行った。 例）話し言葉と書き言葉、ローマ字、主語と述語、修飾語、敬体と常体、比喩、音読や朗読等 ・情報の扱い方に関する内容を取り上げている箇所数について調査を行った。 例）関係、整理の仕方、手段等
B 思考力・判断力・表現力等	・話すこと・聞くことを学習課題として取り上げたり、学習活動を学習過程の中に示したりしている箇所数について調査を行った。 例）感想を述べる、少人数で話し合う、調べたことを話す・聞く、グループや学級で話し合う、自分の考えを話す・聞く等 ・書くことを学習課題として取り上げたり、学習活動を学習過程の中に示したりしている箇所数について調査を行った。 例）経験したことを書く、記録する、伝えたいことを書く、想像したことを書く、考えたことを書く等 ・読むことの力を高めるための文章の種類や内容について、調査を行った。 例）文学的文章、説明的文章、詩・短歌・俳句等
C 学びに向かう力・人間性等	・学習指導要領の言語活動例に関わる内容の数について調査を行った。 例）他教科等の学習や学校の教育活動全体と関連させる活動 ・目的に応じた読書への誘いを内容とする学習課題の箇所数について調査を行った。 例）本、新聞、雑誌、調べるための資料等

調査結果　国語

		観点A			観点B			観点C	
		知識及び技能			思考力・判断力・表現力等			学びに向かう力・人間性等	
発行社	研究調査事項	伝統的な言語文化を取り上げている箇所数	言葉の特徴やきまり、使い方に関する内容を取り上げている箇所数	情報の扱い方に関する内容を取り上げている箇所数	話すこと・聞くことを学習課題として取り上げたり、学習活動を学習過程の中に示したりしている箇所数	書くことを学習課題として取り上げたり、学習活動を学習過程の中に示したりしている箇所数	読むことの力を高めるための文章の種類や内容について、文学的文章、説明的文章、詩・短歌・俳句等の数	学習指導要領の言語活動に関わる内容の数	目的に応じた読書への誘いを内容とする学習課題の箇所数
東京書籍	1年生		○	○					○
	2年生		○	○			○		
	3年生		○				○		○
	4年生		○	○	○				
	5年生		○			○			○
	6年生		○				○		○
学校図書	1年生			○	○	○			
	2年生	○		○			○		
	3年生				○	○		○	
	4年生					○	○	○	
	5年生		○				○	○	
	6年生		○			○	○		
教育出版	1年生	○	○				○		
	2年生				○	○		○	
	3年生		○		○	○			
	4年生			○		○		○	
	5年生	○		○				○	
	6年生			○	○	○			
光村図書	1年生		○				○		○
	2年生	○				○			○
	3年生	○		○					○
	4年生	○		○					○
	5年生	○		○	○				
	6年生	○		○					○

種目名　国　語	発行者名	東京書籍株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・１年生の教科書には、声のものさしが示されている（最初の単元・巻末資料）。 ・１年生の促音・拗音等では、記号や動作で発声を示している。 ・各単元の終わりに「ことば」や「漢字」の項目が取り上げられている。 ・各巻の巻末には、「言葉の広場」を設定している。 ・単元の導入のページ冒頭には、既習の「言葉の力」が書かれており、他学年の学びのつながりを意識できるようになっている。 ・単元の中で特に押さえておきたい知識・技能を取り上げる「おさえる」を新設している。 ・３年以上のはじめに、書くことと関連させて、「情報の扱い方」に関する指導事項が位置付けられている。 ・３・４年に限り、単元末に付録として「情報の扱い方」について見開き２ページにまとめてあり、必要に応じて使えるようになっている。
B 思考力・判断力・表現力等	・話合いの題材が地域に広がる題材になっている。 ・「つかむ」で学習のねらいを理解し、見通しがもてるようになっている。 ・高学年の題材では、問題意識をもたせ、学習のねらいを明確にもたせている。 ・全学年で「生活の中の言葉」のページが設定してあり、どのように話せばコミュニケーションがうまくとれるかを考えることができる。 ・様々なプレゼンテーションの方法を紹介していて、表現に力を入れている。 ・書く活動における情報の集め方の例が充実しており、参考にしながら学習を進めることができる。 ・他教科等への生かし方の例が掲載されていて、学習したことを他に生かす参考として有効である。 ・書いたものをよりよくするためにどうすればいいかを児童に考えさせる投げかけがあり、見直しや推敲を促す一助とすることができる。 ・文学的文章や説明的文章の単元のはじめに、その単元でどんな力をつけるのかが１ページを使って整理してあり、児童にも分かりやすい構成となっている。 ・上学年の説明的文章では、環境・情報・将来のこと・福祉など、児童の身近なことにかかわる文章が取り上げられており、興味をもちやすい。 ・単元の「問い」を解決するための言語活動、学習の見通しが示されている。 ・考えを形成する手立てとして、「ノートの使い方」がある。
C 学びに向かう力・人間性等	・言葉の力を他教科や日常生活に生かす観点が振り返りで示されている。 ・各単元の終わりに、２～４冊程度の関連作品を表紙を載せて紹介している。本の題名も示してある。 ・全学年で、「作家の言葉」を受けた形で「○年生の本だな」として読書紹介のページを設けており、各図書の紹介文も充実している。

種目名　国　語	発行者名	学校図書株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・２年生以上は「季節のたより」で、年４か所、四季に応じた言葉を取り上げている。４年生以上は季節の言葉を用いた俳句等も紹介されている。 ・「言葉のきまり」「言葉のいずみ」「レッスン」など、言葉について取り上げているページが設定されている。 ・３年生以上は、「言葉をつないで文を作ろう」を６か所（２年生は５か所）設定されており、全学年の配当漢字が含まれた単語を使い、テーマに沿って短文を作る活動が取り入れられている。 ・巻末に「言葉の部屋」がある。 ・年度当初に「言葉でつながる」という学級づくりに役立つ話合いの活動が設定されている。 ・「情報の扱い方」については、３年生以上において、論理的思考力と創造的思考力にかかわる教材文を見開き２ページずつ掲載している。 ・「視点を変える」と題した情報の見方や情報に対する考え方に関する指導事項を３年生以上で年間見開き２ページずつ配置している。
B 思考力・判断力・表現力等	・話合いの題材が学校の中のものになっている。 ・話合いの形態について５年生は「討論会」、６年生は「パネルディスカッション」というように、いろいろな方法を示している。 ・他の領域と関連付けることなく、「話す・聞く」だけで単元を構成しているものが多い。 ・書くことの「まとめ方」の例として、イメージマップ、構成図、論の進め方、図などの例が多く示してあり、分かりやすい。 ・全体的に写真や図、資料が豊富である。「書くレッスン」のコーナーが配置されており、書く際に参考にすることができる。 ・読む領域において、「視点を変えて読む」など発展的活動についても取り上げている。 ・巻末に「資料」として物語文や説明文が掲載されており、学習をさらに深めることができる。 ・「てびき」の説明に読むための目的や、読み進めていく手順を示している。 ・説明的文章では、４年生以上の下巻冒頭に読み比べの教材を設定している。
C 学びに向かう力・人間性等	・高学年には、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」の領域を有機的に関連させた複合単元が設定されている。 ・各学年「読書の部屋」として紹介文付きで読書案内をし、３年生以上には、その後に読書記録について系統的に配列している。 ・各巻末に２・３冊の関連作品を載せている。

種目名　国　語	発行者名	教育出版株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・語彙を増やすような「言葉を学ぼう」「言葉を増やそう」の項目が設定されている。 ・「漢字広場」を学年に６か所設けている。（１年生は４か所） ・巻末の付録として、「言葉の木」が掲載されている。 ・「情報の扱い方」に関する指導事項を章立てすることはせず、教材文を指導する中で、単元末に指導のポイントとしておさえている。 ・付箋やカード、様々な思考ツール等を使って、考えを分類・整理したり、構成したりする学習を数多く取り入れている。
B 思考力・判断力・表現力等	・複数の領域と関連付けている。「書く」「読む」と関連付けた「話す・聞く」の単元がある。 ・高学年では、「『うれしさ』って何？」というような哲学対話や、「地域防災について考えよう」など、話合いの題材が多彩である。 ・児童が書く活動を行う際に、参考にできるようなテーマの例が多い。 ・学習活動の流れが丁寧に示されている。 ・第４学年上巻では、短い物語を作る単元が配置されているなど、新しいジャンルの学習活動もあり、幅広い活動が期待できる。 ・読むことの単元において、学習活動の流れを示しているページでは、予想される児童の意見例を取り上げ、実際の活動をイメージしやすくする工夫が見られる。 ・巻末の付録で、本教材の理解の助けとなるような資料の掲載がある。
C 学びに向かう力・人間性等	・各巻冒頭に「○年生で学ぶこと」、終わりに「学ぶ時に使う言葉」という学習を整理したページがあり、他教科での活用が期待できる。 ・各単元末に、２．３冊の関連作品を示し、特に推薦する作品には紹介文をつけている。 ・全学年、上下巻末にまとめて「○年生で読みたい本」として、ジャンルやテーマ別に紹介文付きの読書案内のコーナーを設けている。６年生のみ、読書案内の前に、作家や翻訳家の言葉を載せている。 ・６年生では、卒業の時期に、郷土をテーマとした教材を位置付けている。

種目名　国　語	発行者名	光村図書出版株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・その学年で身に付けさせたい「言葉の宝箱」が２年生以上の巻末に設置されている。 ・「書く」の単元の中にも、書いた成果物を読み直すときのポイントが明確に示されている。 ・２学年以上の各学年４か所に「季節の言葉」を設け、季節感や伝統行事、風物詩を感じられる題材が取り上げられている。 ・３年生以上の各学年２か所に「声に出して楽しもう」が設定されており、俳句や短歌などの言語作品に触れて、音読したり、暗唱したりできる学習が位置づけられている。 ・「情報の扱い方」を「考える」、「情報を関連づける」、「集める」「調べる」と分類してとらえ、３年以上において見開き２ページで系統的に位置付けられている。
B 思考力・判断力・表現力等	・学年の初めに「言葉のじゅんび運動」のページがあり、楽しんで話す聞く活動ができるように工夫されている。 ・「言葉のじゅんび運動」では、話型が示され「話す・聞く」の基本が示されている。 ・「読む」「書く」の単元において、話合いの言語活動が設定されている場合、お手本となる話型等が示されている。 ・文章が「聞きあおう」になっていて、聞くことに重点を置いている。 ・話し合いの題材が学校の中のものになっている。 ・書くための手助けとなる具体例や、活動手順が示されている。 ・巻末の付録に、考えを図で表すことや文章の書き方が具体的に示されている。 ・中・高学年の説明的文章の単元では、まず短い文章で読解の練習をしてから中心教材で活用できるように構成されている。 ・文学的文章では、他者理解、平和、自然、動物愛護、国際社会などをテーマとした教材文が取り上げられており、学習したことを実際の生活に生かせるように工夫されている。
C 学びに向かう力・人間性等	・文学的文章の学習後には、学習したことを実際の生活に生かせるような工夫がされている。 ・単元末において、３冊程度の関連作品を紹介文付きで挙げている。単なる紹介にとどまらず、教材文と関連付けどのような視点で読み広げるのかについて示されている。 ・物語文や説明文等の最終ページに関連作品を画像入りで紹介するなどの工夫がなされてる。

書　　写

東　京　書　籍

学　校　図　書

教　育　出　版

光　村　図　書

日　本　文　教

観点の内容

国語科書写　目標

（1）文字を正しく整えて書くことができる。
（2）硬筆を使用する書写の能力の基礎を養う。
（3）書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てる。

観　点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A　知識及び技能	・点画の種類や字形、筆順の例示掲載数 ・姿勢や持ち方など書き方についての注意例の数	・毛筆を使用する書写の指導が、毛筆書写の能力の育成で完結してしまわないように、毛筆と硬筆との関連的な指導を一層工夫するよう留意する。
B　思考力・判断力・表現力等	・手本となっている文字の数 ・手本に関わる例示の数	・硬筆を使用する書写の指導は各学年で行い、必要に応じて、取り立てて指導したり、〔思考力、判断力、表現力等〕に示す事項と関連付けたりするように留意する。
C　学びに向かう力・人間性等	・様々な用紙（ノート、模造紙、手紙、半紙、画仙紙など）への縦書き、横書き例や筆記具の紹介例の数	・書写の学習で身に付けた資質・能力を、各教科の学習や生活の様々な場面で積極的に生かし、適切に書けるように留意する。

調査方法

種目名【　書写　】

観点	調査した内容・項目についての説明
A 知識・技能	・点画の種類や字形、筆順の例示を掲載している数について調査を行った。 （例）横画、縦画、左払い、右払い、折れ、曲がり、そり、点など ・姿勢や筆の持ち方など基本的な書き方についての注意の数について調査を行った。 （例）始筆から送筆、終筆の止め、はね、払いまでを意識して丁寧に書くなどの記述
B 思考力・判断力・表現力等	・硬筆、毛筆の手本の大小を問わず、手本数について調査を行った。 ・手本を書く際の留意事項（文字の大きさや字間、筆づかいなど）を解説している箇所数について調査を行った。 （例）形についての注意書き
C 学びに向かう力・人間性等	・ノート、模造紙、手紙、半紙、画仙紙など様々な用紙に縦書きの例、横書きの例や紹介されている筆記具の数について調査を行った。 （例）ノートに書く、パンフレットを作る、手紙を書くといった具体的な活動の例示、硬筆で書くとよいか、毛筆で書くとよいか、情報機器の方が効果的かなどの記述

調査結果　書写

発行社	研究調査事項	観点A 知識及び技能		観点B 思考力・判断力・表現力等		観点C 学びに向かう力・人間性等
		点画の種類や字形、筆順の例示掲載数	姿勢や持ち方など書き方についての注意例の数	手本となっている文字の数	手本に関わる例示の数	様々な用紙（ノート、模造紙、手紙、半紙、画仙紙など）への縦書き、横書き例や筆記具の紹介例の数
東京書籍	1年生		○	○	○	
	2年生		○	○	○	
	3年生		○	○		○
	4年生			○	○	○
	5年生		○	○	○	
	6年生		○	○	○	
学校図書	1年生	○	○			○
	2年生	○	○			○
	3年生	○	○			○
	4年生	○	○			○
	5年生	○	○			○
	6年生	○	○			○
教育出版	1年生	○			○	○
	2年生	○	○		○	
	3年生	○			○	○
	4年生	○	○		○	
	5年生	○			○	○
	6年生	○	○			○
光村図書	1年生	○		○		○
	2年生			○	○	○
	3年生		○	○	○	
	4年生		○	○	○	
	5年生		○	○	○	
	6年生			○	○	○
日本文教	1年生	○			○	○
	2年生	○	○			○
	3年生	○	○		○	
	4年生	○	○			○
	5年生		○	○		○
	6年生		○	○		○

種目名　書　写	発行者名	東京書籍株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・姿勢・持ち方、点画・筆使い、書くときの動き、字形、字間などの配列、筆記具という書写で学ぶことを「書写のかぎ」として、系統立てて示している。例えば、始筆・送筆・終筆や横画・縦画などの「書写のかぎ」について、第３学年から第６学年まで、学習事項や既習事項としてインデックスで示し、何を学んでいるのか児童が見てすぐに分かるように工夫されている。 ・第１学年では、右利き左利き両方の写真を載せ、鉛筆の持ち方を示し、第３学年では、毛筆の場合、用具を左右入れ替えるとよいなどの注意書きがしてある。また、書き込み欄を上下・左右に配し、利き手に限らず手本が見やすいようにしてある。 ・どこまでを一画で書くものなのかがよく分かるように、点画を分解し、それぞれに色を変えたり、全ての漢字に書き順を示したりして、全ての児童が学びやすいようにしてある。
B 思考力・判断力・表現力等	・「すうっ」「ぴたっ」「とめてからぴょんとはねる」などの擬音語を用いて、注意書きや、それに合わせたキャラクターの動き、記号などを用い、児童が理解しやすいように工夫されている。 ・硬筆、毛筆の手本が大小に関わらず豊富で、手本を書く際の文字の大きさや字間、筆使いなどの解説が詳しく記述してある。また第１学年の教材は書き始めと書き終わりの記号を添えるなど段階的に細かい動きができるように導いている。 ・「書写のかぎ」を実際に書くことで確かめ、理解が深められるように「見つける」「確かめよう」「生かそう」の３つの構成にしてある。
C 学びに向かう力・人間性等	・「生活に広げよう」では、ノートやメモ、新聞やリーフレット等の作品例を紹介し、書写で身に付けた知識・技能が他教科の学習や特別活動等で生かせるように工夫されている。 ・「文字のいずみ」では、童謡や俳句・短歌、古文などをなぞり書きする活動や漢字や仮名の成り立ち、世界の文字などに関するコラムを数多く掲載し、我が国の伝統的な言語文化や世界の文字文化に親しめるようになっている。 ・第１学年、第２学年の教科書には、水書用紙と絵筆を使って書く例が取り上げられている。巻末には水書用紙がついている。

種目名　書　写	発行者名	学校図書株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・教科書の巻末あたりに、横画と縦画、折れ、曲がり、払いや点画のつながりと筆順などの１年間で学んだことを書いて確かめられるようにしてあり、前の学年で学んだことを復習できるように工夫されている。 ・全学年で、字形や筆順などについて「書き方のカギ（見方・考え方）」として示してあり、「止まらないで曲がる」や「長さの違いなどに気を付けよう」などの説明がしてある。 ・全学年で、よい姿勢・鉛筆の持ち方、折れ、曲がりなどの基本的な点画等についての書き方の説明として二次元コードを配している。それをタブレット等で読み取ることで、インターネット上のコンテンツを補助資料として利用しながら児童が学べるようにしてある。
B 思考力・判断力・表現力等	・書写学習には「手本」が欠かせないため、第３学年以上の毛筆教材には、原寸大教材が示されている。特に、半紙原寸大の教材が充実している。また、書き初め教材についても、開いてそのまま使えるような工夫がされている。 ・単元の最後には「ふり返ろう」という欄が設けてある。そこでは、例えば、第５学年において「文字と行の中心に注意してかけているか」など、手本を書く際の注意書きを参考にしながら自分で確認できるようにしてある。 ・教科書で練習した漢字は、巻末に手本の一覧表として掲載し、効果的な書字練習ができるようにしてある。
C 学びに向かう力・人間性等	・国語教材の一部分を書いたり、はがきや封筒の宛先を書いたりするなど、書き込み欄が多く、書写の学習で身に付けた知識・技能が日常生活や学校生活の中で生かすことができるように工夫されている。 ・「書写の資料館」では、書き初めや新聞、ポスターなどの作品例やはがきや原稿用紙の書き方などの資料が多数掲載されている。 ・「なぜ？なに？書写の不思議」では、筆記具や用紙の製造方法や文字の成り立ちなどについて紹介し、書写学習の興味・関心を高めている。

種目名　書　写	発行者名	教育出版株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・適切に運筆する力を付けるために、「よい姿勢」「鉛筆の持ち方」「しょしゃ体そう」などを配し、手・足・体を使い、「とん・すう・ぴたっ」などの合い言葉を唱え、楽しみながら学べるように工夫されている。 ・低学年では「なぞり書き」で折り返しや曲がり、結びなどの違いが分かるように図示している。また、中学年以上は「穂先の通り道」を掲載し、筆使いの注意書きや筆順などが図示されており、書き方の基本が確実に身に付くようになっている。 ・ますの中を四種類の色で四分割し、どこから書き始めるとよいか示したり、書き誤りやすい文字例などを重点的に扱ったりするなど、つまずきやすい児童への配慮がされている。
B 思考力・判断力・表現力等	・「めあて」「考えよう」「ここが大切」「生かそう」「ふり返ろう」の流れで学習が進められるようになっている。例えば、筆使いの注意書きとそれを示した図を合わせて掲載し、自分の書き方の課題につながる「問い」が生まれるように工夫されている。 ・文字の大きさや字間、筆使いなどの注意書きが豊富である。 ・右ページに大きな手本、左ページでポイントを確認できる紙面構成になっており、写真やイラスト、言葉で筆使いが理解しやすくしてある。
C 学びに向かう力・人間性等	・「レッツトライ」では、見学メモや理科ノートの書き方などを紹介したり、「書いて伝えあおう」では、下書きから成果物の完成までの学習過程が分かりやすく示したりするなど、書写で学習した内容を他教科や学校生活に生かすことができるように工夫されている。 ・全学年で手紙やはがきの書き方を取り上げ、書写で学習した内容が学校生活で活用できる場面を紹介している。 ・第５学年の教科書では、様々な筆記具や用紙を紹介し、場面に合わせた書き方の工夫について示している。

種目名　書　写	発行者名	光村図書出版株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・第２学年以上の全教材に「たいせつ」という欄を設け、学習のポイントを示している。また、「中心に気を付けて書くと、字の形がととのう」などの注意書きを記載し、他の字を書くときにも活用できる基礎・基本を明確に示す工夫がしてある。 ・第１学年では、書き始め、書く方向、止めなどについて、記号や数字、イラストなどで図示し、視覚的に分かるような配慮がしてある。また、第１・第３・第５学年には、腕を大きく動かして文字を書く「空書き」を位置付け、「点画の書き方」への理解が深まるようにしてある。 ・「筆使い」「正しい姿勢」「アルファベットの書き方」などについて紙面上に二次元コードを配し、タブレットなどで読み取ると、簡単に閲覧できるようになっている。
B 思考力・判断力・表現力等	・字形の整え方については、教材文を大きくすっきりと示してある。また文字のバランスについてはイラストや字間などに変化をつけて違いを見つけさせるように問題形式で考える工夫がしてある。 ・硬筆、毛筆の手本が豊富で、手本を書く際の文字の大きさや字間、筆使いなどの解説が詳しく記述してある。 ・第３学年では、「たしかめようシール」を使って手本を書く際の注意書きが自己評価や相互評価に活用できるようにしてある。
C 学びに向かう力・人間性等	・全学年で国語教科書と連動した教材（手紙の書き方など）や生活科、算数科、社会科など他教科でも生かせる教材が取り扱われており、書写の学習が日常生活において活用できるような工夫がしてある。 ・家の人に向けて学習発表会の招待状を書いたり、調べたことを新聞にまとめたりする活動など、家庭や地域社会と関わる言語活動を紹介している。 ・第１学年、第２学年の教科書では、「水ふでで書いてみよう」という学習を設定し、水筆を使って書き運筆を体感する学習を取り扱っている。

種目名　書　写	発行者名	日本文教出版株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・第３学年以上の毛筆教材では、毛筆学習で習得した書写の力を硬筆に生かせるように、それぞれの学習ページに「いかす」という欄を設け、硬筆での書き方が例示してあり、硬筆と毛筆の書き方の一体化を図る工夫がしてある。 ・姿勢や筆記具の持ち方の写真やイラストを、ポイントを明示しながら大きく示し、児童がいつでも確認できるように巻頭に掲載してある。また、払いの書き方を「すうっとはらう」などの注意書きとイラストで示すなど、文字を整えて書くための筆使いがイメージしやすいようにしてある。 ・「点画の組み立て方」「部分の組み立て方」「筆順」などについて、色分けや補助線、矢印などの向きなどを図示し、全ての児童に分かりやすい注意書きがしてある。
B 思考力・判断力・表現力等	・第６学年では、右側のページの書き込み欄に普段書いている文字を書く。左のページを折ると、次のページから手本が現れる。手本と比較し、自分の課題を見付け、友達と話し合う。下段には読みやすく書くための既習事項を整理して示すなど、自分の文字の課題が分かるような工夫がしてある。 ・手本の注意書きを示すだけでなくキャラクターの言葉にめあてを達成するためのヒントを隠し、自分の文字と手本を比べ、主体的に学べるようになっている。 ・学年のはじめに、前学年までの既習事項を振り返る教材を設定し、学年の終わりには、その学年で学習したことのまとめ教材を示し、積み重ねを意識している。
C 学びに向かう力・人間性等	・「国語の広場」では、学年や領域に応じた言語活動（報告文や提案する文を書くなど）を紹介し、目的や相手を意識した書き方が日常生活に生かせるように工夫している。 ・「生活と書写」では、絵日記や原稿用紙、学級新聞やポスターなど、他教科や総合的な学習の時間、日常生活など、様々な場面で参考にできる資料を多数掲載している。 ・第５学年、第６学年では、活字と手書き文字の違い、筆記具の種類や特徴を考える場面を設けている。

社　会

東　京　書　籍

教　育　出　版

日　本　文　教

観点の内容

社会科　目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

（1）　地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

（2）　社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けた社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。

（3）　社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

観　点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A　知識及び技能	・地域や我が国の地理的環境、歴史や伝統文化、政治の動き、我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割について理解させるための教材・学習活動の箇所数 ・年表、地図、図、写真等の箇所数や資料の比較、意見の交流や記述を促そうとする箇所数	・地域や我が国の地理的環境、地域や我が国の歴史や伝統文化、現代社会の仕組みや働きを通して、社会生活についての総合的な理解を図るための知識を習得させることに留意する。 ・調査活動や諸資料の活用など手段を考えて問題解決に必要な社会的事象に関する情報を集める技能、集めた情報を読み取る技能、読み取った情報を問題解決に沿ってまとめる技能を児童が身に付けるよう指導することに留意する。
B　思考力・判断力・表現力等	・我が国の国土と産業の様子や特色を総合的に理解させることを取り扱っている教材・学習活動の箇所数 ・身近な地域及び国土の遺跡や文化財などの観察や調査に対する関心を高める内容を取り扱っている箇所数	・社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて、学習したことを基に、社会への関わり方を選択・判断する資質・能力を目指すことに留意する。 ・考えたことや選択・判断したことを説明する力や、考えたことや選択・判断したことを基に議論する力と資料等を用いて作品にまとめたり図表に表したりする表現力を育成できるように留意する。
C　学びに向かう力・人間性等	・社会的事象について、主体的に学習の問題を理解し、行動につながる教材・学習活動の箇所数 ・自分たちの住んでいる社会生活を総合的に理解させるための教材・学習活動の箇所数	・主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度が育成できるように留意する ・地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さを捉えるよう留意する。

調査方法

種目名【　社会　】

観点	調査した内容・項目についての説明
A 知識及び技能	・我が国の歴史や伝統文化、政治の動き、我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割について理解させるための教材・学習活動の箇所数について調査を行った。 例）「歴史上の人物」と「代表的な文化遺産」が記載されている箇所および世界の国の人々の生活と国際交流の役割について記載されている箇所 ・年表、地図、図、写真等の箇所数や資料の比較、意見の交流や記述を促そうとする箇所数について調査を行った。 例）年表、地図、図が記載されている箇所
B 思考力・判断力・表現力等	・我が国の国土と産業の様子や特色を総合的に理解させることを取り扱っている教材・学習活動の箇所数について調査を行った。 例）領土に関する記載がされている箇所および日本の貿易や運輸についての記載されている箇所 ・身近な地域や市の様子の移り変わりなどの観察や調査に対する関心を高める内容を取り扱っている箇所数について調査を行った。 例）見学調査の方法、学習の進め方やまとめ方について具体的に記述されている箇所や、元号・少子高齢化・国際化について記載されている箇所
C 学びに向かう力・人間性等	・社会的事象について、主体的に学習の問題を理解し、行動につながる教材・学習活動の箇所数について調査を行った。 例）自然災害に関して記載されている箇所および情報を生かして発展する産業について記載されている箇所 ・自分たちの住んでいる社会生活を総合的に理解させるための教材・学習活動の箇所数について調査を行った。 例）地域の生産や販売に携わっている人々の働きについて記載されている箇所や滋賀県について記述されている箇所

調査結果　社会

発行社 ＼ 研究調査事項		観点A 知識及び技能		観点B 思考力・判断力・表現力等		観点C 学びに向かう力・人間性等	
		数の教材・学習活動の箇所数	会つにおいてけ理解させるのた国役割	治の深い国の生活が国や国と関係	境地域や歴史や伝統文化、政治	我が国の国土と産業の様子や特色を総合的に扱っている教材・学習活動の箇所数	理解させることを取り扱っている内容を高める箇所数	観察や調査に対する関心を高める箇所数	遺跡や文化財などの観点から身近な地域及び国土の	社会的事象について、主体的に学習に問題を解決し、学習活動の箇所数	理解させる教材・学習活動の箇所数	社会生活を総合的に理解させるための教材・学習活動の箇所数	自分たちの住んでいる
東京書籍	3・4年上	○			○					○			
	3・4年下				○			○				○	
	5年生	○			○							○	
	6年生				○			○		○			
教育出版	3・4年上							○		○		○	
	3・4年下					○				○		○	
	5年生					○		○				○	
	6年生	○				○				○			
日本文教	3・4年上				○	○		○					
	3・4年下	○			○	○							
	5年生					○				○		○	
	6年生	○			○							○	

種目名　社　会	発行者名	東京書籍株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・学習のポイントになる言葉をおさえるコーナーや難しい言葉の補助説明のコーナーを設け、大切なことが分かりやすいように工夫している。 ・「私たちの国土」の学習では、日本のはしの島を写真や文章で詳しく記載されている。また、西之島を紹介し、近年の国土の変化についても触れている。 ・４年生の「自然災害から暮らしを守る」や６年生の「自然災害からの復旧や復興を実現する政治」の単元では、地震を中心に展開され、資料も豊富である。防災や備えについて様々な立場での資料があり、原発問題も紹介している。 ・１ページあたりの資料数が多い。また、補助的な内容は「ひろげる」資料として、多くの内容が紹介されている。 ・小単元ごとに「つかむ」「調べる」「まとめる」等の学習活動を明示し、学習の進め方が分かりやすくなるように記載している。
B 思考力・判断力・表現力等	・４年生まで、単元の最初に「まとめ方」として、どのようにノートに記述すればよいか、また新聞やポスター等どんなものにまとめればよいかを明示している。その後、発達に合わせた「まとめ方」の記載になっていく。児童が学習の見通しをもちやすいよう工夫している。 ・社会的事象の特色や相互の関連、意味を考えさせる問いをアニメキャラクターを登場させて言わせるように工夫している。 ・学習のまとめでは、文章によるまとめ方・新聞作り・標語作り・ポスター作りなど、いろいろなまとめ方を紹介している。 ・単元によって学習問題をまとめたあとに「いかす」というページで、学んだことを生かして社会にみられる課題等について考えられるような工夫がみられる。
C 学びに向かう力・人間性等	・３、４年生では、単元の最初に「まなびのポイント」が２、３点ずつ示されており、学習の流れを理解し、主体的に取り組めるよう工夫している。 ・巻頭に「Dマーク」（このマークがあるページでは、インターネットを使った学習が可能）についての説明が掲載されており、主体的に学習課題に取り組めるよう促している。 ・巻頭に「○年生で学んだこと」（前学年の振り返り）と「○年生で学ぶこと」（本学年で学ぶこと）が絵や写真入りでまとめて書かれており、見通しをもった主体的な学びにつながるようにしている。 ・６年の「日本とつながりの深い国々」の「いかす」活動では、オリンピック・パラリンピックを取り上げたり、留学生の話や歌舞伎について取り上げたりした後、自分が外国の人とどのようなかかわりをもつことが必要かを考えるコーナーを設け、世界の国々の人との関わりを自ら考えるようにしている。

種目名　社　会	発行者名	教育出版株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・学習のポイントになる言葉は、「キーワード」として多く設けている。 ・インタビューをしているところでは、インタビューを受けている人の顔写真が多い。また、小単元の中で同一人物が多く、インタビューに継続性がある。 ・「共に生きる暮らしと政治」の学習では、オリンピックやパラリンピックの資料が多く記載され、東京オリンピックと関連させて学習を展開している。 ・歴史の学習や「寒い土地の暮らし」の学習では、アイヌ文化やアイヌの人々の歴史について詳しく記載している。 ・６年生の学習のまとめのページでは、学習したことを穴うめ問題で整理し、知識が定着しやすいように工夫している。 ・各学年に学びの手引きが記載されているが、社会科を初めて学習する３年生の巻末には、「社会科ガイド」として、情報の集め方・読み取り方・まとめ方をより詳しく紹介している。
B 思考力・判断力・表現力等	・どの学年でも、巻頭に学習のまとめ方を記載している。３年生後半の「市のうつりかわり」で、単元の最初に「まとめ方」として、年表や絵カード等どんなものにまとめればよいかを明示している。児童の関心や思考の流れに合わせて学習が進むよう工夫している。 ・学習問題のまとめでは、図表や年表、地図やポスター、標語等、様々な表現ができるよう工夫している。 ・単元によって、学習問題についてまとめた後に、「つなげる」という見出しで社会への関わり方を選択・判断する話し合い活動を促す工夫をしている。
C 学びに向かう力・人間性等	・一時間の学習ごとに「この時間の問い」「活動」「次につなげよう」が示されており、主体的に学習に取り組めるようにしている。 ・３、４年生では、「学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう」というページがあり、話し合いをしてクラスの学習問題をつくることや、調べ方を挙げている。また、５、６年生では、これまでにわかったことを自分の体験とつなげて話し合う等と発達段階に応じた学習の進め方を示し、自主的に学習を進めることができるようにしている。 ・学習に役立つ情報をウェブサイトでみることができる「まなびリンク」が多数あり、自主的に学習を進める助けとなる。 ・３、４年生では、「わたしたちの市（地域）では、どのような～だろう」という問いかけをして、自分たちの生活や地域に目を向けさせている。 ・６年生の「日本とつながりの深い国々」の学習では、「〇〇と日本にはどのようなつながりがあるのだろう。」と「つながり」を明示した問いとなっており、外国を調べる活動の中で、その国と日本とのつながりを意識しながら学習を進めることができるようにしている。

種目名　社　会	発行者名	日本文教株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・学習のポイントとなる言葉は、キーワードコーナーを設け、補助説明を付け足したり、文中では太文字にしたりして工夫して記載している。 ・５・６年生の「日本の国土」や「領土問題」の学習では、広範囲の地図や島付近の地図・写真・文章で説明されており分かりやすい。また、択捉島や与那国島は、島内の写真を記載している。 ・「キーワードコーナー」だけでなく、「世界遺産マーク」「難しい言葉マーク」「学習資料」「やってみようコーナー」「見方・考え方コーナー」「学び方・調べ方コーナー」等、多くのコーナーがあり、知識理解の定着や発展が図れる。 ・１つ１つの資料が大きく見やすい。 ・４年生の「わたしたちの県」の学習では、地勢図の読み取り方や土地利用図の読み取り方などの資料があり、地図帳と関連して学習できるように記載している。また、特産物やゆるキャラの視点の資料もある。
B 思考力・判断力・表現力等	・全学年にわたり、学習する内容等によって、単元の最初に「まとめ方」としてノートにどのようなことをまとめるか、また、調べたことをもとに話し合うことが示されているところがある。 ・巻頭にある「この教科書の使い方」の記載で、どのページも本文の最初に子どもの学習活動とその時間の問いが書かれていることが示されている。社会的事象の特色や相互の関連、意味について考えたり、社会へのかかわり方を選択・判断したりできるよう工夫している。 ・学習問題のまとめでは、どのように話し合うかがマンガで示している。どの単元でも、議論による学習のまとめに力点を置いている。 ・学習問題が解決したら、「さらに考えたい問題」として連続性のある新たな問いが示している。
C 学びに向かう力・人間性等	・巻頭に「○年生の社会科の学習でたいせつなこと」のページがあり、何をどのように学んでいくのか、それらを学ぶことによってどのようなことができるようになるのかが、学年の発達段階に応じた文章で述べられており、主体的な学びにつながる。 ・見開きのページごとに教科書の登場人物が「～だろう？」と問いを発しており、主体的に学習の問題を捉えられるようにしている。 ・３年生「火事から人々を守るために」では、湖南広域消防局や滋賀県地図、４年生「くらしをささえる水」では、琵琶湖一斉清掃や琵琶湖の水をコンピューターで管理すること等、滋賀県に関わる事柄を掲載している。 ・６年生の巻末に「歴史年表」があり、そこに「日本や世界のおもなできごと」と「みなさんと家族にとってのおもなできごと」を書き込んで「自分の年表」を作ることができるようにしており、自分と社会とのつながりを意識することができるよう工夫している。

地図（社会）

東　京　書　籍

帝　国　書　院

観点の内容

社会科　目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

（1）　地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
（2）　社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けた社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
（3）　社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

観　点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A　知識及び技能	・地図の活用方法を取り上げている箇所数・ページ数 ・見学調査の方法、学習の進め方やまとめ方を取り上げている箇所数・ページ数 ・発達段階に応じた内容を取り上げている箇所数・ページ数	・教科用図書「地図」は、地図を効果的に活用することともかかわって、社会的事象を適切に見たり考えたりする能力を育てるために必要な教材である。教科用図書「地図」は、地名の位置を確認することができるだけでなく、社会的事象の様子や関係、自然環境とのかかわりを調べることもできる。こうした活用の仕方を身に付けるとともに、教科用図書「地図」を日常的に活用し、教科用図書「地図」への親しみを持たせ、問題解決のために教材として効果的に活用する知識や技能を育てるように留意する。
B　思考力・判断力・表現力等	・基本図の数 （世界地図、日本地図、世界州別図、日本地域別図） ・資料図の数 （社会的事象の様子や関係、自然環境とのかかわり、その他）	・社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて、学習したことを基に、社会への関わり方を選択・判断する資質・能力を目指すことに留意する。 ・考えたことや選択・判断したことを説明する力や、考えたことや選択・判断したことを基に議論する力と資料等を用いて作品にまとめたり図表に表したりする表現力を育成できるように留意する。
C　学びに向かう力・人間性等	・巻末の統計資料の項目数・ページ数	・主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度が育成できるように留意する ・地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さを捉えるよう留意する。

調査方法

種目名【　地図　】

観点	調査した内容・項目についての説明
A 知識及び技能	・地図の使い方等が記載されている箇所の調査を行った。 例）地図の見方、地図記号の説明などが掲載されている箇所 ・地図の活用方法、見学調査の方法、学習の進め方やまとめ方について、具体的に記述されている箇所の調査を行った。 例）地図の活用方法などが掲載されている箇所 ・発達段階に応じた内容を取り上げている箇所数の調査を行った。 例）３年生以上で活用する地図として、発達段階に応じた内容が掲載されている箇所
B 思考力・判断力・表現力等	・地名や境界線、等高線、交通路等の基本的な地域の情報を掲載した地図を基本図とし、産業や自然等にかかわる資料情報を掲載した地図を資料図として数の調査を行った。 例）基本図・資料図が掲載されている箇所 ・基本図を世界全図、日本全図、世界州別図、日本地域別図に分類し、箇所数について調査を行った。 例）世界全図・日本地図・世界州別図・日本地域別図が掲載されている箇所 ・資料図を「社会的事象の様子や関係」、「自然環境とのかかわり」、「その他」に分類し、数の調査を行った。 例）社会的事象・自然環境（自然災害や防災）について取り上げている資料図・写真・図が掲載されている箇所
C 学びに向かう力・人間性等	・巻末の統計資料の項目数とページ数の調査を行った。 例）統計資料として掲載されている項目

調査結果　地図

		観点A			観点B		観点C
		知識及び技能			思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等
発行社 ＼ 研究調査事項		地図の活用方法を取り上げている箇所数・ページ数	見学調査の方法、学習の進め方やまとめ方を取り上げている箇所数・ページ数	発達段階に応じた内容を取り上げている箇所数・ページ数	基本図の数（世界地図、日本地図、世界州別図、日本地域別図）	資料図の数（社会的事象の様子や関係、自然環境とのかかわり、その他）	巻末の統計資料の項目数・ページ数
東京書籍	3年生		○	○		○	
	4年生						
	5年生						
	6年生						
帝国書院	3年生	○		○		○	
	4年生						
	5年生						
	6年生						

種目名　地　図	発行者名	東京書籍株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・地図に加えて、イラストや写真、図や吹き出しを多用することで、発達段階に応じて親しみやすくなるよう工夫されている。 ・日本全体や世界全体を地図としてとらえるだけでなく、その国や地域の形やイメージを身近なものに例えて、捉えやすくなるよう工夫されている。 ・日本の地域区分では、掲載されている箇所すべてに「この地図の位置」というコーナーを設け、日本列島における位置関係を示しており、その地域の日本列島における位置関係を把握しやすくなるよう工夫されている。 ・世界の地域区分では、同緯度・同縮尺の日本地図を掲載したり、実際の距離をイメージしたものさしを示したりすることで、距離や縮尺といったものを発達段階に応じて、捉えられるよう工夫している。 ・資料を見るときの視点やグラフの見方など、基礎的・基本的事項に触れることで、地図の活用方法をわかりやすく示している。
B 思考力・判断力・表現力等	・資料図として、日本の自然・産業・貿易といった「社会的事象の様子や関係」をわかりやすく考えられるようにそれぞれ見開きページで扱っている。 ・巻末の地図で、日本の「自然環境とのかかわり」を自然災害や防災の視点で俯瞰できるよう工夫している。 ・上記以外の「その他」として日本の歴史と世界との関わりや、世界遺産と関連させて、日本の歴史と文化を扱うなど、多角的に考える力の育成につながるよう工夫している。 ・「くらべてみよう」では、日本と世界を多面的な視点で比較し、捉えられるよう工夫している。 ・資料や地図に関連した写真が多く使われている。
C 学びに向かう力・人間性等	・巻末に「Dマーク」（このマークがあるページでは、インターネットを使った学習が可能）についての説明が掲載されており、主体的に学習課題に取り組めるよう促している。 ・巻末の資料地図は「主題図」となっており、自然・産業・貿易といったテーマごとに地図で表し、日本と世界の地理的特徴を自分の地域や国として意識して捉えられるよう工夫している。 ・日本の歴史と文化を日本の世界遺産とむかしの地名とを地図上で関連させて示されており、日本の歴史的なつながりを意識できるよう工夫している。 ・巻末の日本の都道府県の統計では、おもな伝統工芸品やおもな郷土料理といった項目が設けられており、地域社会に対する誇りや愛情を持てるよう工夫されている。 ・巻頭に「ちずのぼうけん」「発見！私たちの日本」というイラスト中心の簡易な地図があり、興味・関心が持ちやすいように工夫している。

種目名　地　図	発行者名	株式会社　帝国書院

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・世界と日本の全体像を関連する国旗やイラストを用いて示すなどして、発達段階に応じて捉えやすくなるよう工夫している。 ・「地図のやくそく」と「地図帳の使い方」をそれぞれ別コーナーに設けることで、発達段階に応じた地図の見方や使い方を示している。 ・日本の地域区分に関しては、通常の地域区分だけでなく、「広く見わたす地図」を掲載し、発達段階に応じてその地域を捉えられるよう工夫している。 ・地図の活用方法に関しては、「地図マスターへの道」というコーナーで、地図に関する問題の難易度をレベル１～レベル３と段階を設け、発達段階に応じて問題に取り組めるよう工夫している。 ・世界の地域区分では、同緯度・同縮尺の日本地図を掲載したり、実際の距離をイメージしたものさしを示したりすることで、距離や縮尺といったものを発達段階に応じて、捉えられるよう工夫している。 ・「防災マップづくり」では自然災害や防災といった視点に特化した見学調査の方法が具体的に示されている。 ・日本の地域区分では、掲載されている箇所すべてに、日本列島における位置関係を示しており、その地域の日本列島における位置関係を把握しやすくなるよう工夫されている。
B 思考力・判断力・表現力等	・資料図として、日本の自然のようす・日本の自然災害と防災・日本の産業の様子・日本と世界の結びつきといった視点で社会的事象の様子や関係を多角的に捉えられるよう工夫している。 ・巻末の地図では日本の都道府県の名前と位置を「形」・「文字」・「位置」といった視点に分けて、多面的に捉えられるよう工夫している。 ・日本の歴史と世界文化遺産を関連させて、歴史的事象の位置関係を地図で確認できるよう工夫している。 ・淀川や多摩川の水系地図があり、川の流れが視覚的に捉えやすくなっている。
C 学びに向かう力・人間性等	・巻末の「日本の自然災害と防災」では、計４ページにわたり取り上げ、ハザードマップづくりなど自ら災害を防ぐ工夫を考えたり、自分の地域に置き換えたりして、主体的に考えられるよう工夫している。 ・「日本の歴史と文化」では、日本の世界遺産とむかしの地名を地図上で関連させて示されており、日本の歴史的なつながりを意識できるよう工夫している。 ・巻末の日本の統計では、「くらしと環境」や「ふるさと自慢（まつり・伝統芸能・農産物・料理・観光地・自然など）」、「おもな伝統的工芸品と生産都市」を項目として掲載し、地域社会に対する誇りと愛情を持てるよう工夫している。 ・世界の国々や世界の人々との結びつきを強め、共に生きていくよう促すための資料として、日本で暮らす外国人数や観光で訪れる外国人の推移を統計資料等で示している。 ・多くのページに「二次元コード」（インターネットを使った学習が可能）が掲載されており、主体的に学習課題に取り組めるよう促している。

算　　数

東　京　書　籍

大　日　本　図　書

学　校　図　書

教　育　出　版

啓　　林　　館

日　本　文　教

観点の内容

算数科　目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。
（2）日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。
（3）数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

観　点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A　知識及び技能	・数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けさせる「例・例題」「問・問題」の箇所数 ・学習のまとめ、公式や性質として扱っている事項の箇所数	・身に付けるべき基礎的・基本的な内容の習得を重視するとともに、その背景にある概念や性質について理解を深めながら、概念や性質の理解に裏付けられた確かな知識及び技能を習得させることに留意する。
B　思考力・判断力・表現力等	・思考力・判断力・表現力を身に付けさせる「例・例題」「問・問題」の箇所数 ・問題発見・解決する過程において、見通しをもち筋道を立てて考える内容を取り扱っている箇所数 ・具体物、図、言葉、式、表、グラフなどを用い、自分の考えを表現したり、説明したりする学習活動を取り上げている箇所数	・問題を解決したり、物事を判断したり、推論を進めたりしていく過程において、見通しをもち筋道を立てて考えて、いろいろな性質や法則などを発見したり確かめたり、筋道を立てて説明したりする資質・能力の育成を目指すことに留意する。 ・考えたことを目的に応じて柔軟に表現することを通して、数学的な表現の必要性や働き、よさについて実感を伴って理解できるように留意する。
C　学びに向かう力・人間性等	・各々の内容や方法などがもつよさを明らかにしていくような課題を取り扱っている箇所数 ・生活や学習の様々な場面で算数を活用する内容を取り上げている箇所数	・数量や図形の知識及び技能に含まれるよさや、数学的な思考、判断、表現等に含まれるよさ等に気付かせ、有用性、簡潔性、一般性、正確性、能率性、発展性、美しさなどの様々な視点から算数の学習を捉えるように留意する。 ・算数で学んだことを日常生活や学習に活用できるようにし、活用を重視した創造的な学習展開を用意することに留意する。

調査方法

種目名【　算数　】

観点	調査した内容・項目についての説明
A 知識及び技能	・数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けさせる「例・例題」「問・問題」の箇所数について調査を行った。 例）「例・例題」の箇所および、適用問題の箇所 ・学習のまとめ、公式や性質として扱っている事項の箇所数について調査を行った。 例）「（　）のある式では，（　）の中をひとまとまりとみて、先に計算します」「長方形の面積＝たて×横」など、特だしで記載している箇所
B 思考力・判断力・表現力等	・思考力・判断力・表現力を身に付けさせる「例・例題」「問・問題」の箇所数について調査を行った。 例）「例・例題」の箇所および、適用問題の箇所 ・問題発見・解決する過程において、見通しをもち筋道を立てて考える内容を取り扱っている箇所数について調査を行った。 例）「24は20に近いから…」「段の数と周りの長さには、どんな関係があるのかな。」「どんなけががどこで多かったかを調べるには、どんな表に表せばいいかな」など、吹き出しなどで課題を明確にしたり、見通しをもたせたりする内容が記載されている箇所 ・具体物、図、言葉、式、表、グラフなどを用い、自分の考えを表現したり説明したりする学習活動を取り上げている箇所数について調査を行った。 例）「～を説明しましょう。」「～のわけを言いましょう。」「～図や式に表しましょう。」など、表現したり、説明したりする活動が記載している箇所
C 学びに向かう力・人間性等	・各々の内容や方法などがもつよさを明らかにしていくような課題を取り扱っている箇所数について調査を行った。 例）「折れ線グラフに表すとよいのはどれですか。」「折れ線グラフは、変わり方の様子を見るのに便利です。」「表をつくると、きまりを見つけやすくなるね。」など、問題やまとめ、吹き出しなどでよさについて記載されている箇所 ・生活や学習の様々な場面で算数を活用する内容を取り上げている箇所数について調査を行った。 例）「身の周りから、平行や垂直になっている面と面を見つけましょう。」など、問題に設定されているものや、コラム等で算数を活用している場面を紹介している箇所

調査結果　算数

発行社	研究調査事項	観点A 知識及び技能		観点B 思考力・判断力・表現力等			観点C 学びに向かう力・人間性等	
		「例題」の箇所数 「例題」「問題」の箇所数	数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けさせる 学習のまとめ、公式や性質として扱っている事項の箇所数	思考力・判断力・表現力を身に付けさせる「例題」「問題」の箇所数	問題発見・解決する過程を筋道を立てて考えるなど、見通しをもって扱っている箇所数	具体物、図、言葉、式、グラフなどを用い、自分の考えを表現したり説明したりする学習を取り上げている箇所数	各々の内容や方法などがもつよさを明らかにしてよりよい課題を取り扱っている箇所数	生活や学習の様々な場面で算数を活用する内容を取り上げている箇所数
東京書籍	1年生		○		○		○	
	2年生		○		○		○	
	3年生		○		○		○	
	4年生		○		○		○	
	5年生		○		○		○	
	6年生		○		○		○	
大日本図書	1年生		○		○	○		
	2年生	○	○			○		
	3年生	○	○			○		
	4年生	○		○		○		
	5年生			○		○		○
	6年生			○		○		○
学校図書	1年生	○		○				○
	2年生		○	○				○
	3年生	○	○	○				
	4年生		○	○		○		
	5年生		○	○				○
	6年生		○	○		○		
教育出版	1年生		○				○	○
	2年生			○			○	○
	3年生			○	○			○
	4年生	○			○		○	
	5年生		○		○			○
	6年生	○	○		○			
啓林館	1年生	○		○			○	
	2年生	○		○				○
	3年生	○			○		○	
	4年生	○		○	○			
	5年生	○					○	○
	6年生	○		○	○			
日本文教	1年生				○	○		○
	2年生	○				○		○
	3年生	○				○		○
	4年生	○			○	○		
	5年生	○			○	○		
	6年生	○			○	○		

種目名　算　数	発行者名	東京書籍株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・全単元末に基礎的・基本的な学習内容の理解を確認し、技能を定着させるページが設定されている。 ・単元ごとに「前の学習」「後の学習」が示され、学習内容や数学的な見方・考え方の関連や系統を意識できるようになっている。 ・どの学年、どの単元においても学習のまとめ、公式や性質を分かりやすく提示する工夫がされている。 ・巻頭には二次元コードが掲載されており、動画やシミュレーションで何度も確認しながら各学年で学習した内容を反復練習ができるコンテンツが用意されている。
B 思考力・判断力・表現力等	・問題発見・解決をする過程で見通しをもち筋道を立てて考えることができるような学習の流れになっている。また、吹き出しなどを用いて課題を明確にしたり、見通しの手立てとなるヒントを掲載したりするなどの工夫がされている。 ・単元内の適切な箇所に「(考えや理由を)説明しましょう」の指示文が設けられ、効果的・効率的に言語活動が取り入れられるようにされている。特に、２年下巻以上の各巻の「考えよう伝えよう」では、児童の考えを式や図などの数学的な表現を用いた言語活動例として示している。 ・作図の方法について、連続した写真が掲示されており、視覚的に分かりやすい工夫がされている。 ・数量や図形を見出したり進んで関わったりする活動を積極的に行うために、１学年では具体物を操作したり、用いたりすることが重視されている。 ・プログラミング教育については、５、６年生の教科書に特設ページが設定されている。
C 学びに向かう力・人間性等	・図・表・写真・挿絵が豊富であり、単元学習の始めに「これまでの学習の振り返り」を設け、単元の学習内容との結びつきを意識させ、学習意欲を高める工夫がされている。 ・単元末「生かしてみよう」では、学びを日常の世界で生かす場が設定されている。また、巻末の「おもしろ問題にチャレンジ」では、学びを算数・数学の世界で生かす場が設定されており、学びを生かす経験を積み重ねることで、生きて働く知識・技能の定着や学びを生かす力の育成が重視されている。 ・様々な考え方のそれぞれのよさや方法などのよさを明らかにしていくような課題や吹き出しが、数多く掲載されている。

種目名　算　数	発行者名	大日本図書株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・基礎的・基本的な知識及び技能を身につけられるように、問題が多く掲載されている。用語や公式などの説明を枠組にし、学習のポイントが分かりやすく明記されている。 ・単元末のたしかめ問題の最初に「しっかりチェック」として、基礎・基本のおさえや間違いやすい問題を取り扱っている。 ・２年生以降の巻末に全領域にわたり、適用問題や単元末の「まとめの練習」に対応した補充問題「プラスワン」が掲載され、問題の難易度も示されている。 ・前学年までのまとめでは、前の学年までの既習事項が、一目で確認できるようになっている。また、全学年年間１冊の合本とし、振り返りや学び直しがしやすい構成になっている。
B 思考力・判断力・表現力等	・単元ごとに「前の学習」「後の学習」が示され、学習内容や数学的な見方・考え方の関連や系統を意識できるようになっている。 ・特設ページ「算数たまてばこ」では、思考力、表現力を養うトピック教材や、算数への関心を高める話題を扱うことで算数的活動の充実が図られている。 ・単元の始めには、既習事項をもとに学習が進められるよう工夫され、立式の理由や計算の仕方を記述し、説明をする欄が設定されている。 ・どの学年、どの単元においても、具体物、図、言葉、式、表、グラフなどを用い、自分の考えを表現したり、説明したりする活動が多く取り上げられている。 ・プログラミング的思考を育むために、「プログラムにちょうせん」のページが全学年に新設され、発達段階に応じて、算数に関連した内容が取り上げられている。
C 学びに向かう力・人間性等	・学習材として、日常生活や他教科に関連付けた興味深い話題を取り上げ、日常生活と関連した課題が掲載されている。 ・「ふくろう先生のなるほど算数教室」では、算数に親しむコラムが３～６年生に掲載されている。 ・「算数たまてばこ」では、日常生活から算数を見つけたり、学習したことを日常生活に生かしたりする活動を取り上げている。

種目名　算　数	発行者名	学校図書株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・基礎的・基本的な技能を身につけさせるための問題を多く取り上げ、繰り返し練習できるようになっている。 ・１～３年生までは基礎的・基本的問題が多く、４～６年生では思考を問うような問題が多く取り上げられている。 ・「ふりかえろう・つなげよう」ではこれまでの学習を振り返ることで、学習を統合的にみることができるように工夫されている。 ・どの単元においても学習のまとめ、公式や性質を分かりやすく提示する工夫がされている。
B 思考力・判断力・表現力等	・課題を深化させる発言を促すような吹き出しが挿入され、学習を深められるように工夫されている。 ・全学年を通して、思考力・判断力・表現力を養う問題が数多く取り上げられている。４年生以上ではそれが顕著に表れている。 ・発達段階に応じて、子どもたちが図を効果的に活用できるように学年ごとに異なる図が示されている。また、友だちと考えを読み取ったり共有したりする場面があり、他者との協働・意見の尊重ができるように促している。 ・思考を深められるように、「こんな場合はどうなるのか」「条件を変えたらどうなるのか」など、問題を発展させるような吹き出しが掲載されている。 ・全学年においてプログラミングを扱ったページが掲載されている。また、タブレットやスマートフォン、パソコンを使って二次元コードから実際に動かすことのできる簡易サイトが用意されており、直観的な動作で徐々にプログラミング的思考力、論理力が身につくように工夫されている。
C 学びに向かう力・人間性等	・身に付けた算数の知識を身の回りで使えるよう課題が提示され、社会でも活用しようとつなげている。 ・導入では、日常生活など身近なことや算数の中から問題を発見することで、興味関心をもって単元の学習に入っていけるよう工夫されている。 ・式の意味を理解させるために吹き出しで数字の意味を示し、数量の関係が捉えやすいようにしている。

種目名　算　数	発行者名	教育出版株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・よくある間違いを掲載し、子どもがつまずきのポイントを意識できるようになっている。 ・既習内容を巻末にまとめ、系統を意識して学べるようにしている。また、わからないところがあれば学びのマップにより参照できるように工夫されている。 ・知識を振り返ったり、技能を確かめたりする単元のまとめ問題が設定されている。 ・反復練習では、基本的な計算の型を色分けし、練習量の調整ができるように工夫されている。
B 思考力・判断力・表現力等	・子どもの言葉で考え方を伝え合い、学び合いができるよう数学的な考え方を引き出す言葉を整理して掲載している。 ・考えたことの足跡が残せるようにノートの書き方を例示し、表現力を高められるよう工夫している。 ・算数を使って日常の問題を解決できるよう学んだことのよさを実感しながら問題解決に向かえるような課題が提示されている。 ・問いをもって学ぶことを大切にし、主体的な学びになるよう工夫されている。 ・問題発見・解決をする過程で見通しをもち筋道を立てて考えることができるような学習の流れになっている。 ・５年生「正多角形と角」の単元でプログラミングを扱うページが掲載されている。
C 学びに向かう力・人間性等	・算数の魅力を感じ、子どもたちが興味をもって探究的に取り組むことができるよう生活の中にある算数の場面を取り上げている。 ・単元の導入では、日常生活において課題を引き出せるように問題場面を設定している。 ・学年末には「算数を使って考えよう」が設けられており、複数の学習内容からなる総合的な学習問題が用意されている。 ・単元の始めには、学びに向かうきっかけをつくるさまざまな活動（「予想する」「やってみる」「話し合う」「振り返る」）が取り上げられている。

種目名　算　数	発行者名	株式会社新興出版社啓林館

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・全学年を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けられるような問題が多く提示されている。 ・各学期の中間期末にあたる時期に「復習」を配置し、その学年や前学年の内容だけでなく、習熟が必要な計算問題などはさらに前の学年まで遡って取り上げ、定着・維持ができるように配慮されている。 ・既習事項が巻末に「じゅんび」として取り上げられ、新しい単元に入る前にレディネスチェックできるように配慮されている。 ・定着しにくい基礎的、基本的な内容は、学年を超えて繰り返し扱うなど、つまずきやすい内容が確実に身につくように配慮されている。
B 思考力・判断力・表現力等	・「24は20に近いから・・・」などのように、説明の部分をすべて示すのではなく、続けて考えさせるようにすることで、子どもの思考を促すようにまとめられている。 ・巻末「学びのサポート」では、説明の仕方や図の書き方など算数科における表現の手立てとなるものをまとめて掲載している。 ・思考の助けとなる図・表・式などを例示し、話し合いの場面では根拠や手順などを説明する活動を通して、数学的な思考力や表現力の育成が図られるように工夫されている。 ・問題発見・解決をする過程で見通しをもち筋道を立てて考えることができるような学習の流れになっている。 ・「P」マーク（このマークがあるページでは、プログラミング的思考を育める学習が可能）がつけられ、児童も教師も意識できるように工夫されている。また、４年生の「１けたでわるわり算」では、プログラミング的思考としてわり算の筆算のアルゴリズムの手順が強調されている。
C 学びに向かう力・人間性等	・巻末の「わくわく算数ひろば」では、算数を使った場面が掲載され、学んだことを生かすような問題が提示されている。 ・３年生以上では、学んだことを活用して身の回りの生活改善を計画し、実践する「みらいへのつばさ」が設けられている。 ・「学びを活かそうやってみよう」では、学習したことを算数や生活に生かして、算数の有用性を実感できるようにしている。 ・考え方のそれぞれのよさや方法などのよさを明らかにしていくような課題や吹き出しが、多く掲載されている。

種目名　算　数	発行者名	日本文教出版株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・基礎的・基本的な内容を定着させるため、学習したことを繰り返し確認し、次の単元に入る前には、これから学習する内容に関わる既習事項を、単元の終わりにはその単元で学んだことを確かめるページが設定されている。 ・基礎的・基本的な知識及び技能は、適度な量の練習を扱うとともに、巻末の「しっかりチェック」で繰り返し練習することにより、習熟・定着が図れるようになっている。 ・子どもがつまずきやすい内容が含まれる単元には「わかっているかな」を設け、子どもがわかったつもりになりがちな内容を、丁寧に振り返ることができるように構成されている。 ・単元前には、既習事項を確かめる「次の学習までに」巻末には既習の学習内容を確かめる「○年生までに学習したこと」が設けられている。
B 思考力・判断力・表現力等	・子どもの発言などを用いて問題解決の方法の見通しを立てたり、結果の見積もりを行ったりしながら学習を進めていくようにしている。 ・具体物、図、言葉、式、表、グラフなどを用いて自分の考えを表現したり説明したりするために、「よみとろうあらわそう」では、言葉、数、式、図など数学的な表現の相互関連を整理するような内容や、テープ図や数直線図の読み方、かき方についても系統的に整理している。 ・具体物、図、言葉、式、表、グラフなどを用いて自分の考えを表現したり、説明したりする学習を数多く取り上げている。 ・自分の考えを表現したり、わかりやすく説明したりするための指針となる「算数で使いたい言葉・考え方」を設けている。 ・５年生の「正多角形と円」の単元内でプログラミングを体験するコーナーを設けている。
C 学びに向かう力・人間性等	・子どもの身近な生活場面から多くの問題を見つけ、数理的な処理のよさを感じられるようにするとともに、算数を実際の生活場面と結び付けていく数学的活動が取り入れられている。 ・単元を習得した知識及び技能を用いて数学的活動に取り組む「ハロー！算数」が設定されている。 ・２年生以降の下巻本編末「算数アドベンチャー」では、算数への興味・関心を高めたり、数学的なおもしろさを実感できたりするような題材が用意されている。

理　　科

東　京　書　籍

大　日　本　図　書

学　校　図　書

教　育　出　版

信　州　教　育　出　版

啓　　林　　館

観点の内容

理科　目標

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
（2）観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。
（3）自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。

観　点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A　知識及び技能	・問題解決の過程を通してわかったことや学習のまとめが明示されている箇所数 ・観察、実験において、器具や機器などの使い方に関する記述の箇所数および事故防止等の安全に関する記述の箇所数 ・観察記録や実験結果を絵や文、表やグラフで表す学習活動を具体的に例示した箇所数	・児童が、問題解決の過程を通して、あらかじめもっている自然の事物・現象についてのイメージや素朴な概念などを、既習の内容や生活経験、観察、実験などの結果から導きだした結論と意味付けたり、関係付けたりして、より妥当性の高いものに更新していくことで、理解を深められるよう留意する。 ・観察、実験などに関する技能については、器具や機器などを目的に応じて工夫して扱うとともに、観察、実験の過程やそこから得られた結果を適切に記録することが求められる。
B　思考力・判断力・表現力等	・問題の見いだし、予想や仮説の発想、解決の方法の発想、より妥当な考えをつくりだすといった問題解決の力の育成に関わる学習活動を具体的に例示した箇所数 ・問題解決の過程の中で、意見や考えを交流する学習活動を取り入れている箇所数	・児童が自然の事物・現象に親しむ中で興味・関心をもち、そこから問題を見いだし、予想や仮説を基に観察、実験などを行い、結果を整理し、その結果を基に結論を導きだすといった問題解決の過程の中で、問題解決の力を育成するよう留意する。 ・第３学年では主に差異点や共通点を基に問題を見いだす、第４学年では主に既習の内容や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想する、第５学年では主に予想や仮説を基に解決の方法を発想する、第６学年では主により妥当な考えをつくりだすといった問題解決の力の育成を目指している。
C　学びに向かう力・人間性等	・植物の栽培や昆虫の飼育等について、具体的な方法を示した箇所数 ・実生活や実社会と関連付けたコラムや科学史に関する読み物の箇所数および発展的な内容の箇所数	・植物の栽培や昆虫の飼育という体験活動を通して、生物を愛護しようとする態度が育まれ、植物の結実の過程や動物の発生や成長について観察したり、調べたりする中で、生命を尊重しようとする態度が育まれることに留意する。 ・意欲的に自然の事物・現象に関わろうとする態度、粘り強く問題解決しようとする態度、他者と関わりながら問題解決しようとする態度、学んだことを自然の事物・現象や日常生活に当てはめてみようとする態度等の育成を目指していくことが大切である。

調査方法

種目名【　理科　】

観点	調査した内容・項目についての説明
A 知識及び技能	・問題解決の過程を通してわかったことや学習のまとめが明示されている箇所数について調査を行った。 ・観察、実験において、器具や機器などの使い方に関する記述の箇所数および事故防止等の安全に関する記述の箇所数について調査を行った。 例）顕微鏡の使い方、電流計の使い方、メスシリンダーの使い方　等 保護めがねをつけて実験を行う、窓を開けて実験を行う　等 ・観察記録や実験結果を絵や文、表やグラフで表す学習活動を具体的に例示した箇所数について調査を行った。 例）花のつくりを絵と文で表している 実験用てこがつり合うときのきまりを表にまとめている　等
B 思考力・判断力・表現力等	・問題の見いだし、予想や仮説の発想、解決の方法の発想、より妥当な考えをつくりだすといった問題解決の力の育成に関わる学習活動を具体的に例示した箇所数について調査を行った。 ・問題解決の過程の中で、意見や考えを交流する学習活動を取り入れている箇所数について調査を行った。 例）予想を話し合ったり、結果からどのようなことが言えるのかについて話し合ったりする場面が設定されている　等
C 学びに向かう力・人間性等	・植物の栽培や昆虫の飼育等について、具体的な方法を示した箇所数について調査を行った。 例）トンボやバッタの飼い方、種のまき方　等 ・実生活や実社会と関連付けたコラムや科学史に関する読み物の箇所数および発展的な内容の箇所数について調査を行った。 例）日食や月食について、てんびんの歴史について、火山の熱の利用　等

調査結果　理科

発行社	研究調査事項	観点A 知識及び技能			観点B 思考力・判断力・表現力等		観点C 学びに向かう力・人間性等	
		問題解決の過程を通してわかったことや学習のまとめが明示されている箇所数	観察、実験において、器具や機器などの使い方に関する記述の箇所数および事故防止等の安全に関する記述の箇所数	観察記録や実験結果を絵や文、表やグラフで表すなど学習活動を具体的に例示した箇所数	問題の見いだし、予想や仮説の発想、解決の方法を考えるなど妥当な考えをつくりだす学習活動を具体的に例示した箇所数	問題解決の過程の中で、意見や考えを交流する学習活動を取り入れている箇所数	植物の栽培や昆虫の飼育等について、具体的な方法を示した箇所数	実生活や実社会と関連付けたコラムや科学史に関するトピックスや読み物の箇所数および関連する内容の箇所数
東京書籍	3年生	○			○		○	
	4年生	○	○			○		
	5年生		○		○	○		
	6年生	○	○			○		
大日本図書	3年生				○	○		○
	4年生				○	○	○	
	5年生		○		○	○		
	6年生				○	○	○	
学校図書	3年生	○			○	○		
	4年生	○			○		○	
	5年生		○		○	○		
	6年生		○		○	○		
教育出版	3年生	○			○			○
	4年生		○		○			○
	5年生				○		○	○
	6年生	○			○			○
信州教育出版	3年生			○			○	○
	4年生		○	○				○
	5年生			○			○	○
	6年生			○			○	○
啓林館	3年生	○	○	○				
	4年生	○	○				○	
	5年生	○	○				○	
	6年生	○	○					○

種目名　理　科	発行者名	東京書籍株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・「まとめ」の内容は、「問題」の答えとなる表現になっており、箇条書きでまとめられている。 ・「きけん」マークをつけ、禁止事項とその理由を赤で記述し、安全に配慮できるようになっている。 ・器具の使い方について、巻末の「資料」にまとめられており、すぐに確認できるようになっている。 ・巻末の二次元コードを読み取ると、器具の使用方法を動画で確認することができる。 ・「問題」や「予想」、「結果」等をまとめたノートの書き方の例を示している。
B 思考力・判断力・表現力等	・単元導入では、比較や関係付けを通して問題をつかむことができるような写真やイラストが掲載されており、児童の興味・関心が高められるよう工夫されている。 ・問題の見いだしから考察や結論の導出まで、問題解決の過程を一本の線でつなぎ、自然な流れで読み進められる構成となっている。 ・問題の見いだしや予想、計画、考察する場面において、学習活動の手順を示すことで、児童が自分で考えたり、友達と話し合ったりできるようにしている。 ・３年生では「問題をつかもう」、４年生では「予想しよう」、５年生では「計画しよう」、６年生では「考察しよう」といった、各学年で重点的に育成を目指す「問題解決の力」に関わる場面において、児童が対話するイラストを用いるなど、対話を通して思考を広げ、深められるような構成となっている。
C 学びに向かう力・人間性等	・観察する上で生物を愛護することや、生命を尊重する態度を育むために留意すべき点が観察内容に含まれており、マークを用いて意識しやすくなっている。 ・「学びを生かして深めよう」では、結果や考察（まとめ）の後に、日常生活で経験する身近な自然事象や生き物の生態に関する内容について説明させるなど、再度課題を設定し、粘り強く問題解決を図れる内容になっている。 ・「理科のひろば」では、観察、実験において発展させた知識や科学的なものの見方や考え方を広げる内容、中学校で学習する内容等が掲載されている。 ・自由研究を解説した「わたしの研究」は、「理科の本だな」を掲載して、各学年に応じて児童が図書資料を活用して学習を進められるようになっている。 ・第６学年の「電気とわたしたちのくらし」では、プログラミング学習が盛り込まれ、人感センサーを用いたものづくりをするなど、電気の利用を発展させた学習が設定されている。

種目名　理　科	発行者名	大日本図書株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・「問題」の答えは、３・４年生では「わかったこと」、５・６年生では「結論」として記述されている。その後に、結論を補充する形で説明が記述されている。 ・安全に配慮が必要な場面には、「注意」のマークとともに説明文を赤字で示している。 ・器具の使い方について、巻末の「資料」にまとめられており、すぐに確認できるようになっている。 ・観察記録や実験結果等を絵と文章で表したり、表にまとめたりする例が多数示されており、児童が得た情報をわかりやすく整理できるよう配慮されている。
B 思考力・判断力・表現力等	・単元の導入では、見開きで写真やイラストが掲載されており、気づいたことを話し合う場面を設定することで「問題を見いだす力」が育成されるよう工夫されている。 ・問題、予想、計画、観察、実験、結果、考察、結論等の問題解決の活動に基づいた構成となっており、児童のイラストを用いて、それぞれの活動におけるポイントが示されている。 ・考察の場面では、観察、実験の結果から言えることを話し合う活動が必ず設定されており、話合いを通して「より妥当な考えをつくりだす力」を育てられるよう工夫されている。 ・巻頭に「話し合いのしかた」という話合いをする際の留意点を提示し、他の児童との対話がスムーズにできるように配慮されている。
C 学びに向かう力・人間性等	・飼育や観察を行う活動では、「環境」マークを用いて、生物愛護や生命尊重に関する記述があり、生き物を大切にしようとする態度を育む工夫がされている。 ・「深めよう」では、考察後の探究的な課題が与えられ、発展的に問題解決を図ることのできる内容が掲載されている。 ・「りかのたまてばこ」、「サイエンスワールド」などのコラムには、各単元に関する資料として、日常生活の身近な現象や生き物の生態に関する発展的な内容が掲載され、科学的なものの見方や考え方を広げる工夫がされている。 ・自由研究の進め方を解説したページはどの学年も掲載され、巻末の「図書館の本で調べよう」では、図書館資料の紹介や図書館利用を促す内容が掲載されている。 ・「私たちの生活と電気」では、プログラミング学習が盛り込まれ、人感センサーによる発光ダイオードの点灯が扱われている。

種目名　理　科	発行者名	学校図書株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・「わかったこと」は、「問題」と正対した形式で簡潔に表現されており、その後には、新たな知識や解説を加えて示している。 ・気をつけることは「注意」として示され、安全に配慮して観察や実験が行えるようになっている。 ・器具の使用方法は、観察や実験のページに簡潔に示されるとともに、巻末にもまとめられており、正しく器具が使えるよう配慮されている。 ・器具の使用方法については、二次元コードを読み取り、動画でも確認できるようになっている。
B 思考力・判断力・表現力等	・各単元の冒頭に、その単元で特につけたい力を３つに絞って示す工夫がされており、問題解決の過程のどの部分に力点を置いて学習活動を進めていくとよいかがわかるように構成されている。 ・問題を見いだす場面では、話し合う活動が多く設定されており、話合いを通して児童が問題を自分自身のものとして捉えられるよう配慮されている。 ・問題解決の各場面では、リード文や写真、イラストなどを用いて、児童の考えを引き出すよう工夫されている。 ・「問題をみつけよう」から「わかったこと」までを矢印でつなぐことで、児童が問題解決の流れを意識できるよう配慮されている。
C 学びに向かう力・人間性等	・「しぜんを大切にするために気をつけること」をマークで示し、観察や飼育における注意や育て方などを、生物愛護や生命尊重の観点から促している。 ・「作ってみよう」、「やってみよう」、「調べてみよう」、「考えよう」では、興味の沸く課題が与えられており、日常生活で体験することを生かして、科学的なものの見方や考え方を広げる工夫がされている。 ・「資料」には、「防災」、「くらしに生きる」、「文化や歴史」等、生活に役立つ情報や知識が多く掲載されている。また、高学年の内容は、「仕事に生きる」のマークで、科学をキャリア教育に関連させて紹介している。 ・自由研究を解説した「わたしの自由研究」では、各学年に応じた調べ方や図書資料の紹介など、見開き２ページに簡潔にまとめられている。巻末には、図書分類表等、図書館の活用方法が調べ方の例として詳しく紹介されている。 ・「電気と私たちの生活」では、プログラミング学習が盛り込まれ、プログラムの指示によってＬＥＤの光り方を考える学習を扱っている。

種目名　理　科	発行者名	教育出版株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・「問題」に対してわかったことを「結論」として記述してあり、「結論」の後には、新たな知識や解説を加えて示している。その中で、重要語句については、太字で強調した上、マーカー処理して目立つようになっている。 ・特に安全に気をつける場面では、「危険」マークとともに禁止事項や注意することを文章で示している。 ・裏表紙に「安全の手引き」が示され、教科書を開かなくてもすぐに確認できるようになっている。 ・器具の使用方法は、観察や実験のページに簡潔に示されるとともに、巻末にもまとめられており、正しく器具が使えるよう配慮されている。 ・「予想しよう・計画しよう」で予想や計画をノートの左側に記入する例が示されていたり、結果をノートの右側に記入する例が示されていたりするなど、見やすくわかりやすいノートのとり方に配慮されている。
B 思考力・判断力・表現力等	・「見つけよう」から「結論」まで、一本の線でつながっており、問題解決の流れがわかるように配慮されている。 ・「見つけよう」、「予想しよう」、「計画しよう」、「結果から考えよう」の項目では、児童同士のやり取りがイラストと吹き出しで示されており、学習活動の内容が深められるように工夫されている。 ・巻頭のページでは、自分の考えを言葉で表現できるように、各学年に応じた表現方法の例が示されており、意見や考えを交流したり、自分の考えを述べ合ったりする学習活動に役立てられるように配慮されている。 ・児童が活動して自ら気づいたことを伝え合ったり、得られた結果をもとに考えを発表し合ったりする場面を取り上げ、対話的に学習を進められるように工夫されている。
C 学びに向かう力・人間性等	・観察や飼育の仕方において、生物愛護や生命尊重への態度を育むための記述が「地球となかよし」というマークで示されている。 ・「学びを広げよう」では、観察、実験の結果や考察をした後の発展的な問題解決が設定されており、学びを生かして説明したり、考えを深めたりすることができるよう工夫されている。 ・「チャレンジ」、「科学のまど」、「資料」等のコラムの内容を通して、中学校で習う内容も含めながら科学的な見方や考え方を広げるとともに、日常生活で起こる身近な現象に触れ、科学への関心を高める内容が各単元で設定されている。 ・全学年に「わたしの研究」という自由研究の進め方について調べる方法や科学館の活用等、詳しく掲載されている。 ・プログラミング学習は「チャレンジ」の中で簡単に触れている。

種目名　理　科	発行者名	一般社団法人信州教育出版社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・単元の終わりに、観察、実験の結果の整理や、考察の一例として「まとめよう」のページがあり、一人ひとりの児童が自分の学習を振り返ることができるように配慮されている。 ・安全保持にかかわることについてはオレンジ色で「注意」として示され、危険防止が図れるようになっている。 ・器具の操作方法については、観察や実験のページに記述されている。 ・結果の例示は絵や文、表等で表されており、そのほとんどは、児童がノートに書き記すように記述され、実際に児童が結果を記録するときに参考となるよう配慮されている。
B 思考力・判断力・表現力等	・単元の導入ページでは、既習事項や生活経験を想起させる文章と、写真やイラストを用いて、児童が問題を見いだせるよう配慮されている。 ・導入ページに「？」マークを表示し「話合い活動」「体験活動」が設定されている単元がある。 ・５、６年生のいくつかの単元では、「考えてみよう」というマークを示し、互いの予想や考えを出し合って練り合う場面が設定されている。 ・問題解決の過程において、教師と児童の会話のやり取りがイラストと吹き出しを使って示されており、学習活動の内容が深められるように配慮されている。
C 学びに向かう力・人間性等	・ズッキーニの植え方やメダカの飼育方法等、栽培や飼育に関する具体的な例が豊富に掲載され、育ててみたいという関心を高めるとともに、生物を愛護しようとする態度が育まれることに留意されている。 ・「やってみよう」のコラムでは、追加実験や観察、ものづくり等、学習内容を発展させて取り組み、探究心を高める工夫がされている。 ・「しりょう」では、中学校で学習する内容や、日常生活で起こる現象等が知識を補充する形で紹介されている。また、科学者の言葉や研究成果も掲載されている。 ・「やってみよう自由研究」では、学年に応じた研究テーマやまとめ方などが掲載されている。 ・「電気の利用」では、プログラミング学習が盛り込まれ、人感センサーで動く照明器具を扱っている。

種目名　理　科	発行者名	株式会社新興出版社啓林館

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・「まとめ」の内容は、「問題」の答えとなる表現になっている。また、「まとめ」と「問題」の色が同じになっており、対応していることがわかりやすくなっている。 ・各単元末に学習した大切なことをまとめた「まとめノート」の例示があり、児童がまとめる際の見本となっている。 ・安全のために特に注意することは「注意」として示されている。さらに、数種類の「安全マーク」（「けが」「やけど」等の文字を入れたマーク）を示すことで、何に注意すべきか、一目でわかるようになっている。 ・器具の操作方法は観察や実験のページに示され、巻末には簡潔にまとめられている。また、二次元コードを読み取ると動画で確認することもできる。 ・３年生の観察カードの例示では、「大きさ」、「形」、「色」の項目が統一されており、比較しやすい工夫がされている。
B 思考力・判断力・表現力等	・「問題」の前に「問題をつかもう」を設定することで、子どもたち自身が考え、話し合って「問題」を見いだす過程が具体的に示されている。 ・「結果から考えよう」では、結果をもとに、考察していく様子を児童や教師が対話するイラストを用いて具体的に示されている。 ・問題解決の流れが一目でわかるように、問題解決の過程を矢印でつなぐ工夫がされている。 ・各単元の最初のページには、既習事項や生活経験を想起させたり、学習のめあてを明確に示したりするなど、児童が問題をつかむことができるような構成となっている。
C 学びに向かう力・人間性等	・栽培や飼育方法については、動画と音声で詳しく説明を聞くことができるように、二次元コードが数か所掲載されており、ＩＣＴを活用して、栽培や飼育への興味・関心が高まるよう工夫されている。 ・観察や飼育する活動において、生物愛護や生命尊重の態度を育むための記述が「しぜんを大切に」というマークで示されている。 ・「理科の広場」、「つなげよう」では、日常生活における身近な事物や現象を取り上げ、中学校で扱う内容にも触れながら、科学的なものの見方や考え方を広げる工夫がされている。 ・自由研究のページでは、全学年見開き２ページに簡潔にまとめており、「自由研究に役立つリンク集」にリンクできる二次元コードを掲載している。 ・「発電と電気の利用」では、プログラミング学習として人感センサーと明るさセンサーを扱い、電球を動かす学習を扱っている。

生　活

東京書籍

大日本図書

学校図書

教育出版

信州教育出版

光村図書

啓林館

日本文教

観点の内容

生活科　目標

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）活動や体験の過程において、自分自身，身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。
（2）身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。
（3）身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

観　点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A　知識及び技能	・生活科と各教科等との関連や、実生活（家庭・地域等）との関連を意識した学習活動をそれぞれ取り上げている箇所数 ・学習活動の展開に即して、生活上必要な習慣や技能に関する指導につながる記述の箇所数	・活動や体験を通して生まれた気付きが相互に関連付けられたり、既存の経験などと組み合わされたりして、各教科等の学習や実生活の中で生きて働くものとなること。 ・思いや願いを実現する過程において、生活上必要な習慣や技能も活用されるものとして身に付けること。
B　思考力・判断力・表現力等	・分析的に考える活動（見付ける、比べる、たとえる）や創造的に考える活動（試す、見通す、工夫する）をそれぞれ具体的に例示している箇所数 ・言葉、絵、動作、劇化、その他による表現活動をそれぞれ具体的に例示している箇所数	・思いや願いを実現する過程において、児童が自分自身や自分の生活について、見付ける、比べる、たとえるなどの学習活動により、分析的に考えること。また、試す、見通す、工夫するなどの学習活動により、創造的に考えること。 ・児童が、気付いたことや考えたこと、楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法によって、他者と伝え合ったり、振り返ったりすること。
C　学びに向かう力・人間性等	・児童が思いや願いをもち、見る・聞く・触れる・作る・探す・育てる・遊ぶなどして、対象に直接働きかけている具体的な児童の姿を例示している図や写真の数 ・振り返る活動を通して、自分の成長を自覚したり、次の課題（やってみたいこと）につながったりしている様子を例示している箇所数	・思いや願いの実現に向けて、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとすることを繰り返し、それが安定的に行われるような態度を養うことを目指す。 ・思いや願いを実現する過程において、自分自身の成長に気付くことや、活動の楽しさや満足感、成就感などの手応えを感じることができるよう留意する。

調査方法

種目名【　生活　】

観点	調査した内容・項目についての説明
A 知識及び技能	・気付きが各教科等の学習や実生活の中で生きて働くものとなるように、生活科と「各教科等との関連」や、「実生活（家庭・地域等）」との関連を意識した発展的な学習活動を取り上げている箇所数について調査を行った。 例）各教科等との関連記述「虫の体に関する記述（理科）」 実生活（家庭・地域）との関連記述「みんなのまちに伝わる遊びはあるかな」 ・学習活動の展開に即して、生活上必要な習慣や技能に関する指導につながる記述の箇所数について調査を行った。 例）「何に気をつければいいのかな？（ルール・マナー等についての指導）」 「生き物図鑑（動物の世話の仕方に関する指導）」
B 思考力・判断力・表現力等	・分析的に考える活動（見付ける、比べる、たとえる）や創造的に考える活動（試す、見通す、工夫する）をそれぞれ具体的に例示している箇所数について調査を行った。 例）「どこが違うかな」→分析的に考える活動（比べる） 「輪ゴムを変えたらどうなるかな」→創造的に考える（試す） ・児童が気付いたことや考えたこと、楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化、その他による表現活動をそれぞれ具体的に例示している箇所数について調査を行った。 例)探検カードの記載例→言葉、絵　　発表の例→動作化、その他（歌・踊り）
C 学びに向かう力・人間性等	・児童が思いや願いをもち、見る・聞く・触れる・作る・探す・育てる・遊ぶなどして、対象に直接働きかけている具体的な児童の姿を例示している図や写真の数について調査を行った。 例）「どんな生きものをしっているかな？（活動を引き出す発問）」⇒見る・探す・触れる ・振り返る活動を通して、自分の成長を自覚したり、次の課題（やってみたいこと）につながったりする様子を例示している箇所数について調査を行った。 例）「もっとほかの場所も調べたいです」→次の課題（やってみたいこと） 例）「トマトのお世話をしっかりできるようになりました」→自分の成長の自覚

調査結果　生活

発行社 ＼ 研究調査事項		観点A 知識及び技能		観点B 思考力・判断力・表現力等		観点C 学びに向かう力や人間性等	
		生活科と各教科等との関連や、実生活（家庭・地域等）との関連を意識し取り上げている学習活動をそれぞれ箇所数	学習の展開に即して、生活上必要な習慣や技能に関する指導を記述している箇所数	分析的に考える活動（見付ける、比べる、たとえる）や創造的に考える（動く）試す、見通す、工夫する活動をそれぞれ具体的に例示している箇所数	言葉、絵、動作、劇化、その他による表現活動をそれぞれ具体的に例示している箇所数	児童が思いや願いをもち、見る・聞く・触れる・作る・探す・育てる・遊ぶなどして、直接働きかけている児童の姿を例示している写真や図の数	振り返る活動を通して、自分の成長を自覚したり、次の課題へやってみたいことにつながっていく様子を例示している箇所数
東京書籍	上		○			○	○
	下			○		○	○
大日本図書	上	○		○	○		
	下	○	○		○		
学校図書	上		○	○		○	
	下		○	○		○	
教育出版	上	○		○	○		
	下			○	○		○
信州教育出版	上	○			○	○	
	下	○		○		○	
光村図書	上	○			○		○
	下		○	○			○
啓林館	上			○	○		○
	下	○		○	○		
日本文教	上	○				○	○
	下		○			○	○

種目名　生　活	発行者名	東京書籍株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・紙面右端に「国語：見つけたことを話そう」、「算数：どちらが長いかな」など、単元の学習と関連する他教科等の学習内容が具体的に示されている。 ・単元末には、単元で育成された資質・能力を実生活で活用したり、中学年以降の教科に生かしたりする「やってみよう」や「つながるひろがる」が設けられている。 ・巻末に生活科の学習で身に付く習慣や技能をまとめた「かつどうべんりてちょう」が添付され、各単元の最初の紙面には、関連ページ番号が記載されている。 ・安心・安全、習慣や技能に関して、具体的な学習活動に即して身に付けられるよう紙面右端に「やくそく」を掲載し、「なににきをつければいいかな」と問いかけ、児童自らが考えながら習得するよう工夫されている。
B 思考力・判断力・表現力等	・下巻末の「かつどうべんりてちょう」には、「やってみよう考えよう」として分析的に考える活動や、「やってみようくふうしよう」として創造的に考える活動を示す具体例が記載されている。 ・単元に「学びをふかめる」コーナーがあり、児童の気付きがつながる様子を矢印で示されている。 ・上巻末には実物大の図鑑が掲載されており、必要に応じて教科書から取り外しそのまま屋外に持ち出すことができる。図鑑を使って観察することで、見付ける、比べる、たとえるなどの学習活動を促すよう工夫されている。 ・上巻では、ICT機器を活用した発表や学習カードの例示が多く見られる。下巻では、学習カードの文章表現に「したこと」だけでなく、自分と関わる他者への思いや願い、考えの記述が見られる。また、新聞や遊び、ポスターなどの多様な表現活動の具体例が示されている。 ・気付いたことを整理し、表現する方法を例示した「まとめようつたえよう」が下巻末に設けられている。
C 学びに向かう力・人間性等	・紙面左上に活動内容を表した「小単元名」と活動のめあてを表した「本文」を掲載し、イラストで「学びのプロセス」を例示され、児童が活動の見通しをもてるよう工夫されている。 ・大判の紙面で、一つ一つの写真やイラストが大きく、児童が活動しながらでも見やすい工夫がなされている。 ・上下巻を通して、多様な方法でこれまでの学習活動を可視化し、児童同士が学びを振り返る活動が例示されている。 ・単元の終わりには「やってみよう」や「できるようになったよ」など、児童が学んだことを実生活で発展させて実践することが示されている。 ・写真やイラストに付いている吹き出しが多く、この学習で「何ができるようになるか」を児童がイメージすることができ、それに基づいて成長を自覚することができるよう工夫されている。

種目名　生　活	発行者名	大日本図書株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・生活科の活動や体験が、他教科の学習へ広がり発展するとともに、他教科の学習成果が生活科の活動に生かされるよう相互の関連について特に合科的・関連的な指導が効果的と思われる場面に、関連する教科名等が示されている。 ・紙面右端に「せいかつことば」「きらきらことば」を設け、児童の語彙力の向上を図っている。 ・学校のことを家庭で報告する場面を適宜設けており、家庭との連携を図っている。 ・活動の中で必要に応じて参考にできる資料「がくしゅうどうぐばこ」を上下巻末に掲載しており、中学年以降の他教科にもつながっている。特に関連が深い内容には、単元内の紙面にリンクマークが示されている。 ・具体的な活動や体験を通して、必要な挨拶、人との接し方、学校や地域、家庭でできる生活習慣、道具や手を使う生活技能等に関する記述がある。
B 思考力・判断力・表現力等	・児童の活動写真と並行したイラストが取り入れられている。イラストの吹き出しが豊富であり、友だちと対話しながら学習している様子がよく分かり、その中で「見付ける」「比べること」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」児童の様子が例示されている。 ・イラストの吹き出しに「〇〇みたいだね」等の話形が示され、それによって分析的・創造的な思考を促し、子どもの言葉を引き出す工夫がある。 ・おもちゃ作りの活動では、自ずと子どもの試行錯誤が生まれるような環境構成や、新たな遊びを創り出す活動の流れが例示されている。 ・下巻では、地図やクイズ、ICT機器を活用した発表、ポスター、招待状やお礼の手紙などの具体例が豊富に示され、学年に応じた表現活動が例示されている。 ・下巻の巻末の「がくしゅうどうぐばこ」では、調べ方や伝え方では、多様な方法とその手順を具体的に記載している。
C 学びに向かう力・人間性等	・大単元の導入では、２ページにわたるダイナミックな写真を有効に使い、児童の興味・関心を高め、対象に直接働きかける意欲を引き出している。 ・複数の親しみやすいキャラクターが活動のヒントを示している。その際、「～しよう」と指示するだけでなく、「どうかな？」と問いかけ、子ども自身が考えるよう工夫されている。 ・単元と単元のつなぎでは、活動後の振り返りから、児童の思いや願いをもとに次の活動へとつながる流れを意識して紙面を工夫している。 ・児童の感性を刺激し、見る、触れる、作るなどの具体的体験を引き出す紙面を工夫している。 ・振り返りの場面をペアやグループで交流する場面の吹き出しや板書例で示しており、自身の学びの変容を自覚し、自分の生活に生かそうとする子どもの発言が例示されている。

種目名　生　活	発行者名	学校図書株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・国語科との関連として、対話したり記録したりすることが重視され、巻末資料には表現力としての話す・聞く・書くなどを「学び方図かん」に示し、活動の視点に沿って自己評価できるようになっている。 ・社会科との関連として、上巻で校内図、下巻で校区地図を使い、理科との関連として、土や石、水、かげ、草、木の実、風等の自然の中で遊ぶ活動が取り上げられている。また、総合的な学習の時間との関連として、各大単元が学習テーマをもった課題解決型の学習になっている。 ・活動を通して、公共におけるマナーなど、安全な行動や規則正しい生活ができるように注意マークやイラストが掲載され、それを見ながら児童自身がマナーについて考えるような構成になっている。 ・単元内に学習に関連する植物や昆虫等についての図鑑のページがあり、児童が活動しながら活用できるよう工夫されている。
B 思考力・判断力・表現力等	・キャラクターたちが、疑問や思いを対話し、協力しながら学習を進めている場面を例示し、言葉や表情から分析的・創造的に考える活動が促されるよう工夫されている。 ・巻末の「学び方図かん」の「見る」や「考える」のページに「比べる」「たとえる」「見通す」「工夫する」「試す」の項目がそれぞれ具体的に例を挙げて提示してあり、自己評価できるよう工夫されている。 ・例示されている児童の観察カードには、教師のコメントが書き込まれており、児童に意識させたい観点や価値付けたい気付きが分かるよう工夫されている。また、絵から文章へという発達段階に応じた表現が示されている。 ・伝える活動では、カードや新聞、歌や劇、造形など多様な表現方法に出会えるよう、絵や写真を豊富に取り入れ、児童が選択できるように工夫されている。 ・巻末の「学び方図かん」では、「話す」「書く」「発表する」のポイントが示されている。
C 学びに向かう力・人間性等	・各単元の冒頭では、キャラクターたちの対話場面が配置され、子ども自身の経験を思い出させ、単元の学習につながるよう工夫されている。 ・振り返りの活動では、特に文章を書く活動に重点が置かれており、児童の文章記述が多く例示されている。また、児童の記述に対する教師のコメントも例示され、成長の自覚や次の課題へのつながりを促す評価例が示されている。 ・振り返りカードへの記入の際、まずその時の自分の気持ちや伝えたい思いをマークやタイトルで示し、それを基に文章や絵をかいていくように示されている。 ・上巻最終単元には、これまでの成長を振り返る場面が設定されており、下巻最終単元には、自分の変容を自分だけでなく、友達、家庭等から教えてもらう構成となっている。 ・自分の成長とともに、他者との関わりでは常に「ありがとう」という感謝の気持ちを大切にするよう構成されている。

種目名　生　活	発行者名	教育出版株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・巻末の「学びのポケット」では各教科の知識・技能が整理されており、他教科等との学びと関連させて学習できるようになっている。また、これらは、「単元とびら」にインデックスとして関連ページが示されている。 ・紙面右端に「はってん」として理科や社会科へのつながりが具体的に示されている。また、下巻末には、生活科が理科や社会科へつながることがまとめられている。 ・安心・安全面に関して、紙面右端に「やくそく」として注意喚起をし、「手洗い・うがい」マークが随所に示されている。 ・生活上必要な習慣・技能についての記述が紙面右端に「できるかな」等で示されている。
B 思考力・判断力・表現力等	・学習で特に発揮すると効果的な６つの力（「きづき」「じぶんでできる」「かんがえる」「つたえる」「ちょうせんする」「じしんをもつ」）を「サイコロのアイコン」として明示しており、児童の思考を促すよう工夫されている。 ・「ヒント」や「はてなマーク」に、分析的に考える活動（見付ける、比べる、たとえる）や創造的に考える活動（試す、見通す、工夫する）につながる観点がイラストを交えて示されている。 ・「つたえる」活動において、ICT機器の活用やポスター、紙芝居、手紙、作文、カード、動作化など、まとめ方の手段を豊富に示している。また他教科とのつながりを生かした表現活動が意識された構成となっている。 ・思考を整理する学習活動として、付箋の活用やウェビング・Ｘチャート等の思考ツールや板書が例示されている。 ・資料がクイズになっていたり、「もしも生きもののことばがわかるマイクがあったら」等が設定されていたりするなど、児童が考えたくなるよう工夫されている。
C 学びに向かう力・人間性等	・紙面左上に「小単元名」や「活動の観点」、特に発揮すると効果的な力を示した「サイコロのアイコン」、紙面下に単元のインデックスが示され、学習の見通しをもちやすくなるよう工夫されている。 ・子どもと同じ目線で共に活動するキャラクターと楽しく活動する子どもの姿が掲載されており、「自分はこうしたいな」と思いや願いをもって活動できる工夫がなされている。 ・各単元の振り返り「なにをかんがえたかな」には、体験活動に適した表現活動が例示されている。また、自信や意欲のバロメーターとして、「まんぞくハシゴ」が掲載され、自己評価しやすい工夫がされている。 ・学んだことを家族に話す「つたえたいな」という活動が設定されており、自分の成長や良さについて伝え、認めてもらうようになっている。 ・振り返りの活動では、特に文章を書く活動に重点を置かれており、自分の成長を自覚したり、次の課題（やってみたいこと）につながったりしている例が示されている。

種目名　生　活	発行者名	一般社団法人信州教育出版社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・縦書きでページが構成され、国語科とのつながりが意識されている。 ・季節の行事を紹介するページでは、国語科や音楽科に関わって、詩や歌が紹介されている。また、家庭科に関わって季節ごとに収穫したものを調理する様子が紹介されている。 ・端午の節句、七夕、お月見、お正月、節分、雛祭りなど、季節の変化と関わりのある地域の文化や人々に関わる活動が多く取り上げられ、その地域ならではの、人、もの、こととの関わりや触れ合い、交流を通して、学んでいく単元展開となっている。 ・季節ごとのページには、観音開きで４ページ分の都市部と田園部の風景が描かれている。身近な地域からめあてや課題を見つけ、思いや願いをもって活動しやすいよう工夫されている。 ・生活上必要な習慣や技能については、全体の中のイラストや吹き出しで紹介されていることが多く、あえて項を挙げたり、巻末に資料として添付したりしていない。
B 思考力・判断力・表現力等	・植物の成長の変化について写真を中心に示している。そのため、その変化や違いに着目し、自分の育てている植物と比較しやすいよう工夫されている。 ・動物との継続的な関わりを取り入れ、飼育活動において創造的に考える活動（試す、見通す、工夫する）が構成されている。 ・分析的に考える活動（見付ける、比べる、たとえる）や創造的に考える活動（試す、見通す、工夫する）の様子が児童のイラストや写真で示されている。特に、児童の写真については、実際の単元学習において見られた児童の姿が掲載されており、生活科の学習過程をイメージしやすいよう工夫されている。 ・多様な表現活動として、絵・新聞・ICT活用だけでなく、粘土作品や絵画、版画作品などを例示している。
C 学びに向かう力・人間性等	・単元の導入では、教科書見開きページいっぱいの単元を象徴する写真や挿絵を掲載している。 ・大型哺乳類（ヤギ）を継続して飼育する活動が例示され、子どもが動物とともに成長し、自分の良さに気づくことができる紙面構成になっている。 ・各単元で、子どもが自分や友だちの生活・成長・地域とのかかわり方などを振り返る場面を設定している。 ・振り返る場面での児童の記述例はあえて示さず、児童一人一人の発想や表現を大切にしている。 ・下巻では、自分の幼いころの成長を支えてくれた家族やまわりの人々との関わりや学校での２年間を通し、その間のまわりの人々の温かなまなざしの中で成長してきた自分を実感できることを大切にしている。

種目名　生　活	発行者名	光村図書出版株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・地域に関わる単元では社会科との関連が示されている。また、飼育・栽培活動では、算数科の数や長さの学習内容との関連を意識した活動が例示されている。 ・特設ページである「きせつのおくりもの」には、四季を通じた町の様子の変化や、植物・動物の変化がイラストで示され、理科との関連が図られている。 ・巻末の「ひろがるせいかつかじてん」では、防災・安全や生活上必要な習慣、体験活動や表現活動をイラストで一覧として示している。 ・日常で身に付けてほしい生活習慣を１日の流れに沿って示している。
B 思考力・判断力・表現力等	・イラストや写真に子どもの思いを表した吹き出しが多く、分析的に考える活動（見付ける、比べる、たとえる）や創造的に考える活動（試す、見通す、工夫する）がイメージしやすいよう工夫されている。 ・巻末の「ひろがるせいかつかじてん」には、「見付ける」「工夫する」活動が児童のイラストで一覧として示されている。また、「表す」「伝える」活動として多様な表現活動が児童のイラストで一覧として示されている。 ・活動する児童のヒントとして「どうすれば」コーナーが設置されているが、４つ目のヒントを必ず「ほかにもあるかな。考えてみよう。」とし、子ども自らが考えていくよう工夫されている。 ・ポスターやパンフレット、新聞、クイズなど多様な表現活動の具体例が示されている。また、色鉛筆などを効果的に活用し、まとめ方のヒントになるような工夫を取り入れている。
C 学びに向かう力・人間性等	・全単元を「ホップ・ステップ・ジャンプ」の３段階で構成し、学習のスタートからゴールまでを見通せるよう工夫されている。また、「ホップ」には「見通し」コーナーを設けられ、児童が学習過程を確認でき、発問によって思いや願いを引き出すよう工夫されている。 ・振り返りの場面のキャラクターが、活動の振り返りのコメントをしているが、巻末だけはそのキャラクターではなく、キャラクターを手に持った子どものイラストがコメントをしている。一緒に学んできたキャラクターから卒業し、自らの成長を自覚して進級することができるよう工夫されている。 ・巻末の「ジャンプシール」は、児童が自分の活動を振り返り、書き込んで貼れるようになっており、シールを貼る高さで自己評価することができる。また、記録したことをさらに巻末にある「ジャンプ大しゅうごう」に貼り直すことで、１年間の学びを振り返ることになる。 ・単元末には「もっとやってみたい」コーナーを設け、単元終了後も活動を続けるヒントを豊富に示している。

種目名　生　活	発行者名	株式会社新興出版社啓林館

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・家庭との連携が重要な内容に、「保護者の皆様へ」として保護者に向けたメッセージが示されている。 ・国語科（話すこと、聞くこと、書くこと、読むこと）、算数科（かず、時間）、音楽科（歌）、図画工作科（製作、造形）、体育科（ゲーム、ダンス）、道徳科（生命の尊さ、伝統文化）などの各教科で育成を目指す資質・能力との関連を考慮した内容が示されている。 ・上巻巻頭のスタートブック同様、下巻巻末にはステップブックを掲載し、中学年以降の教科へのつながりを児童が意識できるよう工夫されている。 ・あいさつやマナー、安全上の注意などの基本的な生活習慣や知識・技能は「こんなときどうしよう」で考えながら学習できるようになっている。 ・上下巻末の「がくしゅうずかん」では、調べ方・記録のしかた・話し合いの工夫・まとめ方や、道具の使い方・安全上の注意などが示されている。
B 思考力・判断力・表現力等	・児童の気付きを共有化・可視化するための板書、付箋、ICTを活用する学習活動が例示されている。 ・多様な活動をする児童の写真と言葉に合わせて分析的に考える活動（見付ける、比べる、たとえる）や創造的に考える活動（試す、見通す、工夫する）の視点が示されている。 ・「こんなときどうしよう！」のコーナーが必要に応じて掲載され、言葉はなく絵だけで表すことによって、児童自らが解決策を思考できる構成である。 ・巻末の「がくしゅうずかん」の「友だちと考えをふかめよう」では、話合いの方法やヒントが示され、児童の話合い活動が充実するよう工夫されている。 ・「ぐんぐん」の活動では、「絵」「写真」「動作化」「絵本」「新聞」「巻物」などの多様な表現活動を例示している。 ・相手のことを想像して、伝えたいことや伝え方を自己決定できるように、巻末の「がくしゅうずかん」にまとめ方や伝え方が示されている。
C 学びに向かう力・人間性等	・紙面の左上に「小単元名」として具体的な学習活動が示されるとともに、紙面右下に「めくり言葉」として活動の中で生まれた気付きや、次の学習への思いや願いが示され、活動が単発にならず思いや願いが次の活動につながるように構成されている。 ・単元導入の「わくわくの扉」には、活動を引き出す発問が例示されたり、「わくわくボックス」に実物大図鑑や書き込みができる工夫があったりして、子どもの意欲を引き出す工夫がされている。 ・振り返りでは、「ひろがるきもち」として、自分の成長を家族に伝えることを通して自覚したり、次の課題（やってみたいこと）を基に思いや願いをもったりしている児童の姿が例示されている。 ・学習を通して気付いたこと、わかったことを主体的に確かめることができるように、「できるかなできたかな？」に活動を振り返る視点の例を示し、成長を実感できるよう工夫されている。

種目名　生　活	発行者名	日本文教出版株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・学習カード、作文、俳句、感想文などの作品例が紹介されており、表記全体を通して国語との関連が図られている。 ・算数との関連では、取れた種の数を数える活動やゲームの点数を計算する場面などが掲載されている。 ・理科との関連として、上巻では数ページを山おりすることで、植物の成長過程が一覧できる立体のしかけがある。 ・安全に過ごすために学習活動の中で注意することを紙面右上に「ちゅうい」として示している。また、キャラクターが繰り返し登場し、語り掛けるように注意を促している。 ・上下巻末の「ちえとわざのたからばこ」において、生活上必要な習慣や技能に関して、児童のイラストを用いて記載されている。
B 思考力・判断力・表現力等	・紙面を山おりにしてつなげることで、種から実になるまでの過程を見比べやすくなるよう工夫されている。 ・単元の初めの板書例と児童の吹き出しの言葉が、学習の見通しを持って、「見つける」「比べる」「たとえる」などの多様な学習活動につながる例示が示されている。 ・写真やイラストだけでなく、学習カードの文章にも「試す」、「工夫する」、「見通す」に関する記述が例示されている。 ・上下巻末の「ちえとわざのたからばこ」において、「考えるわざ」や「まとめ方はっぴょうのしかた」の具体例がイラスト付きで紹介されている。 ・板書を中心に、多様な表現方法の例示や話し合いの場面などを具体的に示し、ウェビングやYチャート等の思考ツールも例示されている。
C 学びに向かう力・人間性等	・小単元ごとに紙面左上に「タイトル」「子どものことば」、紙面左下に「学習のめあて」が示され、見通しがもちやすいよう工夫されている。 ・単元の導入では、子どもたちがこれまでの経験を交流し、自ら課題を見つけたりめあてを作ったりする場面が設定されている。また、活動のヒントになるような言葉が示されており、思いや願いを引き出すよう工夫されている。 ・紙面右下に「まなびのまど」を配置し、「ふりかえるつなげる」が設定されている。子どもが学びの中で自信をもって取り組んだことや生活を豊かにした経験を今後も繰り返したり継続したりできるような工夫がされている。 ・体験活動を振り返り、交流する場面を板書例で示している。板書には、自身の学びの変容を自覚し、自分の生活に生かそうとする子どもの姿が例示されており、互いを認め合い、肯定的に自分の良さに気づいていく姿が描かれている。

音　　楽

教　育　出　版

教　育　芸　術　社

観点の内容

音楽科　目標

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
（2）音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。
（3）音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

観　点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A　知識及び技能	・発達段階（低=リズム、中=旋律、高=音の重なりや和声）に適した学習活動が設定されている箇所数 ・表現の技能を高めるための記述の箇所数	・曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付き、理解するとともに、音楽表現を楽しむために、または表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けさせるように留意する。 ・それぞれの学年における「技能」の習得に関する学習が質的に高まっていること。
B　思考力・判断力・表現力等	・楽譜の理解を高める工夫が見られる記述の箇所数 ・リズム、強弱、形式などの音楽を形づくっている要素の働きを感じ取らせる活動が見られる箇所数	・音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるように留意する。 ・児童の発達段階や学習の系統性等を踏まえて、低学年では曲や演奏の楽しさ、中学年及び高学年では曲や演奏のよさなどとし、曲や演奏のよさなどを見いだしていくことが質的に高まっていること。
C　学びに向かう力・人間性等	・いろいろな演奏形態による教材数 ・聴き取ったことや感じ取ったことを様々な方法で伝えたり意見交換したりするなど、言語活動の充実にかかわる教材・学習活動が設定されている箇所数	・児童の発達段階に応じて、低学年では「楽しく」、中学年では「進んで」、高学年では「主体的に」、音楽への関わりが質的に高まっていること。 ・音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図りながら、友達と音楽表現をしたり音楽を味わって聴いたりする楽しさや、様々な音楽に親しむことができるよう留意する。

調査方法

種目名【　音楽　】

観点	調査した内容・項目についての説明
A 知識及び技能	・発達段階（低=リズム、中＝旋律、高＝音の重なりや和声）に適した学習活動が設定されている箇所数について調査を行った。 ・表現の技能を高めるための記述の箇所数について調査を行った。 例）曲想や活動のイメージ図・イメージ写真や挿絵の箇所
B 思考力・判断力・表現力等	・楽譜の理解を高める工夫が見られる記述の箇所数について調査を行った。 例）音楽用語や記号についての説明や資料の箇所 ・リズム、強弱、形式などの音楽を形づくっている要素の働きを感じ取らせる活動が見られる箇所数について調査を行った。
C 学びに向かう力・人間性等	・いろいろな演奏形態による教材数について調査を行った。 例）声楽・合唱・オーケストラ・和楽器など ・聴き取ったことや感じ取ったことを様々な方法で伝えたり意見交換したりするなど、言語活動の充実にかかわる教材・学習活動が設定されている箇所数について調査を行った。 例）「聴いて感じたことを話し合いましょう」等の記述がある教材の箇所

調査結果　音楽

発行社	研究調査事項	観点A 知識及び技能		観点B 思考力・判断力・表現力等		観点C 学びに向かう力・人間性等	
		発達段階（低＝リズム、中＝旋律、高＝音の重なりや和声）に適した学習活動が設定されている箇所数	表現の技能を高めるための記述の箇所数	楽譜の理解を高める工夫が見られる記述の箇所数	リズム、強弱、形式などの音楽を形づくっている要素の働きを感じ取らせる活動が見られる箇所数	いろいろな演奏形態による教材数	聴き取ったことや感じ取ったことを様々な方法で伝えたり意見交換したりするなど、言語活動の充実にかかわる教材・学習活動が設定されている箇所数
教育出版	1年生		○			○	○
	2年生				○	○	○
	3年生		○		○		○
	4年生			○	○		○
	5年生			○	○		○
	6年生		○		○	○	
教育芸術	1年生	○			○		○
	2年生	○	○	○			
	3年生	○		○		○	
	4年生	○	○			○	
	5年生	○	○			○	
	6年生	○		○			○

種目名　音　楽	発行者名	教育出版株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・「にっぽんのうた」では、イメージ写真が大きく取り上げられている。 ・共通教材では、全学年縦書きの歌詞とともに写真や絵が示され、綴じ込みの大きな写真が使用されている楽曲もある。また、イメージしたことを言葉で伝え合う活動が設定できるとともに、感じたことを表現に生かしていけるよう工夫されている。 ・手合わせや手話など、身ぶりで表しながら歌唱表現を行う活動が多数設定されている。６年間の発達段階に応じて設定している同じ曲がある。 ・「おもいだそう」と音楽記号などの前出ページの記載がある。 ・１、２年生の表現活動の教材では、音符の中に階名が示されている。
B 思考力・判断力・表現力等	・「音楽のもと」の表記で各教材ページに音楽を形づくっている要素（リズム・音色・旋律など）が記載されている。また、２年生から巻末の「『音楽のもと』まとめ」に音符や休符について視覚的にまとめて記載されている。学年が上がるごとに既習記号を増やして充実させている。 ・３、５年生では透明シートの工夫があり、音符や楽器についてのヒントが示されている。 ・「音楽のもと」についての説明に加え、記入するスペースや３年生からさらに「メモ欄」が設定される等、工夫がある。 ・もくじ右下に「まなびリンク」があり、楽曲や教材に関する情報をウエブサイトで見ることができる。
C 学びに向かう力・人間性等	・伝えたり意見交換したりする活動が、低学年から多数取り入れられている。曲を聴いて感じ取ったことを伝え合う活動が多い。 ・鑑賞教材では、２年生で日本の太鼓の音を楽しみ、４年生でことの魅力について、４、５年生では日本の民謡、６年生では日本の楽器（こと・尺八）が取り上げられ、日本の楽器の音色を味わう活動が設定されている。また全学年を通して，諸外国で親しまれている音楽が多数掲載されている。 ・まなびナビのマークが全学年設定されており、各題材の学び方について示されている。 ・全学年の巻末に日本の歌や楽器について、綴じ込みで掲載されている。

種目名　音　楽	発行者名	株式会社　教育芸術社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・低学年では拍を合わせて体を動かす活動、中学年では階名唱や旋律の特徴を感じ取る活動、高学年では音の重なりや和声の響きを味わう活動が多数設定されている。 ・発達段階に適した学習活動について、書き込み式のワークシートが設定されている。 ・１年生から３年生当初の表現活動の教材では，音符の中に階名が示されている。 ・全学年「ふりかえりのページ」が巻末に設定されており、学習した事柄を、要素ごとにわかりやすくまとめている。また、その学習をどのページで学習したのかも記載されている。 ・曲や演奏技術などを二次元コードを読み取るとウェブサイトで調べられる。
B 思考力・判断力・表現力等	・音符の書き方が丁寧に記載され、書く練習ができるスペースがある。 ・３年生から、巻末にいろいろな音符・休符・記号があり、習う学年の区別をして示されている。 ・説明箇所を強調し、簡潔に説明されている。 ・各教材の右下に音楽を形づくっている要素（リズム・音色・旋律など）が記載されている。 ・音の上がり下がりや、音符の長さを図に表すことで、視覚的に曲の流れを感じられるよう工夫されている。
C 学びに向かう力・人間性等	・演奏の形の資料が巻末に図式化されている。 ・鑑賞教材では、３年生でお囃子、４年生で民謡や郷土芸能の聴き比べや、ことや三味線・三線の音色を感じ取る活動、５年生で再びことに合わせて尺八、６年生で雅楽や日本の古典芸能の歴史を学ぶ活動が設定されている。 ・思いを表現につなげるための話合い活動が設定されている。 ・音楽記号の帽子をかぶったキャラクターによるアドバイスやヒントが示され、楽器のキャラクターによる発展的な学習のアドバイスも適宜設定されている。また、少年少女のイラストの吹き出しコメントで考え方や演奏方法のヒントが示されている。

図画工作

開　隆　堂

日　本　文　教

観点の内容

図画工作科　目標

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
（2）造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
（3）つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

観　点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A　知識及び技能	・形や色、組み合わせ、色の明るさ、動き、奥行き、バランスなどを捉える箇所数 ・材料や用具の取扱い、技法を紹介した箇所数	・対象や事象を捉える形や色などの造形的な視点について児童が自らの感覚や行為を通して理解できるように留意する。 ・材料や用具の特徴を生かしながら、材料を用いたり用具を使ったりし、自分の思いを基に表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるよう留意する。
B　思考力・判断力・表現力等	・表現の活動において、児童が創造的に発想や構想をしている箇所数 ・感じたこと、考えたことなどを、話したり聞いたり話し合ったりする、言葉で整理するなど、言語活動の充実に関わる学習活動が設定されている箇所数	・造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、自分にとって新しいものやことをつくりだすように発想や構想をし、作品をつくったり見たりするときに、よさや美しさなどを感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深め、自分なりに対象や事象を味わうとともに、児童が自分なりに新しい見方や感じ方をつくりだせるように留意する。
C　学びに向かう力・人間性等	・総題材数 ・生活や社会の中の形や色などに関する箇所数	・感性を働かせながら作品などをつくったり見たりすることそのものが、児童によって喜びであり、楽しみであることに留意する。 ・一人一人の児童が、形や色などに能動的に関わり、夢や願いをもち、心楽しく豊かな生活を自らつくりだせるよう留意する。

調査方法

種目名【　図画工作　】

観点	調査した内容・項目についての説明
A 知識及び技能	・形や色、組み合わせ、色の明るさ、動き、奥行き、バランスなどを捉える箇所については、図示や説明を加えたり、比較したりするなど、明確な意識付けが図られていたり、それらについて題材の中で触れているものについて調査を行った。 例）形の柔らかさ、色の冷たさ、色の組合わせによる優しい感じ、面と面の重なりから生まれる前後の感じ、色の明るさなどについての記載。 ・材料や用具の取扱い、技法を紹介した箇所については、１種類の材料や用具技法の手順について示されているものについて調査を行った。題材の中で簡単に触れているものも含む。 例）各学年で取り扱う材料や用具の取扱い方を説明したり、技法を紹介したりしている。
B 思考力・判断力・表現力等	・表現の活動において、児童が創造的に発想や構想をしている場面において発言（吹き出し）とともに掲載されている箇所について調査を行った。 ・感じたことや考えたことなどを、話したり聞いたり話し合ったり、言葉で整理したりするなど、言語活動の充実に関わる学習活動が明確に設定されている箇所について調査を行った。
C 学びに向かう力・人間性等	・総題材数については、各発行者が題材名としてあげているものについて調査を行った。 ・生活や社会の中の形や色などに関する箇所については、家庭、地域、社会で出会う形や色、作品、造形、美術などについて示されているものについて調査を行った。 例）食器、家具、衣服、用具、パッケージ、ポスター、伝統的な工芸品、建物など、児童を取り巻く生活の中にある様々な造形のこと

調査結果　図画工作

発行社 ＼ 研究調査事項		観点A 知識及び技能		観点B 思考力・判断力・表現力等		観点C 学びに向かう力・人間性等	
		形や色、組み合わせ、色の明るさ、動き、奥行き、バランスなどを捉える箇所数	材料や用具の取扱い、技法を紹介した箇所数	表現の活動において、児童が創造的に発想や構想をしている箇所数	活動の充実に関わる学習活動が設定されている箇所数	感じたこと、考えたことなどを、話したり聞いたりしたり合ったりする言葉で整理するなど、言語活動の総題材数	生活や社会の中の形や色などに関する箇所数
開隆堂	1・2年生　上	○				○	○
	1・2年生　下		○			○	○
	3・4年生　上			○		○	○
	3・4年生　下	○	○		○		
	5・6年生　上		○	○	○		
	5・6年生　下		○		○	○	
日本文教	1・2年生　上		○	○	○		
	1・2年生　下	○		○	○		
	3・4年生　上	○	○			○	
	3・4年生　下			○		○	○
	5・6年生　上	○				○	○
	5・6年生　下	○		○			○

種目名　図画工作	発行者名	開隆堂出版株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・各題材の「造形的な見方や考え方」が明確になるように「めあて」と「ふりかえり」が示されている。 ・各学年の巻末に「造形の引き出し」を設け、学年に応じた用具・材料の知識や使い方について詳しく示している。さらに、「造形的な見方や考え方」「鑑賞の方法」などについても取り上げている。 ・各題材のページにおいても、材料や用具の扱いについて触れるとともに、片付けや安全について囲みを設け、写真やイラストで具体的に示している。
B 思考力・判断力・表現力等	・各学年に「ひらめきコーナー」や「形や色でショートチャレンジ」のページを設け、身近な材料や短時間で取り組める表現の題材を紹介している。 ・共同で行う活動を多く提示し、自然な流れで話し合いが行えるよう工夫されている。 ・鑑賞の題材では、各学年連続した４ページで扱い、様々な話し合いの場面を掲載するとともに、美術館を活用した鑑賞活動も示している。
C 学びに向かう力・人間性等	・育てたい資質・能力を軸に一年間の題材を系統的に配列した目次が、各学年の巻頭に示されている。 ・「みんなのギャラリー」のページを中心に、伝統工芸や地域の行事などについて多く取り上げている。 ・各題材のページに、「あわせて学ぼう」の欄を設け、他教科との関連が示されている。

種目名　図画工作	発行者名	日本文教出版株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・「題材名」や「活動へと誘うリード文」、「めあて」が、分かりやすい言葉で示されており、児童が学習のめあてをもって活動に取り組めるよう工夫されている。 ・各題材のページにキャラクターのコメントが掲載されており、児童が「造形的な見方や考え方」について気づくことができるよう工夫されている。 ・各学年の巻末に「使ってみよう材料と用具」を設け、材料や用具の基本的な扱い方について順を追って丁寧に示されており、必要に応じて活用しやすくなっている。
B 思考力・判断力・表現力等	・造形遊びについては、掲載している題材数が多いだけでなく、発達段階を考慮しながら、材料や場所に繰り返し関われるように系統的に配列されている。 ・児童が学習のイメージを持ったり、発想のヒントとしたりできるような、活動の写真や作品、コメントを多く掲載している。 ・鑑賞だけでなく表現の題材においても、見合ったり、話し合ったりする活動を多く取り入れている。
C 学びに向かう力・人間性等	・一つの題材の中で、複数の材料や活動場所が示されており、児童の実態や環境に合わせて活動が設定できるようになっている。 ・「ひらめきポケット」「図画工作のつながり ひろがり」のページで、身近にある色や形、伝統工芸や美術作品に関心が持てるように工夫されている。 ・作品などを家庭で使ったり、保護者と一緒に見て楽しんだりする様子を掲載し、図画工作科の学びを生活へ結びつける工夫がされている。

家　庭

東京書籍

開隆堂

観点の内容

家庭科　目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
（2）日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
（3）家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

観　点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A　知識及び技能	・衣食住の生活についての基礎的・基本的な理解に関わる学習活動の設定 ・調理や製作などの技能に関する内容を取り上げている箇所数	・衣食住の生活に必要な役割や働きに関する基礎的・基本的な理解について、調査や話合い活動を取り入れ、児童が主体的に考えられるよう留意する。 ・「調理の基礎」「生活を豊かにするための布を用いた物の製作」の技能の定着を図るためには、必要な材料、用具、手順、時間等の見通しをもち、目的に応じた安全な取り扱いについて理解できるよう留意する。
B　思考力・判断力・表現力等	・日常生活で活用するための教材や学習活動の設定 ・問題解決的な学習の一連の学習過程を取り上げている箇所数	・「家族・家庭生活についての課題と実践」において、衣食住の生活や消費生活・環境で学習した内容との関連を図り課題を設定し、実践的な活動を家庭で行うことができるよう留意する。 ・問題解決的な学習においては、解決方法を考えたり、計画を立てて評価・改善したりする際、他者との意見交換などを通して、多角的に検討できるよう留意する。
C　学びに向かう力・人間性等	・幼児や高齢者など異なる世代の人々との関わりについて考え、生活をよりよくしようと工夫する学習活動の設定 ・各教科等と関連をもたせた指導に関する内容や、道徳の内容と関連をもたせた指導が設定されている教材の数	・幼児又は低学年の児童や高齢者など異なる世代の人々との関わりについて問題を見いだし、その解決方法について話し合うことを通して、生活をよりよくするためにどのように工夫できるか考えることができるよう留意する。 ・各教科や道徳等の指導内容との関連を図るとともに、中学校家庭分野における学習を見据え、児童の日常生活とのつながりを重視し、家庭や地域における実践に結びつけることができるよう留意する。

調査方法

種目名【　家庭　】

観点	調査した内容・項目についての説明
A 知識及び技能	・衣食住の生活の「食事の役割」「栄養を考えた食事」「衣服の着用と手入れ」「快適な住まい方」に関する基礎的・基本的な知識の理解に関わる教材の数について調査を行った。 例）栄養素のはたらき、用具の名称など ・「調理の基礎」「生活を豊かにするための布を用いた物の製作」の技能の定着を図る内容等について調査を行った。 例）青菜のゆで方、手縫いの仕方など
B 思考力・判断力・表現力等	・「家族・家庭生活についての課題と実践」において、衣食住の生活や消費生活・環境で学習した内容との関連を図り、課題を設定し、実践的な学習活動が設定されている教材の数について調査を行った。 例）家庭で実践しよう、深めようなどの表記や、実践を促す教材数 ・児童が解決方法を考えたり、計画を立てて評価・改善したりする際、他者の意見を取り入れたり、計画どおりにできたかを振り返ったり改善方法を考えたりできるよう、書き込み部分の数や話合い活動を具体的に設定した数について調査を行った。 例）話し合おう、考えよう、振り返ろうなどの表記や、書き込める箇所の数
C 学びに向かう力・人間性等	・幼児又は低学年の児童や高齢者など異なる世代の人々との関わりについての問題を見いだしたり、生活をよりよくしようと工夫したりする学習活動が設定されている教材の数について調査を行った。 例）家族と関わる際の課題や、実践の工夫が促されている箇所、 ・各教科や中学校の技術・家庭科（家庭分野）と関連をもたせている箇所、道徳の内容と関連づけて指導できる箇所の数について調査を行った。 例）他教科や中学校で学ぶ内容、道徳の内容項目と関連がある箇所（データや解説、注釈も含む）の数

調査結果　家庭

研究研究事項 ＼ 発行社	観点A 知識及び技能		観点B 思考力・判断力・表現力等		観点C 学びに向かう力・人間性等	
	衣食住の生活についての基礎的・基本的な理解に関わる学習活動の設定	調理や製作などの技能に関する内容を取り上げている箇所数	日常生活で活用するための教材や学習活動の設定	問題解決的な学習の一連の学習過程を取り上げている箇所数	幼児や高齢者など異なる世代の人々との関わりについて考え、生活をよりよくしようと工夫する学習活動の設定	各教科と関連を持たせた指導に関する内容や、道徳の内容と関連させた指導が設定されている教材の数
東京書籍				○	○	○
開隆堂	○	○	○			

種目名　家　庭	発行者名	東京書籍株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・ミシンの各部の名称や、扱い方を大きく掲載している。 ・調理や製作における必要な技能を、巻末に１０ページにわたって大きく取り上げて掲載し、いつも確かめられるようにしている。 ・作業をしている手の実物大写真があり、自分の手を重ねて持ち方等を確認できる。 ・切った食材の実物大写真が掲載されているので、調理実習で食材を切る際に大きさをイメージしやすい。 ・巻末の家庭科に関する用語が５０音順に掲載され、調べやすい。
B 思考力・判断力・表現力等	・問題解決的思考力に配慮し、すべての題材が、『課題発見、課題解決・実践活動、評価・改善』の３ステップで展開されている。児童にとって、見通しがもちやすく、教科書もすっきりして見やすい。 ・学びを深めるために、『考えよう』『話し合おう』『調べよう』『やってみよう』『深めよう』の活動が設定されており、特に『話し合おう』から始まる単元が多く、児童の主体的な学びや対話的な学びにつながりやすい。また、『深めよう』では、学んだことを総合的に活用して実践したり伝えたりできるように工夫されている。
C 学びに向かう力・人間性等	・「生活を変えるチャンス!」等、実生活に結び付けた実践の場を多く設定し、児童自らが生活の中から課題を見つけ、学んだ知識・技能や思考力・判断力・表現力を活用し、よりよい生活を目指して課題解決できる内容構成になっている。 ・日本の伝統や郷土・地域に関する記述が丁寧で、「プロに聞く」では、様々な職業人の話を取り上げることで、児童の仕事や生活への興味を高め、キャリア教育につながる工夫がなされている。 ・他教科の学習内容や中学校技術・家庭　家庭分野との関連をわかりやすいアイコンで示し、他教科の学習内容と生活を家庭科の中で結び付け、知識・技能がより確かな力として活用できるように配慮している。

種目名　家　庭	発行者名	開隆堂出版株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・衣生活と住生活、消費と環境の単元等を分けることにより、細分化された単元を一つひとつ丁寧に学ぶことができる。 ・二次元コードによる動画コンテンツが豊富に準備されており、作業手順を動画で見ることができるので、授業や家庭学習で活用できる。 ・各ページに一口メモとして語句の説明やワンポイントアドバイス、関連の情報が豊富に取り上げられている。 ・生活の中のプログラミングについて、身近な電化製品を例に取り上げて、生活とプログラミングとの関わりを考えられるようにしている。 ・教科書の裏表紙に切り方の一覧表があり、実習中にいつでも確認することができる。 ・応用調理例や応用作品例の掲載が豊富であり、発展的な学習や家庭での実践の際に活用することができる。
B 思考力・判断力・表現力等	・単元ごとに、学んだことをどのように生活に生かしたいか書く欄があり、それが学習指導要領「家族、家庭生活についての課題と実践」につながっている。 ・単元のはじめに学習のめあてがまとめられていて、課題意識をしっかり持てるように工夫されており、達成できたかどうかをチェックして確認できるようになっている。
C 学びに向かう力・人間性等	・「家庭で実践しよう　チャレンジコーナー」「レッツ　トライ　生活の課題と実践」において、生活の中から課題を見つけ、計画・実践・振り返り・評価・改善を繰り返しながら、家庭や地域でのより良い生活を目指した実践的活動ができるよう工夫されており、学習指導要領で新設された家庭生活についての「課題と実践」に対応している。 ・他教科や道徳の内容との関連だけでなく、家庭科の他の学習内容との関係についてもアイコンで示し、繰り返し確認しながら実際の生活場面で活かせるように工夫されている。

保　　健

東　京　書　籍

大　日　本　図　書

文　　教　　社

光　文　書　院

学研教育みらい

観点の内容

体育科　目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。
（2）運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
（3）運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

観　点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A　知識及び技能	・「心の健康」及び「けがの防止」において、「技能」の内容を取り扱っている箇所数 ・運動領域との関連を重視する視点から、「健康な生活」、「体の発育・発達」、「病気の予防」において、運動に関する内容を取り扱っている箇所数	・体育や保健の見方・考え方を働かせることを通して、「各種の運動がもたらす体の健康への効果はもとより、心の健康も運動と密接に関連している」ことを実感できるようにし、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための知識及び技能を習得させることに留意する。
B　思考力・判断力・表現力等	・身近な日常生活の体験や事例を題材にした話合いや、思考を促す資料を用いて健康に関する課題を解決する学習活動を取り上げている箇所数 ・実践的理解を促すために実験などを取り上げたり、コラム、写真や図、グラフ、表などを用いて解説したりしている箇所数	・健康に関する課題に対応して、自己の健康を保持増進するために的確に思考し、判断するとともに、それらを表現することができるような資質・能力の育成を目指すことに留意する。 ・健康に関する課題を解決するなどの学習活動を取り入れ、知識を身に付ける指導に偏ることなく、自ら考えたり、判断したりしながら実践的に理解できるように留意する。
C　学びに向かう力・人間性等	・自己の健康に関する取組や自己の健康の保持増進や回復のために主体的、協働的に活動するよさに気付くような事例や問の箇所数 ・身近な健康や心身の発育・発達などを肯定的に捉えられるような内容を取り上げている箇所数	・自己の健康の大切さを認識し、健康の保持増進や回復等に主体的に取り組み、健康で豊かな生活を営む態度が身に付くように留意する。 ・現在及び将来にわたって健康で活力に満ちた楽しく明るい生活を営む態度が身に付くように留意する。

調査方法

種目名【　保健　】

観点	調査した内容・項目についての説明
A 知識及び技能	・「心の健康」及び「けがの防止」において、「技能」の内容を取り扱っている箇所数について調査を行った。 例）・問題やまとめ、吹き出しなどで、体ほぐしの運動や深呼吸を取り入れた呼吸法など不安や悩みを抱えたときの対処法ついて記載している箇所 ・問題やまとめ、吹き出しなどで、すり傷、鼻出血、やけどや打撲などの簡単な手当について記載している箇所 ・運動領域との関連を重視する視点から、「健康な生活」、「体の発育・発達」、「病気の予防」において、運動に関する内容を取り扱っている箇所数について調査を行った。 例）「運動は、骨や筋肉を丈夫にする効果があるよ。」「全身を使った運動は病気の予防にとって大切だよ。」など、吹き出しやコラム、専門家の話などで運動と健康の関連について記載している箇所
B 思考力・判断力・表現力等	・身近な日常生活の体験や事例を題材にした話合いや、思考を促す資料を用いて健康に関する課題を解決する学習活動を取り上げている箇所数について調査を行った。 例）「次の事故はなぜ起こったのでしょう。」「かぜをひきやすい理由を説明しましょう。」など、学習したことを活用したり、日常の生活体験から自分の考えを説明したりする活動が記載されている箇所 ・実践的理解を促すために実験などを取り上げたり、コラム、写真や図、グラフ、表などを用いて解説したりしている箇所数について調査を行った。 例）「ぬれただっしめんで手をふいて、よごれが付いているかどうか、たしかめてみましょう。」など、問題に設定されているものや実験の写真や図、学校医など専門家の話で実践的理解を促す内容が記載されている箇所
C 学びに向かう力・人間性等	・自己の健康に関する取組や自己の健康の保持増進や回復のために主体的、協働的に活動するよさに気付くような事例や問の箇所数について調査を行った。 例）「病気の予防で学習したことを生かして、次のことについて考えてみましょう。」など問題に設定されているものや、「学習のまとめ」コーナー等で学んだことを活用している事例を紹介している箇所 ・身近な健康や心身の発育・発達などを肯定的に捉えられるような内容を取り上げている箇所数について調査を行った。 例）思春期に起こる体の変化など、吹き出しや専門家の話等で自分の体の変化を肯定的に捉えられるような内容が記載されている箇所

調査結果　保健

発行社	研究調査事項	観点A 知識及び技能		観点B 思考力・判断力・表現力等		観点C 学びに向かう力・人間性等	
		「心の健康」及び「けが・病気の予防」に関する内容を取り扱っている箇所数	「生活習慣」や「運動領域」との関連を重視し、「健康な生活」の観点から、「運動に関する内容を取り扱っている箇所数	身近な日常生活の体験や事例を題材にした話合いや思考を促す資料を用いて健康に関する課題を解決する学習活動を取り上げている箇所数	実践的理解を促すために、実験などを取り上げたり、図、グラフ、表などを用いて解説したりしている箇所数	自己の健康に関する取組や自己の健康の保持増進のための主体的、協働的な活動や回復のために、気付くような事例や問いの箇所数	身近な健康や心身の発育などを肯定的に捉えられるような内容を取り上げている箇所数
東京書籍	3年生			○	○	○	
	4年生		○	○			○
	5年生			○		○	○
	6年生		○	○		○	
大日本図書	3年生	○			○	○	
	4年生	○			○	○	
	5年生		○		○	○	
	6年生				○	○	○
文教社	3年生		○			○	○
	4年生	○	○				○
	5年生	○				○	○
	6年生		○			○	○
光文書院	3年生		○	○			○
	4年生	○	○		○		
	5年生		○		○		○
	6年生	○			○		○
学研教育	3年生	○		○			○
	4年生	○		○		○	
	5年生	○	○	○			
	6年生	○		○	○		

種目名　保　健	発行者名	東京書籍株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・マークで他教科、他学年とのつながりがわかるように示されている。 ・「けがの防止」では、けがの内容や手当の仕方を分かりやすく説明していたり、自転車の安全な乗り方を紹介したりしている。また、具体的な日常生活でのけがを想定し、手当を行う実習ができるようになっている。 ・「体の発育・発達」では、健康のために運動を取り入れやすくできるよう、日常生活でできる運動が紹介されている。
B 思考力・判断力・表現力等	・コミュニケーションを大切にした学習活動を設定するために、身近な日常生活の体験や事例をテーマにした話し合い活動を多く取り入れられている。特に「けがの防止」では、けがの原因や防止について考える箇所数を多く設定している。 ・「体の成長とわたし」の単元の導入では実物大の写真やグラフを掲載したり、図や挿絵を豊富に取り入れたりして、学習を身近なものとして捉えやすくしている。 ・教科書内に資料を見ながら書き込むことができる欄を設け、言語活動を通して、思考力や判断力、表現力が育成されるように工夫されている。
C 学びに向かう力・人間性等	・どの単元の学習も振り返りに興味や疑問を持たせて、これからの学習につなげる書き方になっている。 ・学習のパターンが決まっていて、「まとめる・生かす」の場所が常に同じ所にきている。穴あき問題で語彙を理解させるだけでなく、記述形式で自分の考えを書くようになっている。また、次時の予告もされている。 ・学習のはじめの初発問が「？学習の課題」となっており、大きな文字で見やすくなっている。子どものつぶやきの掲載があり、導入に入りやすい工夫がされている。

種目名　保　健	発行者名	大日本図書株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・単元の導入の「わたしたちはどこかな？」という活動を通して、それぞれの子どもの行動について考えることで、けがの防止や心の健康など課題意識を持って学習を行い、学習後の実践力につながるようになっている。 ・「けがの防止」で示されている「安全な環境づくり」の例に、子どもが点検している様子も示されているので、子どもたちが主体的に環境づくりを行っていく姿につながる。 ・「体の発育・発達」では、健康のために日常生活で運動を取り入れやすくできるような運動が紹介されている。
B 思考力・判断力・表現力等	・４年生の「育ちゆく体とわたし」では、シールを使った操作活動を通して、知識や思考力が高められる工夫がされている。 ・写真や絵、グラフが豊富に掲載されている。中でも「けがの防止」「病気の予防」では、写真やグラフを多く用いて、視覚的に考えたり判断したりしやすいように工夫されている。 ・ミニ知識としてページの欄外に「知っておくとためになる内容」を掲載し、実践的理解の習得にいかすことができるように工夫されている。
C 学びに向かう力・人間性等	・教科書の最初に「けんこうは夢をかなえる力になる。」ということからはじまっており、将来の自分を意識することができる内容である。また、各学習の「活用して深めよう」では、記述欄が大きくなく、書くことが苦手な子どもに配慮された工夫がされている。 ・「心の健康」の領域では、不安や悩みを持った子どもの気持ちと解決策の事例が多かった。 ・ガンの記載が教科書の最後に１ページを使って掲載されている。家族がガンになった時の状況を想定した内容でガンに向き合う家族としての関わりが書かれてあった。

種目名　保　健	発行者名	株式会社　文教社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・「けがの防止」では、発展教材として「自助・共助・公助」の関係を見開きで示し、人のつながりについても理解できるようになっている。 ・「熱中症」に関わる資料が、具体的なチェックシートも用いており、分かりやすい内容となっている。 ・単元の最後にある「わたしの〇〇宣言」では、ほとんどの単元で運動との関わりに触れる例が示されている。
B 思考力・判断力・表現力等	・二人の子どもが会話をしながら学習を進めていくことで、児童が親しみをもって考えることができるように工夫されている。 ・「病気の予防」では、単元の最初にイメージマップを作成することで、様々な病気や予防方法との関係が視覚的に捉えることができ、思考力や表現力の支援となる手立てとなっている。 ・「体の発育と発達」では、年齢と新体力テストの記録の関係を表したグラフや生活習慣と新体力テストの合計の関係を表したグラフを掲載している。
C 学びに向かう力・人間性等	・大事な所は、色で囲み、さらに太字で強調されているため、注目しやすい工夫がされている。 ・６年生の領域においては、いろいろな専門の方の吹き出しが多く掲載されており、生活習慣病や薬物乱用の危険について強調するような工夫がされている。 ・４年生の「思春期の身体の変化」では、心の変化として、思春期においての異性との関わりについて兄・姉の経験談や解決策を掲載してわかりやすく理解する工夫がされていた。

種目名　保　健	発行者名	株式会社　光文書院

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・他教科、他学年とのつながりがわかるようなマークが示されている。 ・二次元コードを読み込めば、手の洗い方やけがの手当の方法を動画で見られるなど、ホームページから探すのではなく、すぐに使える資料を引き出すことができる。 ・「体の発育・発達」では、健康のために運動を取り入れやすくできるよう、日常生活の中でできる運動が紹介されている。また、各運動と運動量の関係も示されており、運動を行う目安もわかるようになっている。
B 思考力・判断力・表現力等	・「けんこうな生活」では、身近な日常生活の体験や事例を題材にした話し合いを多く取り入れられている。 ・写真や図、グラフ、表が豊富に掲載されている。また、豆知識としてページの欄外に「知っておくとためになる内容」を掲載し、児童の実践的理解にいかすことができるように工夫されている。 ・「かがくのとびら」の欄を設け、科学的な資料を掲載することで、学習内容の理解や思考力を深める工夫がされている。
C 学びに向かう力・人間性等	・各単元の「学習のまとめ」では、単元で知ってほしい言葉を記述で答えるようにしている。また、学習の中でこれからに生かしたいことを選択制にするなど支援を要する児童への配慮がされている。 ・３年生の「けんこうな生活」の単元の中にスマートフォンやタブレットの使い方と生活リズムを掲載し、タブレット端末使用の低年齢化を意識し、早期の手立てや今の生活を見直す資料の一助となる。またスクリーンタイムなど具体的な判断基準も記載されている。 ・高学年においてはどの領域においても専門家からのコメントが多く、身近な健康や心身の発育などを肯定的に捉えられるような内容を取り上げている。

種目名　保　健	発行者名	株式会社学研教育みらい

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・「けがの防止」の発展教材では、「Ｊアラート」にもふれ、警報が出されたときに、どのように行動すればよいかを考えられるようになっている。 ・「関連」というマークでは、運動領域とのつながりも明確に示されている。 ・二次元コードを読み込んだ会社のサイト内では、手軽に行える多くの運動例が紹介されている。
B 思考力・判断力・表現力等	・コミュニケーションを大切にした学習活動を設定するために、身近な日常生活の体験や事例をテーマにした「つかむ・ふりかえる」という導入があり、話し合い活動が多く取り入れられている。 ・「実習」の欄を設け、日常生活の中であり得る問題について話し合う活動を取り入れ、表現力を高める工夫がされている。 ・「かがくの目」の欄を設け、実験等で確かめることができる資料や写真を多数掲載することで、児童の学習理解を深めたり、科学的な認識を促したりできるように工夫されている。
C 学びに向かう力・人間性等	・記述する項目が少なく、資料などを大きく、きれいに掲載しており、見開きで１授業が終わる工夫がされている。 ・６年生の生活習慣病の予防の後に１ページを使い、Q&A方式でがんについて掲載しており、がんの死亡率や発病の原因、治り方などをわかりやすく説明している。 ・５年生の「心の健康」の領域に思春期の時の悩みを掲載し、スクールカウンセラーという専門の立場の方からのアドバイスを受けることにより、安心させる工夫がされている。

英　　語

東　京　書　籍

開　　隆　　堂

学　校　図　書

三　　省　　堂

教　育　出　版

光　村　図　書

啓　　林　　館

観点の内容

外国語科　目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。

（2）コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。

（3）外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

観　点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A　知識及び技能	・「聞くこと」「話すこと［やりとり］」「話すこと［発表］」の技能別（領域別）の活動の箇所数 ・十分に音声に慣れ親しませた上で「読むこと」「書くこと」に慣れ親しむ活動の箇所数	・言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能の基礎的なものを身に付けることができるよう留意する。 ・十分に音声で慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現について、発達の段階に応じて段階的に「読むこと」「書くこと」を加え、文構造の理解など、言葉の仕組みの理解を促す指導をすることに留意する。
B　思考力・判断力・表現力等	・具体的な課題が設定された言語活動の箇所数 ・言語の使用場面が設定された言語活動の箇所数	・具体的な課題等を設定し、目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えを形成したり、推測しながら読んだり語順を意識しながら書いたりして、コミュニケーションを行い、自分の考えや気持ちを伝え会うことができるよう留意する。
C　学びに向かう力・人間性等	・主体的に取り組むことができるような段階的な言語活動の設定がされた箇所数 ・様々な言語そのものへの理解や言語の背景にある文化についての題材が設定された箇所数	・児童が興味を持って取り組むことができる言語活動を易しいものから段階的に取り入れたり、自己表現活動の工夫をしたりするなど、様々な手立てを通して児童の主体的に学習に取り組む態度の育成を目指した指導をすることに留意する。 ・英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然などに関するものの中から、児童の発達段階や興味・関心に即して適切な題材を変化をもたせて取り上げることに留意する。

調査方法

種目名【　英語　】

観点	調査した内容・項目についての説明
A 知識及び技能	・「聞くこと」「話すこと［やりとり］」「話すこと［発表］」の技能別（領域別）活動の数について調査を行った。 例）Let's ListenやLet's talk等の技能別（領域別）の活動の数 ・十分に音声に慣れ親しませた上で「読むこと」「書くこと」に慣れ親しむ活動の数について調査を行った。 例）He/Sheを使った人物紹介について十分に音声で聞いたり話したりした後、自分が紹介したい人物について、He/Sheを書き写して人物紹介カードをつくる活動等。
B 思考力・判断力・表現力等	・具体的な課題が設定された言語活動の数について調査を行った。 例）夢の時間割をつくり、みんなに紹介をする活動等 ・「児童の身近な暮らしに関わる場面」と「特有の表現がよく使われる場面」の言語の使用場面について調査を行った。 例）家庭での生活、学校での学習や活動、地域の行事、挨拶、自己紹介、買物食事、道案内、旅行等の使用場面の種類の数
C 学びに向かう力・人間性等	・児童の興味・関心を高められるよう、言語活動を易しいものから段階的に取り入れたり、言語活動における理解の助けとなるような視覚資料等の設定をしたり、他教科等と関連付けたりしている箇所の数について調査を行った。 例）行きたい国を友だちとやり取りした後、海外旅行のパンフレットを模した紙面を見ながら、行きたい国の有名な食べ物やおすすめの季節を学級に紹介する活動等 ・「多様な考え方に対する理解を深めさせ、公正な判断力を養い豊かな心情を育てる題材」「我が国の文化や、英語の背景にある文化に対する関心を高める題材」「広い視野から国際理解を深め国際協調の精神を養い、かつ日本の文化や価値観、考え方などについての自覚を高める題材」の観点別の題材の数について調査を行った。 例）日本の学校生活と様々な国の学校生活について、情報を得る活動等

調査結果　英語

発行社 ＼ 研究調査事項		観点A 知識及び技能		観点B 思考力・判断力・表現力等		観点C 学びに向かう力・人間性等	
		「聞くこと」「話すこと」「やりとり」「話すこと」「発表」についての技能・領域別の活動の箇所数	十分に音声に慣れ親しませた上で「読むこと」「書くこと」に慣れ親しむ活動の箇所数	具体的な課題が設定された言語活動の箇所数	言語の使用場面が設定された言語活動の箇所数	主体的に取り組むことができるような言語活動の設定がされた箇所数	様々な言語そのものへの理解や言語の背景にある文化についての題材が設定された箇所数
東京書籍	5年生	○	○	○			
	6年生		○	○	○		
開隆堂	5年生				○	○	○
	6年生	○				○	○
学校図書	5年生		○			○	○
	6年生		○	○		○	
三省堂	5年生	○		○	○		
	6年生	○		○	○		
教育出版	5年生		○	○	○		
	6年生			○	○	○	
光村図書	5年生				○	○	○
	6年生	○				○	○
啓林館	5年生	○			○		○
	6年生	○			○		○

種目名　英　語	発行者名	東京書籍株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・「話すこと［やり取り］」「話すこと［発表］」について、単元の終末に、「話すこと［やり取り］」から「話すこと［発表］」へ流れのある活動が設定されている。 ・「聞くこと」「話すこと」の活動であるスモールトークが設定されている。 ・６年生では、「聞くこと」「話すこと」の活動の後、１文ずつ「書くこと」の活動が設定してある。単元の終末には、毎時間行った「書くこと」を基にして、まとまりのある内容について「書くこと」の活動が設定されている。 ・文字の音を「聞くこと」、また文字を「読むこと」「書くこと」の活動が全てのページにある。
B 思考力・判断力・表現力等	・自己紹介や小学校の思い出を紹介する際に「巻末コミュニケーションカード」のプロフィールカードやアルバムシートがあり、言語活動の場面設定がより明確になっている。また、それらを成果物として残すことができる。 ・社会科や理科、家庭科など他教科と関連させた具体的な課題（食物連鎖、オリジナルカレーメモ等）を扱う課題解決的な学習が設定されている。 ・児童の日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分のことや自分の考えを表現する活動が毎時間設定されている。
C 学びに向かう力・人間性等	・５、６年生の２年間を通して学んだ結果、何ができるようになるのかを教科書紙面のイラストと二次元コードの学び方動画を使って明示している。 ・段階的に学習が取り入れられている。（出会う→慣れる→楽しむ→広げる→たしかめる　の構成） ・国際理解のページが、必ず見開き１ページであり、様々な国についてテーマごとに紹介されている。 例：５年生において、日本に住んでいる外国の人について紹介があり、より外国の人を身近に感じられる。 ・単元の内容とリンクしたテーマでスモールトークを継続し、それをもとにした発表へと段階的に発展している。 例：自己紹介の単元において、好きなスポーツ、色や果物などについてのスモールトークが設定され、それをもとに自己紹介を発表する活動につながっている。

種目名　英　語	発行者名	開隆堂出版株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・「聞くこと」「話すこと［やり取り］」について、ゲームの要素がある活動が設定されている。 ・６年生では、単元の終末にまとまりのある内容を「書くこと」の活動がある。また、それをもとに「話すこと［発表］」につながる活動がある。 ・巻末に、文字の音を「聞くこと」や文字を「読むこと」「書くこと」の活動がまとめられている。
B 思考力・判断力・表現力等	・一問一文で返答するのではなく、ある程度やり取りを継続させることで、自然な会話になるような場面設定がされている。 ・単元の終末にあるLet's Tryでは、自己紹介、誕生日インタビュー、時間割クイズ、宝探し、ヒーローの発表など自分のことや自分の考えを表現する様々な場面が設定されている。 ・具体的な課題設定の中に、既習事項（過去形など）を使って学習ができるような場面設定がされている。
C 学びに向かう力・人間性等	・目次に他教科との関連が示されていたり、該当する活動に他教科との関連マークが記されていたりする。 ・いくつかの単元を１つのProjectとしてまとめている学習が５、６年生で年間各２回ある。 例：６年生では、「１日の紹介、行きたい国の紹介、日本の紹介、夏休みの思い出」に関する学習を経て、「世界で活躍する自分を紹介しよう」という題材で習った表現を参考に、段階を踏んで自己紹介をするプロジェクトがある。 ・５年生では話題を日本中心にし、６年生では世界に範囲を広げ、伝統や文化を知る構成となっている。伝統や文化を知ることで、異文化理解、自国の伝統・文化への理解を深め他国を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養うことができる。 ・児童が興味を持ちそうな題材（オリンピック、世界のお金など）を取り上げ、教材としている。

種目名　英　語	発行者名	学校図書株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・「聞くこと」から、「話すこと［やり取り］」、「読むこと」「書くこと」へステップをふんだ活動の流れが全てのページにある。 ・「聞くこと」について、聞いたことをリピートする指示がある。 ・単元の終わりにお話しを「読むこと」の活動がある。 ・まとまりのある内容を「話すこと［発表］」の活動があり、それを基に「書くこと」の活動につながっている。 ・全ての単元の終わりに、文字の音を「聞くこと」、文字を「読むこと」「書くこと」の活動がある。
B 思考力・判断力・表現力等	・５年生では、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や表現を用いて自分のことを伝える場面設定がある。６年生では、例文をもとに自分のことを伝える場面設定がされており、それを基に、伝えた内容を簡単な英文で書いて表現する構成になっている。 ・それぞれの活動に詳細な場面設定がされている。 ・Project Timeでは、住んでいる地域のよいところや小学校の思い出を発表するといった具体的な課題が設定されている。
C 学びに向かう力・人間性等	・いくつかの単元を１つのProject Timeとしてまとめている学習が５・６年生で年間各２回ある。 例：６年生では、「自己紹介、好きな食べ物、日本の祭り、夏休みの思い出、自分の町や地域の紹介、道案内」などで習得した表現を用いて「地域のよさを伝え合う」活動が段階を踏んで設定されている。 ・他教科等と関連する学習が単元ごとにある。 例：社会科で学習する世界の国々を扱った内容を聞く活動　など

種目名　英　語	発行者名	株式会社三省堂

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・「聞くこと」であるチャンツがすべての単元において２種類設定されている。チャンツを通して、音を「聞くこと」から文字を「読むこと」「書くこと」へつながる工夫がある。 ・「聞くこと」の活動が多く、情報を聞き取り絵を選ぶ活動から、話の概要をつかむ活動へと発展している。 ・「聞くこと」から「話すこと［やり取り］」へ、「書くこと」から「話すこと［やり取り］」「話すこと［発表］」へつながりのある活動が単元ごとに設定されている。 ・「読むこと」について、推測して読む活動が単元ごとに設定されている。
B 思考力・判断力・表現力等	・具体的な場面設定の中で、例を参考にして自己表現ができる。 ・単元ごとに、身近で簡単な事柄について自分の考えや気持ちなどをやり取りする場面設定がされている。 ・２つか３つの単元が終わるごとに、具体的な課題が設定された言語活動がある。JUMP1では、一人ひとりが自分のことをクラスの友だちに発表し、さらにJUMP2では、相手意識をもってグループで協力して発表する設定がある。発表の際には、あいづちやリアクション、質問等目の前にいる相手の反応を確かめたり反応を感じたりしながら伝え合いができるように設定されている。
C 学びに向かう力・人間性等	・単元の最初にマイゴールを設定することで、その単元で身につけるべき内容を明確にすることができる。また、身につけたい力に向け、学習を進めていくことができる。 ・Hop Step Jumpの3構成となっており、スモールステップを踏んでいる。 ・他教科と関連する学習が、設定されている。 社会…世界の時差、都道府県の特色 国語…外来語と英語の違い、ローマ字、語順 総合…キャリア教育

種目名　英　語	発行者名	教育出版株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・「聞くこと」について、当てはまる絵を選ぶ問題が多いが、学習が進むにつれて、概要をとらえる問題に発展している。 ・「書くこと」から「話すこと［やり取り］」や「話すこと［発表］」につながる活動が単元の終末に設定されている。 ・単元の終わりに、文字の音を「聞くこと」、文字を「読むこと」「書くこと」についての活動がある。
B 思考力・判断力・表現力等	・夢の時間割、オリジナルメニュー、旅行案内など具体的な課題を設定されており、自分の思いや考えを整理し、それらを表現する活動がある。 ・児童の日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを整理した上で友だちとやり取りできる設定がされている。やり取りのための基本的な表現が吹き出しで記載されており、それを参考に自然な会話ができるような場面設定がされている。 ・Read&Writeでは、児童の身近な場面について、イラストや写真とともにまとまりのある文章で表現する設定がある。６年生では、単元ごとにそのような設定がされている。 ・巻末にワークシートがついており、できることの紹介や旅行案内の際、言語活動の場面設定がより明確になる。
C 学びに向かう力・人間性等	・単元の導入段階で視覚教材が用いられているので興味関心を高められる。 ・５年生の後半になるにつれて、活動が増えていき、児童の学習の状況に合わせた構成となっている。 ・Final ActivityとRead&Writeが見開きになっており、段階を踏んだ言語活動がしやすい。 ・児童の興味関心を高めるとともに言語活動がしやすいよう、視覚支援となるシール教材が付録についている。 例：５年生レッスン７「オリジナルメニューをつくろう」では、友だちに好きなトッピングメニューを聞いてシールを貼り、注文されたメニューを完成させる活動がある。 ・学級づくりにつながる活動や他教科での学びが生かせる活動が設定されている。 例：５年生のレッスン５では、道徳科の学習と関連して「できることの木」の活動の中で、自尊感情を高めたり、他者理解につなげたりすることができる。

種目名　英　語	発行者名	光村図書出版株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・見開きのページに、「聞くこと」「話すこと［やり取り］」「書くこと」の活動が順に設定されている。 ・「聞くこと」について、まとまりのある内容を聞く活動が単元の中に複数ある。 ・単元の終わりに文字の音を「聞くこと」、文字を「読むこと」「書くこと」の活動と歌が掲載されている。
B 思考力・判断力・表現力等	・時間割や休日の過ごし方、行きたい国、夏休みの思い出、将来の夢など児童の日常生活に関する身近で簡単な事柄についての場面設定がされている。また、具体的な課題が設定された言語活動として、オリジナル時間割作りなどがある。 ・Let's tryでは、自分と共通点がある友だちを見つけたり、収集した情報を整理したりするなどの目的を持たせた場面設定がされている。 ・Let's listen and readにある表現をモデルとして、You can do it!!の活動で自分に関することについて表現する場面設定がされている。
C 学びに向かう力・人間性等	・同じ年の海外の子どもたちに関する映像視聴を通して、外国の文化や生活について理解できる。 ・ワールドツアーにおいて、日本と他国を比べて共通点や違う点について話し合い、自分の価値観や考え方を広げる活動が設定されている。 ・段階を踏んだ学習を設定し(Hop Step1 Step2 Jump)、コミュニケーション活動を繰り返しながら、自己表現ができることをゴールとした構成になっている。 ・他教科等と関連する学習が設定されている。 国語…英語になった日本語、お話づくり 理科…食物連鎖 社会、図画工作…地図作り　等

種目名　英　語	発行者名	株式会社新興出版社啓林館

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・「聞くこと」について、ジングルやチャンツが単元の中に複数設定されている。 ・「聞くこと」について、具体的な情報を聞きとったり、話の概要を捉えたりする活動が多く設定されている。 ・「話すこと［やりとり］」「話すこと［発表］」から「書くこと」につながる活動が設定されている。 ・Reviewの中にある「読むこと」について、ポスターやグラフから情報を読み取る活動が設定されている。 ・単元の終わりに、文字の音を「聞くこと」、文字を「読むこと」「書くこと」についての活動がある。
B 思考力・判断力・表現力等	・道案内や日課、夏休みの思い出、将来の夢など児童の日常生活に関する身近で簡単な事柄についての場面設定がされている。 ・例を参考に、自分のことについて、まとまりのある内容を表現する設定がされている。 ・時間や状況など条件が設定され、それに合わせて適切な表現をするような言語活動がある。
C 学びに向かう力・人間性等	・各単元の終わりに異文化理解のページがある。 ・前半に理解がしやすい聞く活動(線つなぎや○×クイズなど)を行ってから、チャンツややり取りの活動を経て、書く活動につなげている。また、それらの積み重ねを活かして、自分のことについて発表することを最終ゴールとしている。 ・他教科と関連する学習が設定されている。 国語…日本語との語順やアクセントの違い。6年生のstoryでは国語科の学習の物語文を取り上げている。 算数…表やグラフの読み取りや作成 理科…おもしろい生物、植物などの写真を取り上げる。他国での温度の表示を紹介する。 社会…都道府県の特色、外国の祭り、習慣 道徳…異文化理解や自国の文化、他者理解 総合…防災教育(海外のピクトグラム)・キャリア教育 その他…今日的な課題の取り扱い(オリンピック・パラリンピックなど)

道　　徳

東　京　書　籍

学　校　図　書

教　育　出　版

光　村　図　書

日　本　文　教

光　文　書　院

学研教育みらい

廣あかつき

観点の内容

道徳科　目標

第１章総則の第１の２の（２）に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

観　点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A　知識及び技能	・道徳的価値の理解に関わる学習活動の設定 ・現代的な課題に関する内容等多様な教材の取扱	・道徳的価値が人間らしさを表すものであることに気付き、価値理解と同様に人間理解や他者理解を深めていくよう留意する。 ・生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題などを題材とし、児童が問題意識をもって学ぶことができるように留意する。
B　思考力・判断力・表現力等	・物事を多面的・多角的に考えるための教材や学習活動 ・多様な考え方を生かすための言語活動の設定	・物事を一面的に捉えるのではなく、児童自らが道徳的価値の理解を基に考え、様々な視点から物事を理解し、主体的に学習に取り組むことができよう留意する。 ・児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動を充実させることに留意する。
C　学びに向かう力・人間性等	・自らを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする学習活動の設定 ・各教科等と関連をもたせた指導、日常生活における実践との関連に関する内容	・児童が自ら道徳性を養う中で、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう留意する。 ・各教科等と道徳科の指導のねらいが同じ方向であるとき、学習の時期を考慮したり、相互に関連を図ったりして指導を進めると、指導の効果を一層高めることができる。その際、各教科等と道徳科それぞれの特質が生かされた関連となるよう留意する。

調査方法

種目名【　道徳　】

観点	調査した内容・項目についての説明
A 知識及び技能	・読み物教材以外の、道徳的価値の理解を深める教材の数について調査を行った。 例）コラム、先人の名言等を取り上げている箇所 ・生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応（情報モラル）等の現代的な課題等に関する内容等について調査を行った。
B 思考力・判断力・表現力等	・物事を多面的・多角的に考えるための学習活動に資する教材の数について調査を行った。 例）友達のいいところ見つけ等、多様な考え方が生まれる活動の設定 ・多様な考え方を生かすための言語活動について、書き込み部分の数や話合い活動を具体的に設定した数について調査を行った。
C 学びに向かう力・人間性等	・自らを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする学習活動が設定されている教材の数について調査を行った。 ・道徳科と各教科等との関連を持たせた指導、日常生活における実践につなげることができるような設定がなされている教材の数について調査を行った。

調査結果　道徳

発行社	研究調査事項	観点A 知識及び技能		観点B 思考力・判断力・表現力等		観点C 学びに向かう力や人間性等	
		道徳的価値の理解に関わる学習活動の設定	現代的な課題に関する内容等多様な教材の取扱	物事を多面的・多角的に考えるための教材や学習活動	多様な考え方を生かすための言語活動の設定	自らを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする学習活動の設定	各教科等と関連をもたせた指導、日常生活における実践との関連に関する内容
東京書籍	1年生		○	○		○	
	2年生	○				○	○
	3年生	○				○	○
	4年生	○				○	○
	5年生			○		○	○
	6年生		○			○	○
学校図書	1年生	○			○	○	
	2年生	○			○	○	
	3年生	○			○	○	
	4年生	○			○	○	
	5年生	○	○		○		
	6年生	○			○		○
教育出版	1年生		○	○		○	
	2年生		○	○		○	
	3年生		○	○		○	
	4年生		○	○		○	
	5年生		○	○		○	
	6年生		○	○		○	
光村図書	1年生		○	○		○	
	2年生		○	○		○	
	3年生		○	○		○	
	4年生		○	○		○	
	5年生			○		○	○
	6年生		○	○		○	
日本文教	1年生		○	○	○		
	2年生			○	○		○
	3年生	○		○	○		
	4年生			○	○	○	
	5年生			○	○		○
	6年生			○	○		○
光文書院	1年生	○	○				○
	2年生	○	○				○
	3年生	○	○				○
	4年生		○			○	○
	5年生	○	○				○
	6年生		○			○	○
学研教育	1年生	○	○	○			
	2年生	○		○		○	
	3年生	○	○	○			
	4年生	○	○	○			
	5年生	○	○	○			
	6年生	○	○	○			
廣あかつき	1年生	○			○		○
	2年生	○			○		○
	3年生	○	○		○		
	4年生	○			○		○
	5年生	○			○	○	
	6年生	○		○	○		

種目名　道　徳	発行者名	東京書籍株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・従来からおなじみの教材と、現在活躍している著名人を題材にした教材等が組み込まれ、児童が教材を身近に感じ、共感できることを重視した内容になっている。情報モラル、安全・防災、スポーツ、キャリア教育などの現代的な課題を扱った教材では、特に児童の身近な問題や課題から自分事として考えていけるように内容が工夫されている。 ・いじめに関した教材は、全学年、「とびらのページ」「直接的教材」「間接的教材」の三要素からなるユニットが組まれており、いじめは許されないということの確認から、いじめをしない許さない心をさまざまな道徳的価値の理解によって下支えできるように構成されている。 ・巻末の付録は、写真や名言、歌の歌詞などが多数掲載されており、学習内容を深めるために有効なページとなっている。
B 思考力・判断力・表現力等	・「出会う ふれ合う」では、すべての学年において、いいところ見つけの活動や体験的な活動の例が記されている。挿絵やワークシートの例とともに活動の仕方がステップ別に示されていて、視覚的にわかりやすい。 ・「考えよう」では、学習の手引きとして話し合いのポイントが文章で簡潔に記されているところがあり、多様な考えを生かす言語活動を設定するための参考とすることができる。 ・「考えるステップ」では、話合いの手順が詳しく記されているところがあり、考え・議論する学習活動の具体例としてわかりやすい。
C 学びに向かう力・人間性等	・教科書の巻末に「学習の記録・学習の振り返り・学習のまとめ」のページが設けられており、毎時間の振り返り、学期ごとのまとめ等ができるようになっている。児童自らが成長を実感できることや、記述内容から成長を見取ることができる。また、次の学年への希望やこれからの課題が書けるようになっている。 ・１・２年生は、教材の冒頭に「はじめに」が記載されており、道徳的価値に関わってこれまでの自分を振り返る発問がされている。３年生以上は、教材の最後に「考えよう」が記載されており、振り返りやこれからの自分について考えるような発問がされている。 ・３年生以上の学年に「つながる・広がる」のコーナーが設定してあり、道徳で学習したことを他の学習とつなげたり、日常生活に広げたりすることができるようになっている。

種目名　道徳	発行者名	学校図書株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・「まなび」にコラムや先人の名言が多数掲載されており、併せて使うことで、学んだ内容を深め、広げて考えられる。 ・児童が親しみやすいスポーツ選手の生き方や、普段利用しているスマートフォンの使い方などを題材にした教材など、現代的な課題を身近な問題としてとらえられるように工夫されている。いじめをなくすことや、周りの人との関係について、繰り返し、様々な側面から考え学ぶことができるように「ともにいきる」マークで示した教材を計画的に配列している。また、コラムにも「ともにいきる」ページを設け、併せて活用できるように工夫されている。 ・特に高学年において、社会参画や主権者教育、持続可能な社会の発展などの現代的な課題をテーマとする教材が多く配列されており、社会の一員として様々な問題を解決しながら、よりよく生きる力を育てることが重要視されている。
B 思考力・判断力・表現力等	・「まなび」には、毎時間同じ形式で学習の記録を残すことができる。教材で学習した後に、自分の考えや友だちの考えを自由に書き込むスタイルは、何を書けばよいのかがどの子にもわかりやすい。 ・書き込み欄の大きさは、考えを簡潔にまとめて記録することができるサイズに工夫されている。 ・どの学年にも、役割演技が取り入れられている。演じて考え、話す活動の例が簡潔な言葉で記されている。
C 学びに向かう力・人間性等	・各学年「きづき」「まなび」の二冊で一つの教科書として設定されている。「まなび」の中で、振り返りや今後の課題について考える発問がされている。 ・「まなび」には、教材毎に「つなげていこう」が設定されており、自己評価ができるようになっている。また、同じ内容項目の学習の記録が同じページに書けるようになっており、学びを重ねる中で児童自身が成長を感じることができ、児童の変容を見取ることもできる。 ・「まなび」の冒頭の「まなびの道しるべ」のページには、学習をして振り返りを書く欄に家の人から言葉をもらう箇所があり、家庭との連携を図れるようになっている。

種目名　道　徳	発行者名	教育出版株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・「いじめ」「命」「情報モラル」に重点を置き、それらを児童の実態や発達段階に応じてスパイラルに配置することで、段階的に考えを深めていけるように構成されている。児童自身が本時で考える道徳的課題に気づき課題意識をもって学習に臨めるような「拡大導入」のページが、教材のはじめに適宜設けられている。 ・「いじめ問題」「生命尊重」「情報モラル」などをテーマとした現代的課題を幅広く取り入れると同時に、今までから実践研究が積み重ねられてきた定番と言われている教材も扱われている。食育、防災教育、法教育などの現代的な課題については、身近な事例をもとに考えられる工夫がなされている。 ・コラム自体がしっかりした読み物になっており、道徳的価値についての理解を促進するようなものとして、各学年に１つ～３つ配置されている。
B 思考力・判断力・表現力等	・役割演技を多く取り入れている。演じて考えたことを話したり、友達の演じる姿を見て感じたことを話したりする活動の展開例が詳しく記されていて、多様な意見が交流できるようにするための工夫がされている。 ・「つなげよう」の中には、いいところ見つけの活動や話し合い活動の例などが記されているところがある。 ・事前の学習や授業の導入時に活用できる書き込み欄が設定されているところがあり、問題意識を高めるための工夫がみられる。
C 学びに向かう力・人間性等	・教材の最初に、ねらいとする道徳的価値に関する経験を想起できる問いかけが設けられている箇所がある。 ・教材毎に学びの手引きが掲載されており、「深めよう」のコーナーでは、授業の終末段階で活用できる発問が設定されており、学習した道徳的価値について考えたことを振り返って書けるようになっている。また、「つなげよう」のコーナーが数か所設けられており、学習したことを実生活にどのようにつなげていくか考えることができるようになっている。 ・教科書の巻末に「学びの記録」を書き込む箇所が設定されており、学習の記録や一年間の振り返りができるようになっている。「家の人から一言」の欄があり、家庭との連携を図ることができる。

種目名　道　徳	発行者名	光村図書出版株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・現代的な課題については、「よびかけ」「教材」「コラム」としてユニットが組まれており、児童が課題をとらえやすいように構成されている。また、各ユニットに適した指導時期を考慮し教材が配置されている。現代的な課題については、世界とのつながりや多様な人々との共生、自然との深い関わりを持ちながら考えることに重点を置いた内容として工夫されている。 ・情報モラル教材は、発達段階に応じた課題に向き合えるよう、系統的に取り上げられている。学習する中で、情報モラルの根底にある、他者への共感、きまりの持つ意味について考えを深められるように配慮されている。 ・読み物教材のほかに印象的な詩教材、インパクトのある写真教材、言語活動を中心とした教材、読みの負担を軽減する漫画教材など、多種多様な教材を取り入れ、児童の学習意欲を引き出す工夫がされている。
B 思考力・判断力・表現力等	・どの学年にも、役割演技が取り入れられている。「演じて考えよう」では、役割演技を通して考えを深めるための学習活動例が具体的に詳しく記されている。 ・「考えよう・話し合おう」では、問題解決的な学習の道筋が示され、多面的・多角的な思考を促す工夫がみられる。また、書き込み欄を設定しているところもあり、話合いの仕方や意見の書き方の具体例が記されていて、多様な意見を引き出すための工夫がされている。
C 学びに向かう力・人間性等	・教材冒頭に、キャラクターによる児童への呼びかけの言葉が示してあり、「今までの生活を振り返って考えるような発問が多く、児童が学びに向き合えるようになっている。 ・教材末に「考えよう・話し合おう」が設けられており、学んだことをじっくり振り返ったり、自分自身の生活を掘り下げて振り返ったりできるようになっている。また、「つなげよう」では、他教科の学習内容との関連付けや、関連する図書の紹介などが示されている。 ・自己評価の記録を残す「学びの記録」が３か所に位置付けられており、教材毎に自分の言葉で書けるようになっている。

種目名　道　徳	発行者名	日本文教出版株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・教材名とは別に、主題と見出しを掲載し、課題意識をもって考えることができるよう配慮されている。また、各学年に６～８教材の直接的・間接的にいじめに関する教材を配置し、「人とのかかわり」を重点テーマの一つととらえ「いじめ防止ユニット」として２～３つの教材を関連付けて学べるように配置するなどの工夫がされている。 ・道徳的価値の理解につながる「心のベンチ」と題したコラムが各学年で５つ程度掲載されており、授業で学んだことを実際の生活や社会とつなげて考えたり、話し合ったりできるように工夫されている。 ・防災、安全、キャリア教育、情報モラルなどの現代的・社会的課題をテーマとした教材をバランスよく取り入れ、様々な問題や多様な人々との関わりの中で生きる上で大切なことについて学べるように配慮されている。
B 思考力・判断力・表現力等	・別冊道徳ノートがあり、書き込み欄が充実している。問いに対する考えを記す欄の他に自由なテーマで書き込めるスペースも設定されていて、学習活動に合わせた活用がしやすいよう工夫されている。教科書にも明確な意図をもって書き込み欄が設定されているところがあるなど、充実している。 ・役割演技を取り入れた学習の展開例、問題解決的な学習の展開例、いいところ見つけの活動の展開例などが絵や写真とともに示され、学習の手順もわかりやすい。 ・「心のベンチ」には、話し合い活動の進め方について、具体例が挿絵とともにわかりやすく示されている。特定の教材ではなく、様々な教材の話合いで使える方法として、参考にすることができる。
C 学びに向かう力・人間性等	・導入のための発問例が最初に掲載されており、その教材で学習する道徳的価値に関するこれまでの経験を振り返ることができるようになっている。 ・教材の終わりに「見つめよう・生かそう」のコーナーが設置されており、自分の今までの生活や体験を振り返って、その時の気持ちを見つめる発問が掲載されている。 ・別冊道徳ノートを活用し、毎時間の振り返りがしやすくなっている。巻末に保護者記入欄が設けられており、家庭と学校間の連携を図ることに役立つようになっている。

種目名　道　徳	発行者名	株式会社光文書院

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・現代的な課題を扱ったもののうち、「情報モラル」について、読み物教材とは別に各学年に特設コーナーのような形で見開き２ページで構成され、６年間で系統立てて学べるように工夫されている。 ・生命、法やきまり、持続可能な社会の発展に関する教材を目次で色分けしてひとまとめにし、当該学年で「特に考えたいこと」としてマークで表示するなど、重点的に学べるような工夫や配置がされている。 ・いじめを生まない心を育てる教材が、各学年６つ程度掲載されている。内容は直接的にいじめを扱うものだけでなく、相互理解や公正公平などの価値を扱う教材もあり、多方面からいじめを生まない心を育てようと構成されている。
B 思考力・判断力・表現力等	・話し合い活動の前に自分の考えを持つこと、友だちのよさを見つけることなど明確な意図のもとに書き込み欄が設けてある。 ・各教材文の前に問いかけがあり、問題意識をもって学習に臨むことができるよう工夫されている。 ・どの教材文にも学習の手引きが短い文章で記されている。これを手掛かりに、問題解決的な学習や体験的な活動を、指導者の意図で柔軟に設定することが可能である。
C 学びに向かう力・人間性等	・教材末に「まとめる」として、深く掘り下げて自分を見つめ直す発問がされている。教科書の巻末には、「学びの足あと」が設けてあり、１時間ごとに振り返りができる部分と、全体としてまとめられる部分が書けるようになっている。 ・教材末の「広げる」では、「家の人に、聞いてみましょう、話してみましょう、話し合いましょう」といった日常生活と関連をもたせる発問がされており、家庭との連携が配慮されている。３年生以上には、「調べてみよう」「探してみよう」「実行しよう」など具体的な課題が示されている。 ・どの学年にも「ことばのたからもの」のコーナーがあり、言葉から学ぶ教材が設定されている。

種目名　道　徳	発行者名	株式会社学研教育みらい

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・名言や教材を発展的に捉える内容の記事を取り上げたコラムなど、補助的な資料が多数掲載されており、読み物教材で学んだ内容と身近な生活や社会とのつながりをもたせようとする意図や工夫がみられる。 ・法教育や消費者教育、生命尊重、国際理解教育など、現代的な課題に関する教材を、特に中学年以上で多く取り入れ、これからの困難な時代を生き抜く力や人々と共生していく力を育てることを重視している。 ・情報モラルを扱う教材では、SNSの実際のやりとりの場面や利用状況のデータなどを取り入れ、子どもたちの生活の中で現実に起こり得る問題と向き合いながら考えることができる内容となっている。
B 思考力・判断力・表現力等	・役割演技等の道徳的行為に関する体験的な活動、問題解決的な学習など、学習の多様な展開の仕方がわかりやすく例示されている。 ・「つなげよう」「深めよう」「やってみよう」では、書き込み欄が設定されていたり、話合いの道筋がわかりやく示されたりしている。 ・話合いの仕方について、ペアやグループなど、学年の発達段階に合った例が示されている。
C 学びに向かう力・人間性等	・教材毎に設定された「考えよう」では、道徳的価値の視点で自分の生活を振り返ったり、これからの目標を考えたりする問いかけがあり、学びを生活につなげることができる手立てとなっている。 ・「つなげよう」のコーナーでは、今の自分にできることは何かと具体的に考えるなど、教材で学習したことをもとに、自己を見つめ、自分の生き方につなげて考えることができるようになっている。 ・全学年で、内容項目が異なる２つの教材を２時間続きで学習する設定がされており、多様な視点で感想をまとめることにより、自己の生き方について深く考えることができるようになっている。

種目名　道　徳	発行者名	廣済堂あかつき株式会社

観点	選　定　の　た　め　の　参　考
A 知識及び技能	・いじめ防止、人権尊重に関する教材を、発達段階に応じて配置している。低・中学年では、多様な実態を考慮し、「いじめ」そのものを扱っていないが、高学年では、直接「いじめ」を取り上げ、いじめの問題について深く考えられるようになっている。 ・先人の伝記や多様な分野で活躍する著名人、スポーツ選手等を扱った教材を多く取り入れている。夢をもつ生き方や困難を乗り越える力強い生き方などについて、人物を身近に感じながら、深く考えられるように工夫されている。 ・健康、福祉、社会の持続可能な発展など、現代的な課題に関する教材をバランスよく取り入れ、児童が身近な問題としてとらえ、考えることができるように構成されている。 ・格言や名言が随所に掲載されており、学習内容と関連付けて読むことで、価値をより深く考えられるようになっている。
B 思考力・判断力・表現力等	・別冊道徳ノートは、自由に書き込めるページと問いかけに対する書き込みができるページの両方があり、多様な考えを引き出すための工夫がみられる。 ・別冊道徳ノートは、道徳科の学習の記録や書き込み欄だけでなく、道徳と関連する活動の記録欄が設けられている。他教科の学習や生活と関連付けて考えが深められるよう工夫されている。 ・一つひとつの教材文の後に、考えたり話し合ったりするためのポイントが文章で記されている。学年が上がるほど、学習の道筋が詳しく示されている。
C 学びに向かう力・人間性等	・別冊道徳ノートの巻末には、時系列に沿って振り返りができる欄が設けられており、児童の成長実感を促すことができるようになっている。また、「話し合い活動の記録」や「心に残っている授業の記録」を記載できる箇所で、学びを振り返ることができる。 ・教材の最後に「考えよう・話し合おう」のコーナーが設置されており、その中の「学習を広げる」の箇所では、教材や内容項目と関連する本の紹介が多くされており、読書活動を通して「道徳的価値」への思考を深めることができるようになっている。

参　考　資　料

調査結果（数値）

国　　語

書　　写

社　　会

地図（社会）

算　　数

理　　科

生　　活

音　　楽

図画工作

家　　庭

保　　健

英　　語

道　　徳

調査結果　国語

発行社	研究調査事項	観点A 知識及び技能			観点B 思考力・判断力・表現力等			観点C 学びに向かう力・人間性等	
		伝統的な言語文化を取り上げている箇所数	言葉の特徴やきまり、使い方に関する内容を取り上げている箇所数	情報の扱い方に関する内容を取り上げている箇所数	話すこと・聞くことを学習課題として取り上げた学習過程の中に示したりしている箇所数	書くことを学習課題として取り上げたり、学習活動を学習過程の中に示したりしている箇所数	読むことの力を高めるための文章の種類や内容に明示的な文章、文学的文章、詩・短歌・俳句等の数	学習指導要領の言語活動に関わる内容の数	目的に応じた読書への誘いを内容とする学習課題の箇所数
東京書籍	1年生	1	33	19	11	9	16	21	14
	2年生	5	30	37	11	12	15	26	16
	3年生	5	24	34	10	14	15	20	18
	4年生	6	27	34	11	11	15	18	17
	5年生	5	24	28	7	14	17	18	18
	6年生	8	21	26	7	10	18	14	16
	合計	30	159	178	57	70	96	117	99
学校図書	1年生	0	30	22	15	11	13	25	11
	2年生	7	25	34	10	16	15	25	19
	3年生	6	23	32	12	18	10	29	15
	4年生	7	20	21	10	16	17	26	16
	5年生	8	21	18	9	14	19	23	14
	6年生	8	21	21	8	17	20	21	11
	合計	36	140	148	64	92	94	149	86
教育出版	1年生	2	34	17	10	10	17	24	13
	2年生	5	24	24	14	18	13	28	17
	3年生	4	23	32	10	17	12	27	15
	4年生	6	23	39	10	17	14	23	18
	5年生	9	21	40	8	15	18	24	17
	6年生	5	20	39	11	17	18	22	19
	合計	31	145	191	63	94	92	148	99
光村図書	1年生	3	33	8	11	8	17	33	15
	2年生	7	25	21	9	16	13	29	23
	3年生	8	24	39	9	15	15	19	22
	4年生	8	19	32	11	13	14	22	21
	5年生	8	19	33	9	14	16	21	17
	6年生	11	18	31	9	10	18	24	18
	合計	45	138	164	58	76	93	148	116

調査結果　書写

発行社 ＼ 研究調査事項		観点A 知識及び技能		観点B 思考力・判断力・表現力等		観点C 学びに向かう力・人間性等
		点画の種類や字形、筆順の例示掲載数	姿勢や持ち方など書き方についての注意例の数	手本となっている文字の数	手本に関わる例示の数	様々な用紙（ノート、造紙、手紙、半紙、画仙紙など）への縦書き、横書き模書き例や筆記具の紹介例の数
東京書籍	1年生	1440	42	383	60	10
	2年生	1243	32	665	59	12
	3年生	1341	28	1101	56	27
	4年生	1283	21	898	83	28
	5年生	905	21	926	70	28
	6年生	925	24	885	88	25
	合計	7137	168	4858	416	130
学校図書	1年生	1294	20	295	17	9
	2年生	2762	23	493	7	14
	3年生	2270	33	779	83	25
	4年生	2629	19	832	58	37
	5年生	2370	19	723	35	39
	6年生	2364	19	813	30	37
	合計	13689	133	3935	230	161
教育出版	1年生	1576	20	380	41	17
	2年生	1682	25	440	50	16
	3年生	1629	30	802	85	32
	4年生	1710	25	646	72	19
	5年生	1363	22	593	48	60
	6年生	1255	22	558	42	28
	合計	9215	144	3419	338	172
光村図書	1年生	1258	16	318	25	12
	2年生	1419	19	455	38	15
	3年生	1446	31	1036	75	15
	4年生	1411	25	893	66	19
	5年生	1580	26	1091	56	36
	6年生	1173	26	889	81	43
	合計	8287	143	4682	341	140
日本文教	1年生	1390	16	317	35	18
	2年生	1930	15	521	4	22
	3年生	2008	27	1059	86	16
	4年生	2382	27	1038	45	19
	5年生	1024	18	965	36	38
	6年生	1000	18	851	33	45
	合計	9734	121	4751	239	158

調査結果　社会

発行社	研究調査事項	観点A 知識及び技能		観点B 思考力・判断力・表現力等		観点C 学びに向かう力・人間性等	
		地域や我が国の伝統や文化、政治や国際関係に深い関心をもち、国土の様子や国土と産業の様子を総合的に理解させる教材・学習活動の箇所数	地図、年表、写真等を活用して、国土の様子や特色を比較させる教材・学習活動の箇所数	我が国の国土と産業の様子を総合的に理解させる教材・学習活動の箇所数	身近な地域及び国土の様子を比較させる教材・学習活動の箇所数	社会的事象について、主体的に学習に取り組む教材・学習活動の箇所数	自分たちの住んでいる社会を総合的に理解させる教材・学習活動の箇所数
東京書籍	3・4年上	47	50	38	20	64	17
	3・4年下	66	56	39	16	76	23
	5年生	104	81	92	20	130	14
	6年生	104	82	53	30	112	24
	合計	321	269	222	86	382	78
教育出版	3・4年上	47	22	37	30	68	37
	3・4年下	68	21	51	22	94	32
	5年生	73	59	87	24	105	11
	6年生	119	37	58	26	108	26
	合計	307	139	233	102	375	106
日本文教	3・4年上	35	56	45	25	57	11
	3・4年下	81	52	50	21	83	9
	5年生	77	60	90	24	121	15
	6年生	135	63	51	23	106	25
	合計	328	231	236	93	367	60

調査結果　地図

研究調査事項 ＼ 発行社		観点A 知識及び技能			観点B 思考力・判断力・表現力等		観点C 学びに向かう力・人間性等
		地図の活用方法を取り上げている箇所数・ページ数	見学調査の方法、学習の進め方やまとめ方を取り上げている箇所数・ページ数	発達段階に応じた内容を取り上げている箇所数・ページ数	基本図の数（世界地図、日本地図、世界州別図、日本地域別図）	資料図の数（社会的事象の様子や関係、自然環境との関わり、その他）	巻末の統計資料の項目数・ページ数
東京書籍	3年生	2	1	3	0	0	0
	4年生	1	3	4	0	11	0
	5年生	1	1	5	44	31	27
	6年生	0	0	3	0	31	0
	合計	4	5	15	44	73	27
帝国書院	3年生	5	1	5	0	0	0
	4年生	2	2	3	0	12	0
	5年生	2	0	10	60	33	33
	6年生	0	0	2	0	22	0
	合計	9	3	20	60	67	33

調査結果　算数

発行社	研究調査事項	観点A 知識及び技能		観点B 思考力・判断力・表現力等			観点C 学びに向かう力・人間性等	
		題の箇所数 ¬例・例題 ¬技能を身に付けて問題 ¬基礎的な知識・基本的な技能 ¬数量や図形の性質	学習の質と量	思考力・判断力・表現力 ¬例題を身に付けて問題 ¬思考力・判断力・表現力 ¬問題解決の過程	問題を解決する過程	自分の考えを表現する学習	表現・説明する学習	生活や学習の様々な場面で算数を活用する学習
東京書籍	1年生	489	18	74	158	56	8	20
	2年生	706	118	97	334	66	51	41
	3年生	823	149	392	478	113	71	37
	4年生	1023	160	506	461	103	70	28
	5年生	685	137	316	472	119	57	47
	6年生	682	90	566	357	58	106	33
	合計	4408	672	1951	2260	515	363	206
大日本図書	1年生	418	21	79	101	69	3	20
	2年生	743	68	102	145	94	10	21
	3年生	951	109	259	178	127	7	45
	4年生	1173	134	520	306	160	6	37
	5年生	709	111	523	364	161	21	48
	6年生	566	71	547	216	106	20	50
	合計	4560	514	2030	1310	717	67	221
学校図書	1年生	449	11	89	81	49	6	35
	2年生	705	69	173	191	65	5	38
	3年生	982	111	338	246	102	1	18
	4年生	853	128	434	282	123	9	17
	5年生	797	118	614	324	109	8	33
	6年生	670	70	609	268	73	5	17
	合計	4456	507	2257	1392	521	34	158
教育出版	1年生	368	15	63	75	41	5	45
	2年生	637	60	163	165	53	11	39
	3年生	912	84	474	422	81	14	27
	4年生	1048	106	377	392	69	18	19
	5年生	620	101	341	382	82	12	35
	6年生	776	54	371	249	59	14	9
	合計	4361	420	1789	1685	385	74	174
啓林館	1年生	686	12	104	89	29	7	28
	2年生	800	46	216	200	53	7	44
	3年生	1047	39	316	339	51	15	15
	4年生	905	67	361	380	60	11	12
	5年生	819	75	310	333	63	9	43
	6年生	615	51	508	249	38	9	13
	合計	4872	290	1815	1590	294	58	155
日本文教	1年生	469	17	92	127	70	8	43
	2年生	691	58	110	176	89	6	34
	3年生	975	72	206	179	113	4	17
	4年生	941	63	304	432	140	7	21
	5年生	698	78	366	341	122	12	30
	6年生	614	54	462	248	95	20	9
	合計	4388	342	1540	1503	629	57	154

調査結果　理科

発行社	研究調査事項	観点A 知識及び技能			観点B 思考力・判断力・表現力等		観点C 学びに向かう力・人間性等	
		問題解決の過程を通してわかったことや学習のまとめが明示されている箇所数	観察、実験において、器具や機器などの使い方に関する事故防止等の安全に関する記述の箇所数	観察、記録や実験結果を絵や文表、グラフで表す学習活動を具体的に例示した箇所数	仮説の発想や予想、見通しを立てる学習活動の中で、問題解決の過程を考えを交流することを通して、学習活動をのびのびと展開する箇所数	問題意識や疑問を取り入れている学習活動を取り入れている箇所数	植物の栽培や昆虫の飼育など、具体的な方法を示している箇所数	実生活や実社会と関連付けた科学的な見方や考え方を育てる箇所数
東京書籍	3年生	30	35	30	57	15	10	33
	4年生	32	57	27	72	30	3	39
	5年生	22	36	25	69	17	2	33
	6年生	36	59	14	77	22	1	48
	合計	120	187	96	275	84	16	153
大日本図書	3年生	25	39	24	72	36	4	52
	4年生	33	56	25	86	41	6	50
	5年生	21	39	19	70	24	2	46
	6年生	29	50	18	87	35	2	53
	合計	108	184	86	315	136	14	201
学校図書	3年生	28	34	26	63	20	5	39
	4年生	33	45	30	93	16	1	44
	5年生	26	44	19	70	22	3	42
	6年生	35	65	17	96	30	0	59
	合計	122	188	92	322	88	9	184
教育出版	3年生	34	26	29	69	7	8	46
	4年生	33	58	27	101	7	2	57
	5年生	27	34	26	81	3	5	76
	6年生	32	55	9	90	2	1	60
	合計	126	173	91	341	19	16	239
信州教育出版	3年生	8	22	45	10	0	7	51
	4年生	12	39	64	8	0	2	37
	5年生	10	18	48	6	1	2	38
	6年生	7	33	62	14	0	1	40
	合計	37	112	219	38	1	12	166
啓林館	3年生	40	45	35	34	2	7	29
	4年生	36	51	27	51	11	2	38
	5年生	36	50	26	51	8	4	36
	6年生	44	60	19	69	2	1	57
	合計	156	206	107	205	23	14	160

調査結果　生活

発行社 ＼ 研究調査事項		観点A 知識及び技能		観点B 思考力・判断力・表現力等		観点C 学びに向かう力や人間性等	
		生活科と各教科等との関連を意識し取り上げている箇所数	学習活動を通して、生活に必要な技能や習慣を指導している箇所数	分析的に考える活動（比べる、関連付ける、試す、見通す、工夫する）を通して、自分の考えを創造している箇所数	言葉、絵、動作、劇化、表現活動を通して、それぞれの具体的な例を示している箇所数	振り返る活動を通して、自分の成長を自覚している箇所数	児童が思いや願いを触れ合う対象として、育てたり探したりする児童の姿を例示している写真や図の数
東京書籍	上	34	45	27	31	124	23
	下	39	31	62	57	83	41
	合計	73	76	89	88	207	64
大日本図書	上	55	33	44	53	88	18
	下	64	44	21	61	68	37
	合計	119	77	65	114	156	55
学校図書	上	29	35	32	33	96	15
	下	45	39	55	48	67	24
	合計	74	74	87	81	163	39
教育出版	上	47	26	41	56	69	17
	下	39	27	40	47	48	28
	合計	86	53	81	103	117	45
信州教育出版	上	56	14	15	43	120	5
	下	53	13	24	26	74	4
	合計	109	27	39	69	194	9
光村図書	上	42	26	33	45	56	46
	下	34	37	42	48	51	53
	合計	76	63	75	93	107	99
啓林館	上	38	28	53	53	64	23
	下	54	29	41	69	33	32
	合計	92	57	94	122	97	55
日本文教	上	50	30	33	50	111	26
	下	43	52	32	57	93	37
	合計	93	82	65	107	204	63

調査結果　音楽

発行社	研究調査事項	観点A 知識及び技能		観点B 思考力・判断力・表現力等		観点C 学びに向かう力や人間性等	
		発達段階（低Ⅱリズム、中Ⅱ旋律、高Ⅱ音の重なりや和声）に適した学習活動が設定されている箇所数	表現の技能を高めるための記述の箇所数	楽譜の理解を高める工夫が見られる記述の箇所数	リズム、強弱、形式などの音楽を形づくっている要素の働きを感じ取らせる活動が見られる箇所数	いろいろな演奏形態による教材数	聴き取ったことや感じたことを様々な方法で伝えたり、意見交換したりする言語活動の充実にかかわる教材・学習活動が設定されている箇所数
教育出版	1年生	9	19	0	10	5	1
	2年生	4	17	3	13	6	5
	3年生	4	17	5	11	9	2
	4年生	9	10	12	13	14	5
	5年生	7	8	10	7	10	7
	6年生	6	6	5	8	11	4
	合計	39	77	35	62	55	24
教育芸術	1年生	10	18	0	11	5	1
	2年生	8	21	3	12	5	3
	3年生	7	15	12	9	10	1
	4年生	9	13	9	11	13	4
	5年生	9	8	9	6	10	3
	6年生	8	6	8	6	9	7
	合計	51	81	41	55	52	19

調査結果　図画工作

発行社	研究調査事項	観点A 知識及び技能		観点B 思考力・判断力・表現力等		観点C 学びに向かう力・人間性等	
		形や色、組み合わせ、色の明るさ、動き、奥行き、バランスなどを捉える箇所数	材料や用具の取扱い、技法を紹介した箇所数	表現の活動において、児童が創造的に発想や構想をしている箇所数	活動の活動が設定されている箇所数	感じたこと、考えたことなどを、話したり聞いたりする言語活動で整理するなどの言語活動が充実するなどの関わる学習活動が設定されている箇所数	生活や社会の中の形や色などに関する箇所数
開隆堂	1・2年生　上	16	19	12	7	24	12
	1・2年生　下	19	26	17	5	25	12
	3・4年生　上	16	17	18	4	20	36
	3・4年生　下	18	35	18	8	20	13
	5・6年生　上	17	20	17	9	18	33
	5・6年生　下	16	20	15	6	18	36
	合計	102	137	97	39	125	142
日本文教	1・2年生　上	17	21	21	8	25	5
	1・2年生　下	19	19	19	10	24	12
	3・4年生　上	21	22	22	8	24	14
	3・4年生　下	20	26	21	8	24	30
	5・6年生　上	20	16	19	7	22	36
	5・6年生　下	22	13	18	5	21	47
	合計	119	117	120	46	140	144

調査結果　家庭

発行社 ＼ 研究調査事項		観点A 知識及び技能		観点B 思考力・判断力・表現力等		観点C 学びに向かう力・人間性等	
		衣食住の生活についての基礎的・基本的な理解に関わる学習活動の設定	調理や製作などの技能に関する内容を取り上げている箇所数	日常生活で活用するための教材や学習活動の設定	問題解決的な学習の一連の学習過程を取り上げている箇所数	幼児や高齢者など異なる世代の人々との関わりについて考え、生活をよりよくしようと工夫する学習活動の設定	各教科と関連を持たせた徳指導に関する内容や、道徳の導入が設定されている教材数
東京書籍		72	100	80	128	37	58
	合計	72	100	80	128	37	58
開隆堂		74	106	85	102	26	56
	合計	74	106	85	102	26	56

調査結果　保健

発行社	研究調査事項	観点A 知識及び技能		観点B 思考力・判断力・表現力等		観点C 学びに向かう力・人間性等	
		「心の健康」について技能を取り扱っている箇所数	「防止及び発育・発達に関する内容を取り扱っている箇所数	「生活習慣病の予防」を課題として取り扱っている箇所数	「運動領域」における学習活動を通して、健康に関する資料を用いて、思考や判断を促している箇所数	「身近な生活に関する題材や事例を用いて、健康や安全に関する決定や意思決定をしている箇所数	「実践的な学習活動を通して、自己の健康に関する課題を解決するための方法を考えている箇所数
東京書籍	3年生	2	4	12	9	12	5
	4年生	0	5	12	5	10	13
	5年生	15	2	29	11	24	17
	6年生	3	9	26	12	14	8
	合計	20	20	79	37	60	43
大日本図書	3年生	3	4	6	10	10	6
	4年生	1	1	4	12	11	8
	5年生	12	2	16	19	16	7
	6年生	2	5	10	16	17	12
	合計	18	12	36	57	54	33
文教社	3年生	1	5	7	2	9	5
	4年生	1	3	8	7	7	12
	5年生	14	2	18	3	16	14
	6年生	1	6	16	15	14	17
	合計	17	16	49	27	46	48
光文書院	3年生	2	4	13	5	8	8
	4年生	2	3	12	18	10	13
	5年生	17	3	26	15	20	20
	6年生	8	6	15	26	19	21
	合計	29	16	66	64	57	62
学研教育	3年生	4	4	13	5	10	8
	4年生	4	2	16	10	12	10
	5年生	12	2	24	8	10	8
	6年生	4	5	24	28	12	10
	合計	24	13	77	51	44	36

調査結果　英語

研究調査事項 ＼ 発行社		観点A 知識及び技能		観点B 思考力・判断力・表現力等		観点C 学びに向かう力・人間性等	
		「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の活動の箇所数	十分に音声に慣れ親しませた上で「読むこと」「書くこと」に慣れ親しむ活動の箇所数	具体的な課題が設定された言語活動の箇所数	言語の使用場面が設定された言語活動の箇所数	主体的に取り組むことができるような言語活動の設定がされた箇所数	様々な言語そのものへの理解や言語の背景にある文化についての題材が設定された箇所数
東京書籍	5年生	181	51	5	22	21	8
	6年生	143	88	3	46	11	8
	合計	324	139	8	68	32	16
開隆堂	5年生	155	55	0	27	40	22
	6年生	167	35	4	27	34	22
	合計	322	90	4	54	74	44
学校図書	5年生	210	101	0	10	50	16
	6年生	171	114	2	26	46	13
	合計	381	215	2	36	96	29
三省堂	5年生	135	24	6	22	19	5
	6年生	132	25	11	22	15	4
	合計	267	49	17	44	34	9
教育出版	5年生	128	41	6	20	21	7
	6年生	106	40	3	25	24	8
	合計	234	81	9	45	45	15
光村図書	5年生	152	47	2	26	34	13
	6年生	151	51	1	30	33	15
	合計	303	98	3	56	65	28
啓林館	5年生	138	20	1	23	17	8
	6年生	131	48	0	27	13	10
	合計	269	68	1	50	30	18

調査結果　道徳

発行社	研究調査事項	観点A 知識及び技能		観点B 思考力・判断力・表現力等		観点C 学びに向かう力・人間性等	
		道徳的価値の理解に関わる学習活動の設定	現代的な課題に関する内容等多様な教材の取扱	物事を多面的・多角的に考えるための教材や学習活動	多様な考え方を生かす言語活動の設定	自己を振り返り、成長を感じられる課題や学習活動の設定	各教科等と関連を図った指導、日常生活における実践との関連にも関する内容
東京書籍	1年生	2	12	2	2	32	5
	2年生	4	11	2	2	30	5
	3年生	7	18	3	2	37	11
	4年生	9	22	5	3	31	15
	5年生	12	34	8	0	35	21
	6年生	11	30	4	0	30	18
	合計	45	127	24	9	195	75
学校図書	1年生	7	19	2	34	34	10
	2年生	7	20	2	35	33	6
	3年生	9	20	1	35	29	7
	4年生	9	24	2	35	30	8
	5年生	13	31	1	35	19	11
	6年生	19	29	1	35	24	21
	合計	64	143	9	209	169	63
教育出版	1年生	2	17	4	5	15	3
	2年生	3	21	9	3	19	2
	3年生	0	22	12	3	17	5
	4年生	2	25	11	3	15	2
	5年生	1	28	5	3	17	4
	6年生	2	24	5	3	14	8
	合計	10	137	46	20	97	24
光村図書	1年生	2	16	5	4	27	5
	2年生	5	23	7	2	34	7
	3年生	7	27	10	6	31	6
	4年生	9	28	8	3	27	10
	5年生	11	30	7	3	33	16
	6年生	12	28	7	4	30	11
	合計	46	152	44	22	182	55
日本文教	1年生	3	21	7	38	26	9
	2年生	3	22	7	40	32	13
	3年生	7	24	6	40	27	11
	4年生	7	29	6	40	28	8
	5年生	6	32	5	39	28	16
	6年生	7	35	7	39	20	15
	合計	33	163	38	236	161	72
光文書院	1年生	7	21	3	5	24	22
	2年生	4	25	2	7	27	18
	3年生	6	25	1	2	15	16
	4年生	5	25	1	4	18	19
	5年生	12	29	1	3	25	21
	6年生	10	29	0	1	25	18
	合計	44	154	8	22	134	114
学研教育	1年生	10	15	8	11	16	7
	2年生	6	15	4	9	24	6
	3年生	6	22	5	9	16	8
	4年生	9	23	3	9	11	3
	5年生	13	22	6	7	17	3
	6年生	13	28	6	8	18	7
	合計	57	125	32	53	102	34
廣あかつき	1年生	3	13	1	29	17	8
	2年生	5	14	1	28	14	10
	3年生	5	22	3	33	8	7
	4年生	17	19	1	31	22	12
	5年生	18	28	2	38	32	10
	6年生	25	31	1	38	24	8
	合計	73	127	9	197	117	55

資料２

小学校特別支援学級教科用図書選定に必要な資料

（２０１９年度作成）

ー小学校特別支援学級ー

〇知的障害のある児童の場合

教科書の調査研究における観点について・・・・・・・　１

教科用図書調査研究観点（著作教科書・一般図書）・・　５

小学校特別支援学級（知的障害）学年別使用のめやす・・　８

国　　語・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９

書　　写・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５

社　　会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６

地　　図（社会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２０

算　　数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１

理　　科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６

生　　活・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３１

音　　楽・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３２

図画工作・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３５

家　　庭・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４０

保　　健・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４３

英　　語・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４７

道　　徳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５０

〇知的障害をともなわない児童の場合・・・・・・・・・・　５２

滋賀県教育委員会

教科書の調査研究における観点について

特別支援学級（知的障害）

本県では、第３期教育振興基本計画（2019 年度～2023 年度）を新たに策定し、基本目標である、「未来を拓く心豊かでたくましい人づくり」を受け、滋賀に生きる子どもたちの確かな学力を育むため、新学習指導要領の求める教育の理念に基づき、一人ひとりの基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、文章や対話などから「読み解く力」を社会で生きていくために必要な力と位置付け、身に付けた知識・技能を活用して解決する力を育む教育の推進を図るところである。

特別支援教育においては、障害のある児童生徒一人ひとりが、障害による学習上または生活上の困難を改善・克服し、自立と社会参加のために必要な知識、技能、態度や表現力、習慣を養うことを目的として、それぞれの障害の種別や程度に応じた指導を行う必要がある。また同時に、児童生徒一人ひとりの「学ぶ力」を向上させていくことが大切である。

このため、障害のある児童生徒が使用する教科書の調査研究にあたり、学習指導要領の各教科・分野の「目標」を踏まえ、基礎的・基本的な知識・技能の習得とその活用に特に留意し調査研究をするものとする。

また、児童生徒が二つ以上の障害を併せ有する場合に加えて留意すべき項目として、それぞれの障害種に応じた基礎的な視点を加味しながら調査研究する。

■「自立と社会参加のために必要な知識、技能、態度、習慣の育成」にかかる調査研究の観点

Ａ　日常生活や社会生活に必要な知識、技能や習慣が身に付くよう基礎的・基本的な事項が取り上げられているか

Ｂ　社会生活や職業生活の基礎的な力を身に付けるための言語活動の充実に向けた内容となるよう工夫されているか

Ｃ　児童生徒の自主的・自発的な学習に結び付くよう工夫されているか

Ｄ　家庭や地域と結びついた学習となるよう工夫されているか

Ｅ　作業的・体験的な活動が十分にできるよう内容が工夫されているか

◇ **観点Ａ：**

日常生活や社会生活に必要な知識、技能や習慣が身に付くよう基礎的・基本的な事項が取り上げられているか

自立と社会参加をめざし、日常生活や社会生活に必要な技能や習慣が身に付くよう指導するとともに、あいさつや礼儀作法、また時間を守ることや決まりを守ることなどの日常生活や社会生活に密接に関係した指導は大変重要である。

こうしたことから、日常生活や社会生活に必要な知識、技能や習慣が身に付くよう、できるだけ基礎的・基本的な事項や事柄が取り上げられている必要がある。

◇ **観点Ｂ：**

社会生活や職業生活の基礎的な力を身に付けるための言語活動の充実に向けた内容となるよう工夫されているか

知識・技能の習得や、これらを活用して課題を解決するために思考し、判断し、表現することは言語を中心として行われていることから、言語能力を高めることは、感性や情緒を育て、他者とのコミュニケーション能力や社会性や豊かな心を育むことにつながっていく。

こうしたことから、社会生活や職業生活の基礎的な力を身に付けるためにはその基盤となる言語活動の充実が必要であり、そのための取組や指導に十分な配慮がなされている必要がある。

◇ **観点Ｃ：**

児童生徒の自主的・自発的な学習に結び付くよう工夫されているか

障害のある児童生徒、とりわけ知的障害のある児童生徒の場合、成功経験が少なく主体的に活動に取り組む意欲が十分に育っていないことがある。このため、日常生活と密接に関連した題材を使用することで生徒に興味・関心を持たせ、また学習の内容が日常生活や将来の自分にどのように生かされ、つながっていくかを理解させることで、児童生徒の自主的・自発的な学びへとつなげていくことが大切である。

こうしたことから、児童生徒にとって日常的でわかりやすく、また取り組みやすい題材により、意欲や関心、自ら学ぶ態度や姿勢を育てる内容となるよう工夫されている必要がある。

◇ **観点Ｄ：**

家庭や地域と結び付いた学習となるよう工夫されているか

知的障害のある児童生徒は、その障害の特性から学習によって得た知識や技能が断片的になりやすく、家庭や地域など実際の生活の場で応用されにくいことが多い。このため、学校と家庭や地域との連携による授業づくりや主体的な学びの充実により、児童生徒の持つ力が家庭や地域の中で発揮できるよう指導を工夫することが大切である。

こうしたことから、できるかぎり家庭での学習や地域とのつながりを取り上げるなどして、家庭や地域と結び付いた学習となるよう工夫されている必要がある。

◇ **観点Ｅ：**

作業的・体験的な活動が十分にできるよう内容が工夫されているか

自立と社会参加に向けては、作業や体験の積み重ねにより児童生徒に自信をつけさせていくことが重要である。このため、体育的な活動や文化芸術活動を含めたすべての教科において、児童生徒が自ら課題を設定して、解決に向けて見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動を行うことで、児童生徒が知的好奇心や探究心を育て、主体的に学習に取り組む態度を養えるよう取り組むことが大切である。

こうしたことから、作業的・体験的な活動が十分にできる内容が工夫されている必要がある。

■　児童生徒が二つ以上の障害を併せ有する場合に留意すべき事項について

以下に示す点を加味して調査研究を行う。

◇　「視覚障害」

視力や視機能障害の状態、また拡大鏡等の使用による認識の程度にあっているか。

・行間が広く、文字が大きいか。

・色彩が鮮明であるか。

・絵が大きく、簡略であるか。

◇　「聴覚障害」

視覚によって得られた内容が、言語発達を促すことにつながる内容であるか。

◇　「肢体不自由および病・虚弱」

・肢体不自由の児童生徒にとって取り扱いやすく、かつ安全で破損しにくい体裁（紙質、判型、装丁）であるか。

・肢体不自由児に多く見られる、不随意運動や眼球振とう、また視野狭窄等の視知覚障害のある児童生徒に対して、「視覚障害」と同様に配慮されているか。

小学校特別支援学級教科用図書調査研究観点（文部科学省著作教科書・一般図書）
（知的障害のある児童の場合）

「教科書の調査研究における観点」のＡ～Ｅの各項目を踏まえたうえで、以下の各教科の具体的観点により調査研究すること。

<table>
<tr><td>各教科・種目に共通する具体的観点</td><td colspan="2">①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">各教科・種目毎の具体的観点</td><td>国　語</td><td>④　日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。
⑤　児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。
⑥　児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。</td></tr>
<tr><td>書　写</td><td>④　丁寧に書くことへの関心や意欲を育てる内容となっているか。
⑤　筆記具や用紙の特質を生かした、児童の学習意欲を高めるよう工夫されているか。</td></tr>
<tr><td>社　会</td><td>④　社会生活等に関係した内容が適切に取り入れられ、配置されているか。
⑤　地域の実態を生かし、観察や調査・見学などの体験的な活動が展開できる内容となっているか。</td></tr>
</table>

各教科・種目毎の具体的観点	地　図	④　国土の様子や社会事象、自然環境等に関する理解を促す内容となっているか。 ⑤　写真、統計資料などは最新のものが使われ、理解しやすいよう工夫されているか。
	算　数	④　日常生活に必要な数量や図形の基礎的・基本的な概念や性質が身に付く内容となっているか。 ⑤　作業的・体験的な活動を行う内容が工夫されているか。
	理　科	④　身近な自然を取り上げ、自然の事物・現象についての実感を伴った理解が図れる内容となっているか。 ⑤　自然に直接はたらきかけ、その特徴や変化を感覚や活動を通して学べるよう工夫がなされているか。
	生　活	④　具体的な活動や経験を重視した学習を展開しやすい内容となっているか。 ⑤　児童の実態や地域の特徴、季節等が考慮され、体験活動を含む多様な学習活動が進められるよう工夫されているか。
	音　楽	④　音楽活動を通して音楽を愛好する心情と感性の育成とともに、音楽に親しむ態度や豊かな情操を培う内容となっているか。 ⑤　楽しく音楽にかかわり、興味・関心を持って取り組めるよう工夫されているか。

各教科・種目毎の具体的観点	図画工作	④　題材は、感性を働かせながらつくりだす喜びを味わい、豊かな情操を養う内容となっているか。 ⑤　材料や用具、技法が幅広く取り入れられ、豊かな発想につながるよう工夫されているか。
	家　庭	④　日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能および態度を育てる内容となっているか。 ⑤　事故防止や安全、衛生に留意できるよう工夫されているか。
	保　健	④　健康の保持増進と体力の向上を目指し、健康で豊かな生活を送る基礎づくりができる内容となっているか。 ⑤　健康や安全、病気の予防に留意できるよう工夫されているか。
	外国語	④　日本語と外国語の違いに気付けるような簡単な表現を通して、外国語や外国への関心を育てる内容となっているか。 ⑤　日常生活でよく使われる身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりする活動を通して学習できるよう工夫されているか。
	道　徳	④　明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図ることができる内容となっているか。 ⑤　豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができる内容となっているか。

小学校特別支援学級（知的障害）　学年別使用のめやす

	１年	２年	３年	４年	５年	６年
国　語	検：小１ 著：こくご☆～☆☆☆ 一般図書	検：小１～２ 著：こくご☆～☆☆☆ 一般図書	検：小１～３ 著：こくご☆～☆☆☆ 一般図書	検：小１～４ 著：こくご☆～☆☆☆ 一般図書	検：小２～５ 著：こくご☆～☆☆☆ 一般図書	検：小３～６ 著：こくご☆～☆☆☆ 一般図書
書　写	検：小１	検：小１～２	検：小１～３	検：小１～４	検：小２～５	検：小３～６
社　会			検：小３・４ 検：小１・２（生　活） 一般図書	一般図書	検：小３～５ 一般図書	検：小３～６ 一般図書
地　図				検：地図（小学校用）		
算　数	検：小１ 著：さんすう☆～☆☆☆ 一般図書	検：小１～２ 著：さんすう☆～☆☆☆ 一般図書	検：小１～３ 著：さんすう☆～☆☆☆ 一般図書	検：小１～４ 著：さんすう☆～☆☆☆ 一般図書	検：小２～５ 著：さんすう☆～☆☆☆ 一般図書	検：小３～６ 著：さんすう☆～☆☆☆ 一般図書
理　科			検：小３ 検：小１・２（生　活） 一般図書	検：小３～４ 一般図書	検：小３～５ 一般図書	検：小３～６ 一般図書
生　活	検：小１・２					
音　楽	検：小１ 著：おんがく☆～☆☆☆ 一般図書	検：小１～２ 著：おんがく☆～☆☆☆ 一般図書	検：小１～３ 著：おんがく☆～☆☆☆ 一般図書	検：小１～４ 著：おんがく☆～☆☆☆ 一般図書	検：小２～５ 著：おんがく☆～☆☆☆ 一般図書	検：小３～６ 著：おんがく☆～☆☆☆ 一般図書
図画工作	検：小１・２ 一般図書	一般図書	検：小３・４ 一般図書	一般図書	検：小５・６ 一般図書	一般図書
家　庭					検：小５・６ 一般図書	
保　健			検：小３・４ 一般図書		検：小５・６ 一般図書	
外国語					検：小５・６ 一般図書	
道　徳	検：小１ 一般図書	検：小１～２ 一般図書	検：小１～３ 一般図書	検：小１～４ 一般図書	検：小２～５ 一般図書	検：小３～６ 一般図書

※検：文部科学省検定済教科書　著：文部科学省著作教科書

※知的障害をともなわない児童の場合は、通常の学級における教科用図書に準じて当該学年の文部科学省検定済教科書を使用すること。

種目名　【国　語】

文部科学省著作教科書および一般図書選定のための参考事項

（１）　「こくご☆」「こくご☆☆」「こくご☆☆☆」　文部科学省著作教科書

（めやすとなる学年：「こくご☆」１～２年
：「こくご☆☆」２～４年
：「こくご☆☆☆」３～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	大きくわかりやすい挿絵が豊富に掲載され、学習意欲を喚起するよう配慮されながら話したり書いたりする力をつけることができるなど、学習指導要領に沿った内容となっている。児童の実態に合わせて学習が効果的に進められるよう配慮されている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	「聞く、話す」「読む」「書く」の領域ごとにまとめて配列され、障害の特性や発達の状況に合わせて学習しやすく工夫されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	児童の実態に合わせて学習が効果的に進められるよう配慮されている。
④　日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	日常生活における言語が、大きく、わかりやすい表現・表記であり、言語の理解を助け、深められるよう工夫されている。
⑤　児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	内容は季節的なものや日常生活、社会生活に即したものなど、教材として精選されており、意欲的に言語活動を広げるための指導・支援の場や機会が得やすいよう工夫されている。
⑥　児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	おはなし教材も含めて構成してあり、読書活動につながるような配慮がされている。

（２）　「あいうえおえほん」　戸田デザイン研究室　　（めやすとなる学年：１～２年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	大きくわかりやすい挿絵とひらがなが見開きで表示され、児童の学習意欲を喚起しながら読んだり書いたりする力をつけることができるなど、学習指導要領に沿った内容となっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	「あし」の「あ」というように、一文字に対応した絵が印象的に配置され、簡単でわかりやすい内容となっている。大きくわかりやすい挿絵と平仮名が見開きで表示され、児童の学習意欲を喚起しながら読んだり書いたりする力をつけたりすることができるなど、学習指導要領に沿った内容となっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	毛筆体で書かれた平仮名の下には、鉛筆用書体で書き順が示してあり、正しく平仮名が身に付くように配慮されている。
④　日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	文字を学習する入門期に、平仮名との出会いとして活用しやすい構成になっている。
⑤　児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	挿絵を見ながら自由に会話ができ、イメージとともに言語活動を広げることができる。
⑥　児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	見開きで、左側の美しくデザインされた絵と右側にすっきりと大きな平仮名の文字が対応していて、大変見やすい。

（３）　「ゆっくり学ぶ子のための「こくご」入門編２（改訂版）（ひらがなの読み書き）」　同成社
（めやすとなる学年：１～３年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	平仮名の読み書きができることと単語が書けることをねらいとして、学習指導要領に沿った内容となっており、文字との出会いの段階から、少しずつ言語活動が広げられよう工夫されている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	線なぞりの両端に挿絵があり、「かめさんが歩いているね」というような声かけによって鉛筆を動かすスピードに着目させ、目と手の協応動作を高めるなどの創意工夫がなされている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	文字が大きく、わかりやすい表記であり、絵と対応して理解を助けるよう工夫されている。
④　日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	前半は平仮名を理解しやすいように挿絵が効果的に用意され、絵を見ながら平仮名を読むことに慣れるよう工夫されている。後半は運筆の練習が楽しく繰り返しできるように構成されている。
⑤　児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	鏡文字を見つける「どれがちがうかな」や、促音、拗音、拗長音、拗促音を見つける「どれかな」など、しっかり見比べて発見する面白さが味わえるように工夫されている。
⑥　児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	ひらがなの読みでは、「ねこ」と「ねっこ」などというように、促音のある場合とない場合を読み比べるなど、読書活動への窓口につながる手立てが工夫されている。

（４）　「よみかた絵本」　戸田デザイン研究室　（めやすとなる学年：２～３年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	５０音の平仮名が取り上げられている。テーマとなる一つの平仮名は赤色で書かれ、その文字が使われていることばが一目でわかるよう工夫され、学習指導要領に沿ったものとなっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	ある程度平仮名を知った段階で、繰り返し読んだり、その音の付くことばを考えたりして、ことばの世界を広げていけるように工夫されている。また、片仮名を使ったことばにも広げられるように構成されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	見開きが一つの平仮名で構成されており、右側の文章に対応し、簡単でわかりやすいデザインが左側に描かれている。
④　日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	平仮名は赤色、片仮名は青色で表記され、一目でわかりやすい。また、名詞や動詞だけでなく助詞や拗音などがいろいろなところに使われ、繰り返し読む中で発見できる面白さがある。
⑤　児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	テーマとなる一つの平仮名の音を使ったことばがたくさん紹介され、自分で考え、見つけていこうとする意欲がわくように工夫されている。
⑥　児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	どのページも、ここちよいリズムの４行のお話にまとめられ、読書活動につながるよう工夫されている。

（５）　「ゆっくり学ぶ子のための「こくご」１（改訂版）
(ひらがなのことば・文・文章の読み)　同成社　　（めやすとなる学年：２～４年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	それぞれのページの下に、聞き方・答え方という欄があり、本文を基にして会話が広がるように工夫され、学習指導要領に沿った内容となっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	簡単な表現・表記となっている。また、内容に即して改行されていて、言語の理解を助け、深められるような工夫がされている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	題材に適した挿絵が用意され、イメージや思考が深まるよう配慮されている。
④　日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	日常生活の基礎・基本となることばが育つような教材が用意されている。言語の力を深め、読みの力を伸ばせるように、段階を追って構成されていて活用しやすい。
⑤　児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	日常生活の中から「ことば」に関する事項が選ばれていて、少しずつ言語活動を広げ、文章表現の向上につながるように構成されている。
⑥　児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	文章に即して書いてあることを書いてあるとおりに読み取る力と、書いてないことも察して読み取る力が身に付けられるような短編の物語が載せられているなど、読書活動につながるように工夫されている。

（６）　「スキンシップ絵本　かたかなアイウエオ」　ひさかたチャイルド
（めやすとなる学年：１～４年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	１ページに１つ大きく片仮名と絵が見開きで載せてある。また、その片仮名がつくことばも絵と対応して載せてあり、わかりやすく片仮名が身に付くよう配慮され、学習指導要領に沿った内容となっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	平仮名と対応して五十音順に片仮名のことばが載せられており、手でなぞったり、発音したりしながら片仮名を覚えられるよう構成されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	片仮名の部分を色わけし、視覚的に片仮名を印象づけることによって、形を捉えることができるよう配慮されている。
④　日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	身近な物の中から片仮名のことばが集められており、自然と片仮名のことばに触れられるよう工夫されている。
⑤　児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	カラフルではっきりとした色彩の挿絵が使われており、児童が親しみやすく興味をもって学習できるよう工夫されている。
⑥　児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	絵を見ながら片仮名に興味をもって読み進めることができるよう工夫されている。

（７）　「もじのえほん　かんじ（２）」　あかね書房　　（めやすとなる学年：３～４年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	１～２年生で学習する身近な漢字が取り上げられている。漢字にはいろいろな読み方や使い方があることが理解しやすく、漢字の書き順も学習でき、学習指導要領に沿った内容となっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	漢字や片仮名にはルビがふられている。また、挿絵がわかりやすく文や言葉と対応させて理解できるよう工夫されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	音読みは赤、訓読みは青ですっきり色わけされ、書き順も書かれていてわかりやすい。また、お話の中で漢字の使い方が自然に学習できるように工夫されている。
④　日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	漢字のいろいろな使い方・読み方を、ばらばらに学習するのではなく、まとまった話の中で提示し、理解しやすいように工夫されている。
⑤　児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	挿絵からイメージをふくらませておはなしをすることにより、言語活動を豊かにし、本が好きになるきっかけとなるよう配慮されている。
⑥　児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	１冊を通して、１匹の猫を主人公とした物語となっていて、挿絵もきれいで、活発な読書活動となる工夫がされている。

（８）「ゆっくり学ぶ子のための「こくご」２（改訂版）
（かたかな・かん字の読み書き）」　同成社　　（めやすとなる学年：３～５年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	片仮名や漢字に初めて出会う段階から、それを使ったことばや文章を読む段階まで、読み書きの力が積み上がるように工夫されて学習指導要領に沿った内容となっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	漢字の成り立ちが一目でわかる絵や、漢数字と対応した絵など、題材に応じた挿絵が用意され、イメージや思考が深まるよう配慮されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	短くわかりやすいことばの読みのページや、なぞったり自分で書き込んだりできるページ、そして簡単なおはなし教材などで構成されており、段階的に学べるよう配列されている。
④　日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	「タオル－てぬぐい」というように同じようなものでも異なる言い方があることや、平仮名、片仮名、漢字で書くことばはどれかなども取り上げられてあり、日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっている。
⑤　児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	「アイスクリームのア」というように、文字とことばが印象的につながるように工夫されている。
⑥　児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	学習の発展として、簡単なおはなし教材が入っており、読書活動につながる手だてとなっている。

（９）「小学生向辞典・事典　レインボーことば絵じてん」　学研

（めやすとなる学年：３～５年）

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	日常の暮らしのなかにある様々な「ことば」と出会えるように工夫されており、学習指導要領に沿った内容となっている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	見出し語はすべて読み方とともに絵で表現されており、視覚的に理解しやすい。平仮名、片仮名で表記されていて、片仮名には振り仮名がつけられている。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	国語辞典のように索引が色分けしてつけられており、知りたい言葉を自分で見つけ考えようとする意欲をもてるよう工夫されている。
④ 日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	ひとつのことばをきっかけに、その反対語・対語・関連語、さらにそのことばから連想されることばなどが載せられてあり、興味を持って語彙を増やせる工夫がされている。
⑤ 児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	「なぞなぞ」「しりとり」「回文」など、遊びながら学ぶ「ことば遊び」が載せられており、言語活動が広がるよう配慮されている。
⑥ 児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	見出し語が、日常の会話や文の中でどのように使われるかについて例文と挿絵で示されており、絵本を読むように、読んだり、見たり、遊んだりしながらことばを学ぶことができるよう工夫されている。

(10)「言葉図鑑（３）　かざることば（Ａ）」　偕成社　　（めやすとなる学年：３～５年）

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	様々な生活の中で見かける様子や人々の心の動きが形容詞として集められ、語彙を豊かにすることを目指しており学習指導要領に沿った内容となっている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	親しみやすい挿絵とかざることばが対応しており、視覚的にも印象づけられ、興味・関心を喚起しやすい。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	「どんな～？」と尋ねながら、見開きで１６語ずつ、物の形やありさまを言い表すことばが取り上げられてあり、挿絵と対応させながらことばを楽しく広げていけるよう工夫されている。
④ 日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	挿絵が面白く、人物の表情もわかりやすく描かれてあり、同義語や対義語のニュアンスの違いが理解しやすい。
⑤ 児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	本書におさめられている形容詞が五十音順に並べられており、どのページに載っているのかがわかるようになっている。自分でことばを調べられるように工夫がされている。
⑥ 児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	１６コマの絵とことばで、ものの形やありさまが面白く表現されていて、漫画のように読み進めることができるなど、読書活動につながるよう工夫されている。

(11)「漢字がたのしくなる本　ワーク３　部首あそび」　太郎次郎社

（めやすとなる学年：４～６年）

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	漢字の意味的ななかまのつくりかたとそのつながりで漢字の基本的な構造や仕組みがわかるよう工夫されており、学習指導要領に沿った内容となっている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	ワーク形式で答えを記入し、児童の理解の状況を確かめながら読み進めることができるよう工夫されている。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	漢字に対応した挿絵がふんだんに使われており、漢字のなりたちについて興味をもって学習できるよう工夫されている。
④ 日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	「○○からできた部首」というように部首ごとにまとめられ、漢字の成り立ちがわかりやすく説明されており、漢字を整理して覚えることができるよう工夫されている。
⑤ 児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	部首の系列や意味、形などを、カルタ、トランプなどの漢字遊びを交えながら覚えられるように工夫され、興味を喚起させるように構成されている。
⑥ 児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	漢字の成り立ちが絵とともに説明されてあり、絵を見ながら漢字に興味をもって読み進めることができるよう工夫されている。

(12)「ゆっくり学ぶ子のための「こくご」３(改訂版)

（文章を読む、作文・詩を書く)」　同成社　（めやすとなる学年：４～６年）

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	文章を読む力と書く力を着実に身に付けていけるように工夫されており、学習指導要領に沿った内容となっている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	文字の大きさや行間が工夫されており、分かち書きからつながりのある文章へと段階を追って理解しやすい表現・表記になっている。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	身近な題材の文章を読んで問いかけに答えたり、作文や詩を書いたりできるように段階を追って構成されている。
④ 日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	語彙を広げることを目指した「ことばのべんきょう」が１６項目載せられており、日常生活の基礎基本となる言語を段階を追って理解できるように工夫されている。
⑤ 児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	学校①②③、うちのこと①②というように、同じテーマで違う文章を紹介し、自分も身近なテーマで読んだり書いたりしてみようという意欲が湧くように工夫されている。
⑥ 児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	挿絵は内容に即したものであり、イメージしやすいよう配慮されている。

(13)「言葉図鑑（１０）　なまえのことば」　偕成社　　（めやすとなる学年：４～６年）

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	事物の名を表す名詞がたくさん紹介されている。興味をもって読んだり話したりしながら、伝え合う力が高められるように工夫されている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	漢字にはすべてに振り仮名が付けてあり、短くわかりやすい文章で説明され、理解しやすいように工夫されている。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	わかりやすく楽しい挿絵で視覚的にもものの名前が印象づけられるように工夫されている。また、身近で多様なことばに広がっていく構成になっている。
④ 日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	うまとびの「うま」、かたぐるまの「くるま」といった名前や同音異義語など、様々な名詞について、簡単な話とわかりやすい絵で説明されていて、基礎基本となる言語の理解を深められるようになっている。
⑤ 児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	自分たちをとりまくあらゆる事柄や物に付けられた名前について興味をもち、学習をきっかけとして、自分でもそのことばや違う名詞について説明したくなるような内容である。
⑥ 児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	「これは～です。」という始まりから、そのことばが面白く紹介されており、児童の読書活動を活発にするよう工夫されている。

種目名　【書　写】

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	文部科学省検定教科書を児童の実態に応じて使用することが考えられる。一般図書採択にあたっては、左記の具体的観点を満たすものとすること。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	
④ 丁寧に書くことへの関心や意欲を育てる内容となっているか。	
⑤ 筆記具や用紙の特質を生かした、児童の学習意欲を高めるよう工夫されているか。	

種目名　【社　会】

一般図書選定のための参考事項

（１）　「はっけんずかん　のりもの改訂版」　学研　　（めやすとなる学年：３年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	乗り物の説明とともに、乗り物の役割やその乗り物を使って仕事をする人々の様子が示され、働く人について学習できるようになっており、学習指導要領に沿った内容となっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	表現は平仮名と片仮名で簡潔に書かれており、絵や写真の補助的な意味合いが強いので、親しみやすい。また、しかけを楽しみながら発見する楽しさを味わえるよう工夫されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	物語性をもった絵と写真が交互に配置されている。また挿絵の扉を開くと乗り物の仕組みや人の動きがわかるようにもなっており、学習が効果的に進められるよう配慮されている。
④　社会生活等に関係した内容が適切に取り入れられ、配置されているか。	町の中で暮らしを支える乗り物から、海や空、宇宙で活躍する乗り物へと、児童が夢や憧れをもって学習が展開できるような構成から、現代社会の広がりが感じられるよう工夫されている。
⑤　地域の実態を生かし、観察や調査・見学などの体験的な活動が展開できる内容となっているか。	身近な町の中の乗り物から鉄道、船、飛行機など、地域の実態に即して、学習が展開できるような構成になっている。

（２）　「スキャリーおじさんのにぎやかなビジータウン」ＢＬ出版（めやすとなる学年：３～４年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	社会生活を支える様々な仕事について、ビジータウンに住む人々を介して魅力的に紹介されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	様々な仕事の内容が短いや分かち書きで簡潔に紹介されている。表記は平仮名と片仮名が中心でわかりやすい。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	愛らしくユーモラスな絵やコメントは児童の興味・関心を喚起し、各場面のエピソードを想像しながら楽しく読み進むことができる。大きなページは、細かに描き込まれた絵を十分に楽しめるよう工夫されている。
④　社会生活等に関係した内容が適切に取り入れられ、配置されているか。	様々な職種と働く場面が絵と文でわかりやすく紹介されており、社会生活に関係した内容が豊富に取り入れられている。
⑤　地域の実態を生かし、観察や調査・見学などの体験的な活動が展開できる内容となっているか。	ネコのハックルとミミズのローリーが様々な仕事を見学・体験する内容に自分自身を重ねることで、体験的な活動へと導くような展開ができる内容となっている。

（３）　「シリーズ生活を学ぶ５　遠くへ行きたいな」　福村出版

（めやすとなる学年：３～５年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	交通ルール、社会的マナー、各種の公共施設等についての説明と利用の仕方がわかりやすい文で載せられている。社会生活で生かせる内容が示されており、学習指導要領に沿ったものとなっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	児童に語りかけるような平易な文章が読みやすい。漢字には振り仮名が付けられ、幅広い発達段階の児童に応じて活用することができる。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	大きく豊富な挿絵が随所に描かれ、場面の理解を助けている。日常生活の自立に向けて、身に付けておきたい社会生活の仕組みやきまり、マナーに加え、その活動に適した服装や持ち物等が具体的に紹介されていて、経験を伴った学習を進められるように配慮されている。
④　社会生活等に関係した内容が適切に取り入れられ、配置されているか。	交通ルールやマナー、買い物などの身近なことから、海水浴や山のぼりなどの余暇活動へと、児童の夢が広がる構成になっている。
⑤　地域の実態を生かし、観察や調査・見学などの体験的な活動が展開できる内容となっているか。	児童の生活場面そのものが取り上げられており、学校行事や家庭生活での体験的な活動と直結させながら繰り返し積み重ねたい内容となっている。

（４）　「ドラえもんちずかん１　にっぽんちず」小学館　（めやすとなる学年：３～５年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	地方別に各地の風土や文化が紹介されているとともに、日本の四季や料理、野菜・果物、動物、鉄道などテーマ別に学習できるものとなっており、学習指導要領に示された内容に沿ったものとなっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	文章は平仮名、片仮名で簡潔に書かれており、絵や写真の補助的な役割の意味合いが強いので、親しみやすいものとなっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	各ページに多くの写真や絵が使われ、児童がわかりやすく学習を進められるよう工夫されている。各ページには、クイズが載せられてあり、学んだことを確認できるようになっている。
④　社会生活等に関係した内容が適切に取り入れられ、配置されているか。	関心のある地方や興味のあるテーマから読み進めることもでき、生活経験の延長や発展として、必要なテーマからでも活用することができる。
⑥　地域の実態を生かし、観察や調査・見学などの体験的な活動が展開できる内容となっているか。	日本各地の様子や様々なテーマに沿った資料が取り上げられており、児童の興味・関心に即したもので、体験的な活動への展開が期待できる内容となっている。

（５）　「こども日本地図」　永岡書店　　（めやすとなる学年：４～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	見やすい地図とともに、各都道府県の名所や特産物が写真やイラストとわかりやすい文で説明されており、学習指導要領に沿った内容となっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	地図記号や等高線、方位などについてわかりやすい表記がなされている。漢字には、すべて振り仮名がつけられていて読みやすい。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	各ページに多くの写真が使われ、児童がわかりやすく学習を進められるよう工夫されている。巻末には付録カードがついており、カードを使って楽しみながら学習できるよう工夫されている。
④　社会生活等に関係した内容が適切に取り入れられ、配置されているか。	８つの地方と４７都道府県をさまざまな角度から捉えた地方別・都道府県別ページと、「何でもランキング」「全国ふるさとの名物料理」「日本にある世界遺産」「日本の昔話・民話のふるさと」などのテーマ別ページがバランスよく配置されている。
⑤　地域の実態を生かし、観察や調査・見学などの体験的な活動が展開できる内容となっているか。	日本各地の様子や様々なテーマに沿った資料が取り上げられており、児童の興味・関心に即したもので、体験的な活動への展開が期待できる内容となっている。

（６）　「絵で見る日本の歴史」　福音館書店　　（めやすとなる学年：６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	氷河時代から現在までの日本の歴史を絵物語として、絵巻物のように３１の場面で示されている。各ページの右上には西暦と日本の時代名が併記され、ページの下にはその時代のエピソードが簡単に記されており、学習指導要領に沿った内容となっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	漢字には振り仮名が付けられていて読みやすい。各時代の人々の暮らしが見開きで１枚に表されていて、絵と簡単な文章で理解できるよう工夫されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	時代考証が行き届いており、細部まで緻密に描き込まれた絵は、児童の興味・関心を高められるものとなっている。
④　社会生活等に関係した内容が適切に取り入れられ、配置されているか。	その時代に生きた無名の人々が生き生きと生活する様子が描かれており、ちりばめられた多くのドラマから児童の生活に根ざした様々な気付きが生まれるものとなっている。
⑤　地域の実態を生かし、観察や調査・見学などの体験的な活動が展開できる内容となっているか。	巻末の「解説」には各場面の詳しい注釈があるので、調べ学習を進める上で手がかりとして活用できるものとなっている。

（７）　「親子で楽しむこども歴史塾」　明治書院　　（めやすとなる学年：６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	取り扱う時代が大きく３つに分けられ、その内容を「かわらばん」ふうにまとめたわかりやすい構成となっており、学習指導要領に示された目標や内容に沿った内容となっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	時代の様子を児童がイメージしやすいようにイラストが多く使われ、興味をもって学習できるよう工夫されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	それぞれの「かわらばん」には、時代名だけでなく年号も表記されているなど、学びやすいように工夫がなされている。
④　社会生活等に関係した内容が適切に取り入れられ、配置されているか。	イラストについている吹き出しに、人々のつぶやきが書かれており、歴史上の出来事だけでなく、人々の様子も学習できるよう工夫されている。
⑤　地域の実態を生かし、観察や調査・見学などの体験的な活動が展開できる内容となっているか。	索引によって、調べたい人物や出来事が探し出しやすくなっており、調べ学習などにも活用しやすいものとなっている。

種目名　【地　図】

一般図書選定のための参考事項

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	文部科学省検定教科書を児童の実態に応じて使用することが考えられる。一般図書採択にあたっては、左記の具体的観点を満たすものとすること。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	
④　国土の様子や社会事象、自然環境等に関する理解を促す内容となっているか。	
⑤　写真、統計資料などは最新のものが使われ、理解しやすいよう工夫されているか。	

種目名　【算　数】

文部科学省著作教科書および一般図書選定のための参考事項

（１）　「さんすう☆」「さんすう☆☆(1)(2)」「さんすう☆☆☆」　　文部科学省著作教科書

（めやすとなる学年　：「さんすう☆」１～２年
：「さんすう☆☆(1)(2)」２～４年
：「さんすう☆☆☆」３～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	身の回りにある具体物を活用し、数えることの基礎や量の大きさ、長さや重さなどについての理解を深めるという、学習指導要領に示された目標に沿った内容となっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	初歩の数概念から細かいステップで系統的に学習できるよう工夫されている。
②　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	明るい配色で楽しい雰囲気の挿絵がならび、興味をもって学習できるよう工夫されている。
③　日常生活に必要な数量や図形の基礎的・基本的な概念や性質が身に付く内容となっているか。	日常の生活や遊びが楽しく描かれ、数の世界へ自然に入り込んでいけるよう工夫されている。
⑥　日常生活に生かせるよう作業的・体験的な活動を行う内容が取り入れられているか。	内容が基本的な日常生活や遊びから展開し、作業的・体験的に学習することができる内容となっている。

（２）　「ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」１

（量概念の基礎、比較、なかま集め)」：同成社　　（めやすとなる学年：１～３年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	量概念、比較、弁別、仲間集め、１対１対応といった数概念の基礎についての理解を深めるという、学習指導要領に示された内容に沿っている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	量概念、比較、弁別、仲間集め、１対１対応といった数概念の基礎を系統的に学習できるよう工夫されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	生活に密着した挿絵が多く、興味・関心をもって取り組めるよう工夫されている。
④　日常生活に必要な数量や図形の基礎的・基本的な概念や性質が身に付く内容となっているか。	基本的な日常生活や遊びが取り入れられ、基礎的な算数の概念を、生活の中で身に付けられるよう工夫されている。
⑤　日常生活に生かせるよう作業的・体験的な活動を行う内容が取り入れられているか。	ゲームなどの遊びの中で、具体的操作を通して体験的に学んでいくことができるよう配慮されている。

（３）　「ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」２

（１対１対応、1～5 の数、5 までのたし算）」：同成社　（めやすとなる学年：１～４年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	数の概念とその表し方及び加法の意味ついて理解を深めるという、学習指導要領に示された目標に沿った内容となっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	大小比較、集合数、順序数、合成、加法へと系統的に学習できるよう工夫されている。
②　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	生活に密着した挿絵が多く、興味・関心をもって取り組めるよう工夫されている。
④　日常生活に必要な数量や図形の基礎的・基本的な概念や性質が身に付く内容となっているか。	５までの数を使って、集合数としての数の意味と加法が学習できるよう工夫されている。
⑤　日常生活に生かせるよう作業的・体験的な活動を行う内容が取り入れられているか。	具体物から数へ結び付ける学習過程としてタイルを操作して体験的に学習が進められるよう配慮されている。

（４）　「おかあさんだいすき１．２．３」　あかね書房　　（めやすとなる学年：１～４年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	ものの数を正しく数えたり表したりする能力を育成するという、学習指導要領に示された内容に沿っている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	ものの数と数字の対応について、系統的に学習できるよう配慮されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	挿絵は鮮明で明るい色調で描かれて親しみやすく、興味・関心をもって取り組めるように工夫されている。
④　日常生活に必要な数量や図形の基礎的・基本的な概念や性質が身に付く内容となっているか。	１から１０の数を中心に課題が構成され、動物や身近なものを取り入れて、数についての基礎的な能力や態度が身に付けられるよう工夫されている。
⑤　日常生活に生かせるよう作業的・体験的な活動を行う内容が取り入れられているか。	見開きの２ページに一つの課題をまとめ、配色や挿絵の配置を工夫することにより児童が課題に集中しやすい構成となっており、身近なものを使った体験的学習にも発展しやすい。

（５）　「とけいのえほん」　戸田デザイン研究室　　（めやすとなる学年：１～４年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	時計に興味を持ち、日常生活の中で時刻を読む技能や、時刻と日常生活を関連付けて思考力、判断力、表現力を身につけるという、学習指導要領に示された内容に沿っている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	日常生活場面のイラストと「○時」という正時の読み方が２ページの見開きで示されているので、時計の読み方が理解しやすい。巻末では「○時○分」の読み方についても触れられており、系統的に学習できるよう工夫されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	時計の数字は鮮明で見やすく、「○時」に注目しやすい構成になっている。
④　日常生活に必要な数量や図形の基礎的・基本的な概念や性質が身に付く内容となっているか。	日常生活の様子と「○時」が２ページの見開きで構成されており、一日の時の移り変わりに気付くよう工夫されている。
⑤　日常生活に生かせるよう作業的・体験的な活動を行う内容が取り入れられているか。	児童の日常生活の流れにかかわりの深い挿絵が使われ、自分の生活体験と結び付けて学習できる。

（６）　「三省堂こどもかずの絵じてん」　三省堂　　（めやすとなる学年：２～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	数の概念とその表し方及び計算の意味や、日、時などの時間の単位について理解を深めるという、学習指導要領に示された内容に沿っている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	ものを集まりとして見ること、数の大小比較、順序の区別、日常生活に必要な概念（お金・時計・カレンダー）等が系統的に学習できるよう配慮されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	写真や挿絵は鮮明で明るい色調で描かれていて、興味・関心をもって取り組めるよう工夫されている。
④　日常生活に必要な数量や図形の基礎的・基本的な概念や性質が身に付く内容となっているか。	課題が具体的で、身近な生活の素材や体験的な活動場面を取り入れ、数について基礎的な能力や態度を身に付けられるよう工夫されている。
⑤　日常生活に生かせるよう作業的・体験的な活動を行う内容が取り入れられているか。	見開きの２ページに一つの課題をまとめ、体験的学習を取り入れながら絵や写真のものの数と数字を対応させて考えられるよう工夫されている。

（７）　「ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」３

（6～9 のたし算、ひき算、位取り）」　同成社　　（めやすとなる学年：３～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	数の構成と表し方及び加法・減法の意味について理解を深めるという、学習指導要領に示された内容に沿っている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	６以上の数、加法、減法、数助詞、位取りが系統的に学習できるよう工夫されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	生活に密着した挿絵が多く、興味・関心をもって取り組めるよう工夫されている。
④　日常生活に必要な数量や図形の基礎的・基本的な概念や性質が身に付く内容となっているか。	６から２桁までの数と、１桁の数の加法、減法、時計の読み方が、動物や身近なものを取り入れて学習できるよう編集されている。
⑤　日常生活に生かせるよう作業的・体験的な活動を行う内容が取り入れられているか。	具体物から数へ結び付ける学習過程として、タイルを操作して体験的に学習を進められるよう配慮されている。

（８）　「２１世紀幼稚園百科２　とけいとじかん」　小学館　　（めやすとなる学年：３～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	時刻や時間の単位について知り、理解を深めるという、学習指導要領に示された内容に沿っている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	時刻と時間の学習など内容が分類して記されており、系統的な学習がしやすいよう工夫されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	置き時計やキャラクターの時計など、生活に結びつくさまざまな時計が多数写真を使って示されており、児童が興味をもって繰り返し取り組むことができるよう工夫されている。
④　日常生活に必要な数量や図形の基礎的・基本的な概念や性質が身に付く内容となっているか。	日常生活の中で見られるさまざまな形や種類の時計が紹介されており、生活の中で活かせるよう工夫されている。
⑤　日常生活に生かせるよう作業的・体験的な活動を行う内容が取り入れられているか。	児童の日常生活の流れにかかわりの深い写真や場面が使われ、自分の生活体験と結び付けて繰り返し学習できるよう、工夫されている。

（９）　「ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」４

（くり上がり、くり下がり、2 けたの数の計算）」同成社（めやすとなる学年：４～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	一位数、二位数の加法及び減法の計算ができ、筆算の仕方を理解するとともに、量の単位を知り、その意味を理解するという、学習指導要領に示された内容に沿っている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	内容が系統的に組まれており、細かい段階を追って学習できるよう工夫されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	生活に密着した挿絵が多く、興味・関心をもって取り組めるよう工夫された造本となっている。
④　日常生活に必要な数量や図形の基礎的・基本的な概念や性質が身に付く内容となっているか。	繰り上がりのある加法、繰り下がりのある減法を中心に２桁の計算と重さ、かさ、長さの単位について学習できるよう編集されている。
⑤　日常生活に生かせるよう作業的・体験的な活動を行う内容が取り入れられているか。	具体物から数へ結び付ける学習過程として、タイルを操作して体験的に学習が進められるよう配慮されている。また、適宜ゲームを取り入れ、生活の中で生かすことができるよう配慮されている。

(10)　「ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」５

(3 けたの数の計算、かけ算、わり算)」同成社　　（めやすとなる学年：５～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	加法、減法、乗法及び除法の計算をする技能を身に付け、生活や学習に活用しようとする態度を養うという、学習指導要領に示された目標や内容に沿っている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	３桁の数の計算では、具体物、タイル等の半具体物を示しながら、筆算での計算に結び付ける配慮がされている。文章問題が適度に取り入れられており、問題を読み取る力もあわせて学習できる。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	式を立てる時にイメージしやすいような挿絵が描かれ、生活と関連づけて考えることができるよう工夫されている。
④　日常生活に必要な数量や図形の基礎的・基本的な概念や性質が身に付く内容となっているか。	３桁の数の計算、かけ算、わり算、日常生活で使う単位が生活と結び付けて学習できるよう工夫されている。
⑤　日常生活に生かせるよう作業的・体験的な活動を行う内容が取り入れられているか。	お金の種類や日常生活で使う単位の学習が取り入れられ、自分の生活と関連付けて体験的学習に発展できるよう工夫されている。

種目名　【理　科】

一般図書選定のための参考事項

（１）　「こどものずかん　Mio７　くさばな・き」ひかりのくに（めやすとなる学年：３～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	自然の事物・現象についての理解を図り、自然を愛する心情を養うという、学習指導要領に示された目標と内容に沿っている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	草花や木を形や色で比べたり、遊んだりする体験を通して学習できるよう配列されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	親しみやすい挿絵や草花や木の写真が多く掲載され、児童が身近な題材で楽しく自然とかかわれるよう工夫されている。
④　身近な自然を取り上げ、自然の事物・現象についての実感を伴った理解が図れる内容となっているか。	自然の素材を使った遊びを系統立てて取り上げ、四季を通じて自然に親しめるよう編集されているので、１，２年生の生活科との関連も深い構成となっている。
⑤　自然に直接はたらきかけ、その特徴や変化を感覚や活動を通して学べるよう工夫がなされているか。	四季を通じて、遊びや観察などの具体的な活動が、絵や図、写真等でわかりやすく掲載され、日常生活での活用や遊びへ発展しやすいよう工夫されている。

（２）　「フレーベル館の図鑑ナチュラ　はるなつあきふゆ」　フレーベル館

（めやすとなる学年：３～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	自然の事物・現象についての理解を図り、観察などに関する技能を身に付け、自然を愛する心情を養うという、学習指導要領に示された目標と内容に沿っている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	四つの季節がそれぞれ「しぜん」と「くらし」で構成・配列され、内容も豊富であり、一年間を通じて学習することができる。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	写真やイラストが鮮明で、児童が興味をもてるように構成が工夫されている。また、巻末にはさくいんがあり、主体的に調べることができるよう工夫されている。
④　身近な自然を取り上げ、自然の事物・現象についての実感を伴った理解が図れる内容となっているか。	身近な植物や生物、行事などが細かく取り上げられており、季節の変化を通して自然や暮らしに親しめるように編集が工夫されている。
⑤　自然に直接はたらきかけ、その特徴や変化を感覚や活動を通して学べるよう工夫がなされているか。	日常生活にかかわる食事・衣服・行事などの暮らしの変化を季節の移り変わりと関連付けて感じられるよう編集されている。四季を通じての観察方法や遊び方が紹介され、日常生活での遊びや活動につながりやすいよう工夫されている。

（３）　「ふしぎをためすかがく図鑑　かがくあそび」　フレーベル館

（めやすとなる学年：３～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、問題解決の力を養うという、学習指導要領に示された目標と内容に沿っている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	科学遊び（実験）の例が多く紹介されており、実際に自分で試してみることで興味・関心が高まるように工夫されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	身近な材料を使って、色水や方位磁石などの作り方の手順を、絵や図、写真等でわかりやすく示されている。
④　身近な自然を取り上げ、自然の事物・現象についての実感を伴った理解が図れる内容となっているか。	生活の中で身近にある素材や材料が扱われ、ものづくりをする活動を通して、水、空気、電気や磁石等の性質や働きに気付きやすいよう編集されている。
⑤　自然に直接はたらきかけ、その特徴や変化を感覚や活動を通して学べるよう工夫がなされているか。	一つの題材を幅広く取り上げているので、個々の児童の日常生活や自然体験に応じて、興味・関心に合った内容を選んで活用できるよう工夫されている。

（４）　「はっけんずかん　むし新版」　学研

（めやすとなる学年：３～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	自然に親しみ、自然を愛する心情や態度を養うという、学習指導要領に示された目標と内容に沿っている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	場所、季節や時間の違いにより、生息する昆虫も違うことに気付くように工夫されている。また、世界の珍しい昆虫なども紹介されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	写真は鮮明で、場所や季節を表すイラストが楽しく描かれているとともに、文中の質問の扉を開くと中に答えが描かれてあり、興味・関心がもてるように工夫されている。
④　身近な自然を取り上げ、自然の事物・現象についての実感を伴った理解が図れる内容となっているか。	様々な場所、季節や時間ごとに、生息している昆虫とその周りの自然環境や動植物などが紹介されている。風景も日常生活に身近なものが多く、実感を伴った理解が図れるよう工夫されている。
⑤　自然に直接はたらきかけ、その特徴や変化を感覚や活動を通して学べるよう工夫がなされているか。	昆虫の住みかや行動が具体的に示してあるので、児童が主体的に身近な昆虫探しに取り組めるよう配慮されている。

（５）　「フレーベル館の図鑑ナチュラ　うちゅうせいざ」　フレーベル館

（めやすとなる学年：４～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	太陽・月・星の特徴について、位置の変化や時間の経過に着目し、それらを関係づけて調べるという、学習指導要領に示された内容に沿っている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	季節や時刻によって見える星座が変わることに興味がもてるよう、図や写真等でわかりやすく掲載されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	太陽・月・星の特徴や位置の変化などが絵や写真等で示されているので、児童の興味・関心に応じて発展的に学習することができる。
④　身近な自然を取り上げ、自然の事物・現象についての実感を伴った理解が図れる内容となっているか。	児童が普段よく見聞きするような星座が多く掲載され、観察の仕方や観察用具も紹介されており、実感を伴った理解が図れるよう工夫されている。
⑤　自然に直接はたらきかけ、その特徴や変化を感覚や活動を通して学べるよう工夫がなされているか。	太陽・月・星の観察の仕方について、「やってみよう」というコラムの中で、それらに親しむ「体験」のヒントがイラストを使って掲載されており、児童が体験的に学べるよう工夫されている。

（６）　「こどものずかん　Mio８　いきもののかいかた」　ひかりのくに

（めやすとなる学年：５～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	身の回りの生物の様子について調べる中で、生物を愛護する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養うという、学習指導要領に示された目標と内容に沿っている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	身近な生き物やペットの飼育の仕方が詳しく示され、その後によく似た生き物が紹介されている。適切な説明で、見やすくまとめられている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	写真やイラストは鮮明で、多彩な角度から豊富に掲載され、児童の興味・関心を引き付けるように工夫されている。
④　身近な自然を取り上げ、自然の事物・現象についての実感を伴った理解が図れる内容となっているか。	昆虫やペット、水の生き物などの飼育の仕方と観察のポイントが紹介され、生き物に親しもうとする意欲が喚起されるように編集されている。
⑤　自然に直接はたらきかけ、その特徴や変化を感覚や活動を通して学べるよう工夫がなされているか。	身近な生き物やペットが紹介されているので親しみやすく、主体的に生き物にふれたくなるように配慮されている。

（７）　「あそびのおうさまずかん１　からだ増補改訂」　学研

（めやすとなる学年：５～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	人や他の動物について、骨や筋肉のつくりと働きについて理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けるという、学習指導要領に示された内容に沿っている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	「のぞいてみようからだのなか」、「だいはっけんからだずかん」、「びょうきとからだ」、「からだのふしぎ」の順で構成されており、健康について考える機会をもつことができる。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	写真や挿絵は鮮明で身体の特徴がわかりやすく、児童の興味・関心をひき付けるように工夫されている。
④　身近な自然を取り上げ、自然の事物・現象についての実感を伴った理解が図れる内容となっているか。	人の体の主なつくりや働きと、児童がよく知っている動物が紹介され、身体のつくりや働きに気付き、関心がもてるよう編集されている。
⑤　自然に直接はたらきかけ、その特徴や変化を感覚や活動を通して学べるよう工夫がなされているか。	人体を構成する目、耳、手、足などの身体の部位や身体内部の構造が順序よく示されている。「ぴくぴく　みみくらべ」というような児童が興味を持って学習できる見出しで、人と動物の体を挿絵を見ながら比べられるように工夫されている。

（８）　「ふしぎをためすかがく図鑑　しょくぶつのさいばい」　フレーベル館

（めやすとなる学年：５～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	身の回りの植物を育てる中で、植物の様子や周辺の環境、成長の過程や体のつくりを理解し、自然を愛する心情を養うという、学習指導要領に示された目標と内容に沿っている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	草花・野菜・植物の栽培の仕方が大きく３つにわけて配列され、それぞれマーク入りで示されている。季節、栽培の仕方等もマークや色で示されているので見やすく活用しやすい。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	写真と図がわかりやすく構成され、児童が興味・関心をもてるように工夫されている。
④　身近な自然を取り上げ、自然の事物・現象についての実感を伴った理解が図れる内容となっているか。	身近な草花や野菜の発芽から収穫までの様子がわかり、栽培しようとする意欲につながるよう編集されている。
⑤　自然に直接はたらきかけ、その特徴や変化を感覚や活動を通して学べるよう工夫がなされているか。	児童が日常生活でよく目にする草花や野菜が数多く掲載され、栽培方法の資料としても活用できるように配慮されている。

（９）　「米村でんじろうのＤＶＤでわかるおもしろ実験！！」　講談社

（めやすとなる学年：６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	自然の事物、現象についての理解を図り、主体的に問題解決しようとする態度を養うという、学習指導要領に示された目標と内容に沿っている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	それぞれの実験には、細かな解説が掲載されており、児童の興味、関心に合わせて発展的に活用することができるよう工夫されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	写真や図、ＤＶＤで、実験の準備物や手順がわかりやすく示され、実験がスムーズに実施できるよう工夫されている。
④　身近な自然を取り上げ、自然の事物・現象についての実感を伴った理解が図れる内容となっているか。	日常生活に関係の深い事物や性質を生かして、楽しく興味を持って実験できるよう工夫されている。
⑤　自然に直接はたらきかけ、その特徴や変化を感覚や活動を通して学べるよう工夫がなされているか。	生活に身近な材料が活用されており、実験が実施できるよう配慮されている。また、実験が安全に実施できるよう、注意点についても掲載されている。

種目名　【生　活】

一般図書選定のための参考事項

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	文部科学省検定教科書を児童の実態に応じて使用することが考えられる。一般図書採択にあたっては、左記の具体的観点を満たすものとすること。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	
④　具体的な活動や経験を重視した学習を展開しやすい内容となっているか。	
⑤　児童の実態や地域の特徴、季節等が考慮され、体験活動を含む多様な学習活動が進められるよう工夫されているか。	

種目名　【音　楽】

文部科学省著作教科書および一般図書選定のための参考事項

（１）　「おんがく☆」「おんがく☆☆」「おんがく☆☆☆」文部科学省著作教科書

（めやすとなる学年：「おんがく☆」１～２年
：「おんがく☆☆」２～４年
：「おんがく☆☆☆」３～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	音遊びや身体表現等の表現や、鑑賞、器楽など様々な活動が取り入れられており、学習指導要領の目標や内容に沿ったものとなっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	踊ったり、歌ったりする表現活動をとおして、豊かな感性を育むことができるよう工夫されており、障害の状況や発達段階に即して活用できる内容となっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	リズム譜や絵譜を取り入れるなど自然な形で音符や音階に触れられるよう工夫されており、学習を効果的に進めることができるよう配慮されている。
④　音楽活動を通して音楽を愛好する心情と感性の育成とともに、音楽に親しむ態度や豊かな情操を培う内容となっているか。	季節や行事など、日常生活に合った歌や曲が多く組み入れられ、楽しく歌ったり、リズム楽器などを演奏したりできるように編集されている。
⑤　楽しく音楽にかかわり、興味・関心を持って取り組めるよう工夫されているか。	発達の状況や特性から考え、遊び歌、手遊び、リズム遊び、簡単な合奏に楽しく活用できる内容で構成されている。

（２）　「あそびうたのほん」　ひかりのくに　（めやすとなる学年：１～２年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	児童が楽しく音楽とかかわり、親しみやすい内容に工夫され、学習指導要領の目標や内容に沿ったものとなっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	歌詞の雰囲気や意味が伝わる絵や、振り付けが全面に描かれており、歌いながら手遊びをしようとする意欲が高まるよう工夫されており、障害の状況や発達段階に即して活用できるよう工夫されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	ページの右上にはコードつきの楽譜が提示され、児童が歌いながら手遊びをする時に、指導者が必要に応じて利用できるよう配慮されている。
④　音楽活動を通して音楽を愛好する心情と感性の育成とともに、音楽に親しむ態度や豊かな情操を培う内容となっているか。	児童にとってポピュラーなあそびうたを取り上げている。音楽を通して他者とのスキンシップを楽しみながら、音楽を親しむ態度や豊かな情操の育成につながるよう工夫されている。
⑤　楽しく音楽にかかわり、興味・関心を持って取り組めるよう工夫されているか。	簡単な手遊び歌からダイナミックな動きを伴う遊び歌まで、様々な遊び歌で構成されている。明るく愛らしい挿絵は随所に笑顔があふれており、楽しく歌って遊べるよう工夫されている。

（３）　「改訂新版　どうようえほん１」　ひかりのくに　　（めやすとなる学年：１～３年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	児童が興味・関心をもって楽しく音楽にかかわれるよう工夫され、学習指導要領の目標や内容に沿ったものとなっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	楽譜は指導用にも使えるようコードつきのものが提示されているが、大きく表示されており、音符を目で追って学習することもできるなど、児童の障害の状況や発達段階に即した内容となっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	歌詞は平仮名で大きく表記されており、わかりやすい。
④　音楽活動を通して音楽を愛好する心情と感性の育成とともに、音楽に親しむ態度や豊かな情操を培う内容となっているか。	児童にとって馴染みのある童謡が取り上げられている。アップテンポで活動的な楽曲やスローテンポの楽曲など、児童の感性に働きかけ、豊かな情操を培う内容となっている。
⑤　楽しく音楽にかかわり、興味・関心を持って取り組めるよう工夫されているか。	ページの中に、歌詞と楽譜、絵等がバランスよく配置されている。挿絵は歌の雰囲気を伝える様々なタッチのものが描かれていて楽しく興味・関心を持って取り組めるよう工夫されている。

（４）　「ＩＣピアノえほん　四季のどうよう－１２ヶ月」　大日本絵画

（めやすとなる学年：２～４年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	季節の行事や生活に馴染みのある童謡等を扱って音楽活動ができるように工夫されており、学習指導要領に沿った内容となっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	音符の下に階名が色分けされて提示され、階名唱をしたり、付属の簡易ピアノを弾いたりすることが容易にできるよう工夫されており、児童の障害の状況や発達段階に即して活用できる内容となっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	楽譜に階名と歌詞が書き込まれている。また、音符や階名と対応させて歌詞を読むことができるようになっており、学習を効果的に進めることができるよう配慮されている。
④　音楽活動を通して音楽を愛好する心情と感性の育成とともに、音楽に親しむ態度や豊かな情操を培う内容となっているか。	１月から１２月まで、季節に合わせた１２曲の童謡で構成されている。季節の行事や生活に馴染んだ「うれしいひなまつり」「チューリップ」などの親しみやすい楽曲が扱われており、音楽を愛好する心情と感性を育むことができるよう工夫されている。
⑤　楽しく音楽にかかわり、興味・関心を持って取り組めるよう工夫されているか。	楽譜に示された色を追って付属の簡易ピアノを弾くことができ、耳で覚えている曲を自分で表現できる喜びが感じられるよう工夫されている。また、同じ色で鍵盤を示すことにより、身近な鍵盤楽器へと発展的に指導することもできる。

（５）　「DVD でひける！はじめてのピアノえほん１たのしいピアノのおけいこ」　成美堂出版

（めやすとなる学年：３～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	鍵盤楽器を使った音楽活動が取り入れられ、分かりやすく音楽表現ができるよう工夫されており、学習指導要領に沿った内容となっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	音符の下に階名が色分けして提示されているので、階名唱をしたり、鍵盤楽器で演奏したりしやすい。また音符や記号の説明は平易なことばでわかりやすい。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	楽譜には、音符に対応させて歌詞と階名が提示されているので、音符を追いながら歌詞唱や階名唱ができる。
④　音楽活動を通して音楽を愛好する心情と感性の育成とともに、音楽に親しむ態度や豊かな情操を培う内容となっているか。	「うみ」「春の小川」など親しみやすい童謡・唱歌等が取り上げられ、音楽活動が楽しく取り組めるように工夫されており、音楽に親しむ態度や豊かな情操を培う内容となっている。
⑤　楽しく音楽にかかわり、興味・関心を持って取り組めるよう工夫されているか。	楽曲に合った挿絵が豊富に描かれ、多くの楽曲がコンパクトに収められている。音符や休符などについて、学びながら歌ったり、鍵盤楽器を演奏したりできるよう工夫されている。

種目名　【図画工作】

一般図書選定のための参考事項

（１）　「クレヨンあそび」　岩崎書店　　（めやすとなる学年：１～３年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	クレヨンを使って、多様な描き方で楽しみながら豊かな情操を養えるよう工夫されており、学習指導要領に沿った内容となっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	材料や用具は身近なものであり、児童の能力や特性に応じて選ぶことができ、障害の状況や発達段階に即して活用できる内容となっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	イラストや作品例は鮮明で、見開きの右ページに技法、左ページに作品例や発展的内容が紹介されており、効果的に表現活動を進めることができるよう配慮されている。
④　題材は、感性を働かせながらつくりだす喜びを味わい、豊かな情操を養う内容となっているか。	イラストが美しく、簡単な作品例によって児童が自分なりの表現意欲をもちやすいよう工夫されていて、豊かな情操を養う内容となっている。
⑤　材料や用具、技法が幅広く取り入れられ、豊かな発想につながるよう工夫されているか。	クレヨンで線を描く、塗る、重ねるなどの技法が紹介され、様々なものの形を擦り出したりアイロンで転写したり墨汁と組み合わせたりするなど、豊かな発想を生かして造形活動が楽しめるよう工夫されている。

（２）　「あそびのひろば４　はりえあそび」　ポプラ社　　（めやすとなる学年：１～３年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	いろいろな材料を使って、楽しみながら表現活動ができるよう工夫されており、学習指導要領に沿った内容となっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	材料を選び、ちぎったり切ったりして貼るという過程で、表現の幅を広げる造形活動ができ、障害の状況や発達段階に即して活用できる内容となっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	色紙や和紙だけでなく、毛糸やストロー、木の葉など多様な材料を用いて、平面から立体的な作品づくりができる構成となっており、効果的に造形活動が進められるよう配慮されている。
④　題材は、感性を働かせながらつくりだす喜びを味わい、豊かな情操を養う内容となっているか。	イラストと写真を組み合わせて美しい紙面構成とすることによって、作ってみたい気持ちが喚起できるように工夫されていて、豊かな情操を養う内容となっている。
⑤　材料や用具、技法が幅広く取り入れられ、豊かな発想につながるよう工夫されているか。	身近な材料をちぎったり切ったりして貼ることから、簡単に楽しく作り上げていく喜びが味わえ、豊かな発想につながるよう工夫されている。

（３）　「あそびのひろば１　はんがあそび」　ポプラ社　　（めやすとなる学年：１～３年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	版画を通して、楽しみながら造形活動に取り組み豊かな情操を養えるよう工夫されており、学習指導要領に沿った内容となっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	身近な材料、用具で取り組めるように様々な種類の版画が紹介されているので、障害の状況や発達段階に即して活用できる内容となっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	猫の足跡や自分の手形から版画の原理を伝え、さらに版画遊びへと発展的に豊かな造形につなげられていて、効果的に造形活動が進められるよう配慮されている。
④　題材は、感性を働かせながらつくりだす喜びを味わい、豊かな情操を養う内容となっているか。	作品例が美しく易しいので、感性を働かせながらさらに工夫した作品づくりに取り組むことができる内容となっている。
⑤　材料や用具、技法が幅広く取り入れられ、豊かな発想につながるよう工夫されているか。	野菜、木の葉、折り紙などを使い、色を塗って押す、擦り出すなど、多様な版画の技法を紹介し、豊かな発想につながるよう工夫されている。

（４）　「たのしいこうさくきょうしつ１」　さ・え・ら書房　　（めやすとなる学年：１～４年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	身近な材料を使って、楽しみながら造形活動に取り組めるよう工夫されており、学習指導要領に沿った内容となっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	身近な材料を用いて作って遊ぶことを目的に、楽しく造形活動ができるよう工夫されていて、児童の障害の状況や発達段階に即して活用できる内容となっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	楽しいイラストで作り方が説明されているので、児童が興味・関心をもって取り組め、効果的に造形活動が進められるよう配慮されている。
④　題材は、感性を働かせながらつくりだす喜びを味わい、豊かな情操を養う内容となっているか。	作品例が平易でわかりやすく、発想を生かして発展的に取り組めるヒントも書かれているので、感性を働かせながら作り出す楽しさを味わえる内容となっている。
⑤　材料や用具、技法が幅広く取り入れられ、豊かな発想につながるよう工夫されているか。	粘土、紙、牛乳パックなど身近な材料を組み合わせた幅広い技法が取り入れられ、基本の形から豊かな発想につながるよう工夫されている。

（５）　「あそびの絵本　えのぐあそび」　岩崎書店　　（めやすとなる学年：１～４年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	絵の具を使った様々な表現方法が紹介され、表現の幅を広げながら楽しく取り組むことができるよう工夫されていて、学習指導要領に沿った内容となっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	絵の具の紹介から作品の描き方まで紹介され、障害の状況や発達段階に即して活用できる内容となっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	実際に絵の具で描いた作品例に解説するための挿絵が効果的に使われ、徐々に発展的な内容となり、学習が効果的に進められるよう配慮されている。
④　題材は、感性を働かせながらつくりだす喜びを味わい、豊かな情操を養う内容となっているか。	作品例がわかりやすく、描いてみたい気持ちを喚起するよう工夫されている。絵の具の良さを活かして、作品を作ってみたい発想につながる内容となっている。
⑤　材料や用具、技法が幅広く取り入れられ、豊かな発想につながるよう工夫されているか。	絵の具だけでなく、指、ストロー、筆、スポイトなど幅広い用具を使い、塗る、吹く、にじませるなど、造形活動が楽しくできるよう工夫されている。

（６）　「あそびのおうさまずかん 12　リサイクルこうさく増補改訂」　学研

（めやすとなる学年：３～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	生活の中でいらなくなったものから美しいもの、楽しいもの、使えるものを作りだす喜びを味わうことができるよう工夫されていて、学習指導要領に沿った内容となっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	様々な用具を使う作品が多様に紹介されており、児童の能力や特性に応じて安全に取り組めるものを選ぶことができ、障害の状況や発達段階に即して活用できる内容となっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	写真が多く使われて美しく、作品例も豊富で児童の制作意欲を喚起するよう工夫されていて、学習が効果的に進められるよう配慮されている。
④　題材は、感性を働かせながらつくりだす喜びを味わい、豊かな情操を養う内容となっているか。	写真だけでなくイラストで作り方や注意事項が描かれており、簡単な工作から徐々に大きくダイナミックな作品づくりができるよう、豊かな情操を養う内容となっている。
⑤　材料や用具、技法が幅広く取り入れられ、豊かな発想につながるよう工夫されているか。	材料は家庭や学校でも集めることができ、ものの形から発想を広げる、つぶして再構成するなど、多くの作品例を参考に幅広い造形活動を行うことができる。

（７）　「ペーパーランド８　おりがみえあそび」　ポプラ社　（めやすとなる学年：１～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	児童の興味を喚起するような作品が紹介されており、楽しみながら造形活動に取り組めるよう工夫されていて、学習指導要領に沿った内容となっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	おりがみを折って自由な発想で遊ぶことができ、障害の状況や発達段階に即して活用できる内容となっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	一つ一つの作品について制作手順がわかりやすく示されており、児童の活動意欲が喚起されるよう工夫がなされている。
④　題材は、感性を働かせながらつくりだす喜びを味わい、豊かな情操を養う内容となっているか。	おりがみを折って、絵の一部として表現し、飾ったり遊んだりする中で、つくりだす喜びを味わいながら豊かな情操を養う内容となっている。
⑤　材料や用具、技法が幅広く取り入れられ、豊かな発想につながるよう工夫されているか。	折ったおりがみで造形活動をすることで、楽しい気持ちを味わいながら作品づくりに取り組むことができるよう工夫されている。

（８）　「ＮＨＫ　新ひとりでできるもん！リサイクルでつくっちゃおう - 工作 - 」　金の星社

（めやすとなる学年：４～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	様々な廃材を使って、楽しみながら造形活動に取り組むことができるよう工夫されており、学習指導要領に沿った内容となっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	日常生活から出る廃材が材料であり、用具も身近で安全なもので制作が楽しめるよう工夫されており、障害の状況や発達段階に即して活用できる内容となっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	写真やイラストが鮮明で、準備物、手順、作品例が効果的に示され、見通しをもって制作できるように工夫され、学習が効果的に進められるよう配慮されている。
④　題材は、感性を働かせながらつくりだす喜びを味わい、豊かな情操を養う内容となっているか。	作品例の写真が造形的に美しく、イラストで制作手順がわかりやすく説明されているため児童の創作意欲の高まりや発想が促されやすく、豊かな情操を養う内容となっている。
⑤　材料や用具、技法が幅広く取り入れられ、豊かな発想につながるよう工夫されているか。	様々な廃材を様々な技法を使って組み合わせることで、豊かな発想で造形活動ができるよう工夫されている。

（９）　「はじめてのこうさくあそび」　のら書店　　（めやすとなる学年：４～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	身近な材料を使って、自由な発想で楽しみながら造形活動に取り組めるよう工夫されており、学習指導要領に沿った内容となっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	材料や用具は身近なものであり、児童の能力や特性に応じて選ぶことができ、障害の状況や発達段階に即して活用できる内容となっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	写真が鮮明で、準備物、手順、作品例が効果的に示され、見通しをもって制作できるように工夫され、学習が効果的に進められるよう配慮されている。
④　題材は、感性を働かせながらつくりだす喜びを味わい、豊かな情操を養う内容となっているか。	イラストと写真を組み合わせて美しい紙面構成にすることによって、作ってみたいという気持ちが喚起できるように工夫されている。
⑤　材料や用具、技法が幅広く取り入れられ、豊かな発想につながるよう工夫されているか。	身近な材料や用具が豊富にわかりやすいイラストで順序よく説明され、豊かな発想を引き出すよう工夫されている。

(10)　「工作図鑑　作って遊ぼう！伝承創作おもちゃ」　福音館書店

（めやすとなる学年：５～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	様々な材料・用具を使用する工作が数多く掲載され、造形能力を高めるよう工夫されていて、学習指導要領に沿った内容となっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	作品には難易度が示されてあり、児童の力に合った課題に挑戦できるよう工夫されていて、障害の状況や発達段階に即して活用できる内容となっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	完成図・用具・材料・作り方・遊び方が豊富に、繊細なイラストで順序よくわかりやすく説明され、学習が効果的に進められるよう配慮されている。
④　題材は、感性を働かせながらつくりだす喜びを味わい、豊かな情操を養う内容となっているか。	精細な絵や図で作品例や作り方が示され、児度の興味・関心や能力などに応じてどこからでも取り組める造本となっているので、感性を働かせながら作り出す喜びを味わえる内容となっている。
⑤　料や用具、技法が幅広く取り入れられ、豊かな発想につながるよう工夫されているか。	用具を自由に使いこなし親しみをもって大切に扱うことに配慮されており、ものを作る楽しさ、できあがった時の喜びを味わえるよう工夫されている。

種目名　【家　庭】

一般図書選定のための参考事項

（１）　「子どものマナー図鑑（１）　ふだんの生活のマナー」　偕成社

（めやすとなる学年：５～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	日常生活の様々な場面が網羅され、生活に必要な基礎的知識と技能および態度が身に付くようにまとめられており、学習指導要領の目標や内容に沿ったものとなっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	冒頭のページの中から悪いマナーの例を探し、食事、洗濯、掃除、買い物など日常生活場面で自分の生活を振り返るとともに体験的学習につなげることができる。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	イラストが豊富で親しみやすく、洗濯や掃除の仕方、入浴の順序などがわかりやすく実践できるように工夫されており、学習が効果的に進められるよう配慮されている。
④　日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能および態度を育てる内容となっているか。	様々な生活場面から具体的なマナーを伝えることで日常生活に必要な基礎的、基本的知識、技能および態度が身に付くように工夫されている。
⑤　自己防止や安全、衛生に留意できるよう工夫されているか。	調理や買い物での安全上の留意点、入浴時やトイレでの衛生上の注意事項がわかりやすく説明されている。

（２）　「はじめての手芸シリーズ１　へんしん　糸・ひも・布」　偕成社

（めやすとなる学年：５～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	用意する材料や道具、作品例、作り方が適切に配置され、興味・関心を喚起して取り組めるように工夫されており、学習指導要領の目標や内容に沿ったものとなっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	布や毛糸など様々な素材を使い、児童の能力に応じて制作が楽しめるように工夫されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	作品例が美しく、制作手順がわかりやすいイラストで描かれており、親しみやすい。
④　日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能および態度を育てる内容となっているか。	生活に役立つ簡単な物の制作を通して、日常生活に生かせる知識や技能が身に付くように工夫されている。
⑤　自己防止や安全、衛生に留意できるよう工夫されているか。	比較的安全な道具で製作ができ、難易度が３段階に分けて示されているので、児童の能力や学習段階に合わせて活用できる。

（３）　「坂本廣子のひとりでクッキング（１）　朝ごはんつくろう！」　偕成社

（めやすとなる学年：５～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	食材についての解説や発展的な料理が紹介されており、食についての興味・関心が高まるように工夫されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	調理前の準備から実際の調理方法、献立を考える、後片付けへと手順がわかりやすく示されており、発達段階に応じて学習を進めることができる構成となっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	材料や道具が絵とことばでわかりやすく示され、手順も楽しいイラスト入りで親しみやすく、学習が効果的に進められるよう配慮されている。
④　日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能および態度を育てる内容となっているか。	朝ご飯づくりを通して調理の基本的知識や技能が身に付けられるように工夫されている。
⑤　自己防止や安全、衛生に留意できるよう工夫されているか。	調理前に注意すること、包丁やまな板の安全な使い方など、衛生面や安全面への留意事項が挿絵とともに、わかりやすく示されている。

（４）　「ひとりでできるもん！５　すてきなおかし作り」　金の星社

（めやすとなる学年：５～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	調理のポイントが冒頭で説明されていたり、用意する材料が絵で示されたりと児童が興味・関心をもって取り組み基礎的な理解を図れるように工夫されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	比較的簡単なお菓子づくりが紹介されており、様々な材料や道具を使うことで生活経験を広げられるように工夫されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	お菓子の写真がつくりたい気持ちを喚起し、手順のイラストが単純でわかりやすく表示されており、学習が効果的に進められるよう配慮されている
④　日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能および態度を育てる内容となっているか。	簡単なお菓子づくりを通して基本的な調理の知識や技能が身に付き、楽しく取り組むことができる内容となっている。
⑤　自己防止や安全、衛生に留意できるよう工夫されているか。	包丁をほとんど使わず、身近な道具を使って調理することができるように工夫されている。（包丁を使用するのは、２カ所）

（５）　「ひとりでできるもん！４　うれしいごはん・ぱん・めん料理」　金の星社

（めやすとなる学年：５～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	日常生活において基本的な料理の作り方が身に付き、自立した生活の基本的能力の育成に役立つように工夫されていて、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	わかりやすいイラストで身近な料理の作り方が配列されており、児童の能力に応じて選択し、活用できるよう工夫されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	見開き２ページで作り方がすべてわかるように構成されており、開いた本を見ながら手順を追って調理できるよう工夫されていて、学習が効果的に進められるよう配慮されている。
④　日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能および態度を育てる内容となっているか。	日常生活に必要な身近で基本的な料理の作り方が身に付き、様々な材料や道具を使うことで生活経験を広げ、興味・関心をもって取り組めるよう工夫されている。
⑤　自己防止や安全、衛生に留意できるよう工夫されているか。	最初に料理をする時に気をつけるチェックポイントが書かれていて、安全や衛生に留意できるよう工夫されている。

（６）　「新・こどもクッキング」　女子栄養大学出版部

（めやすとなる学年：５～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	基本的な料理から応用、発展的な料理まで幅広く掲載され、児童の興味・関心に応じて実践的に取り組めるよう工夫され、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	材料別に多くの料理が紹介され、児童の能力に応じて選択し、取り組めるよう工夫されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	完成した料理や作り方が写真とともに単純な図解で示されており、親しみやすくわかりやすい。
④　日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能および態度を育てる内容となっているか。	身じたくから材料、道具の準備、計量の仕方、調理方法まで幅広く知識や技能が身に付くよう工夫されている。
⑤　自己防止や安全、衛生に留意できるよう工夫されているか。	児童が実際に調理している写真が示され、安全な道具の使い方がわかりやすく示されている。

種目名　【保　健】

一般図書選定のための参考事項

（１）　「子どもの生活（３）　マナーをきちんとおぼえよう！」　偕成社

（めやすとなる学年：３～４年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	日常生活場面から基本的生活習慣が身に付き、明るく豊かな生活を営む態度を育てるものとなっており、学習指導要領に示された目標や内容に沿っている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	基本的生活習慣を身に付ける必要性について、イラストを多く用いてわかりやすいことばで表現されていて、障害の状況や発達段階に即して活用できる内容となっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	わかりやすい挿絵が多く使われており、児童の興味・関心を喚起するような造本となっており、学習が効果的に進められるよう配慮されている。
④　健康の保持増進と体力の向上を目指し、健康で豊かな生活を送る基礎づくりができる内容となっているか。	食事や入浴、排泄など、日常生活における具体的場面が取り入れられ、基本的な生活場面から友だちとうまく関わろうとする心の健康に至るまでわかりやすく配列されている。
⑤　健康や安全、病気の予防に留意できるよう工夫されているか。	一日の生活の仕方や身体や身の回りの清潔など、健康で安全な生活の基礎となる内容がわかりやすく取り入れられている。

（２）　「子どもの生活（６）　じょうぶなからだになれるよ！」　偕成社

（めやすとなる学年：３～４年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	健康の保持増進のために必要な姿勢や運動、身の回りの清潔など基礎的な内容が取り扱われていて、健康に関する初歩的な事柄が理解できるよう工夫されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿っている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	健康な生活についての説明が平易なことばでわかりやすくまとめられている。また、生活をする上で必要な事柄を中心に示しており、発達段階に合ったわかりやすいものとなっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	児童にとって身近な健康安全に関する事項から、徐々に自分の身体の仕組みや病気の予防に気を付けられるよう順序よく配列されていて、学習が効果的に進められるよう配慮されている。
④　健康の保持増進と体力の向上を目指し、健康で豊かな生活を送る基礎づくりができる内容となっているか。	身の回りの清潔、適切な運動などの必要性が児童にわかりやすく伝わるよう工夫されていて、自分の体を大切にしようとする態度を養うことができる内容となっている。
⑤　健康や安全、病気の予防に留意できるよう工夫されているか。	日頃から気をつけるべき生活習慣について取り上げ、生活に必要な知識と実践的態度を養うことができるよう工夫されている。

（３）　「こどものずかん９　からだとけんこう」　ひかりのくに

（めやすとなる学年：３～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	体のしくみや健康に関する初歩的な事柄が理解できるよう工夫されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	遊びや実験を中心に、体験しながら人の体の仕組みや不思議さを学べるように工夫されており、障害の状況や発達段階に即して活用できる内容となっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	体の仕組みが各器官などのグループにわけて示されており、内容を選んで活用しやすいよう工夫されている。
④　健康の保持増進と体力の向上を目指し、健康で豊かな生活を送る基礎づくりができる内容となっているか。	体の仕組みを知ることによって健康の保持や体力の向上について興味がもてるよう配慮されている。また、心の健康についても取り扱われており、健康で豊かな生活を送る基礎づくりができる内容となっている。
⑤　健康や安全、病気の予防に留意できるよう工夫されているか。	体の仕組みを表す写実的な挿絵と、説明のための簡単なイラストが適切に取り入れられ、自分の体に興味を持って健康な生活を送れるよう工夫されている。

（４）　「知識の絵本　ひとのからだ」　岩崎書店

（めやすとなる学年：３～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	体の仕組み、体の成長と男女のちがいなど、発育・発達についてわかりやすい言葉で表現されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	絵本の体裁で挿絵が効果的に使われており、平仮名で表記され、深い内容がわかりやすいことばで表現されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	児童の身近な生活から体の仕組みや健康の保持などについて具体的に取り入れられ、順序立ててわかりやすい配列となっている。
④　健康の保持増進と体力の向上を目指し、健康で豊かな生活を送る基礎づくりができる内容となっているか。	体の成長について、胎児からの成長や男女の違い、家族、命など、広範な内容について扱われ、生涯にわたって健康で豊かな生活を送るための基礎づくりに役立つ内容となっている。
⑤　健康や安全、病気の予防に留意できるよう工夫されているか。	体の仕組みや構造、健康保持について説明しており、自分だけでなく他者の心や体も大切にしていけるよう児童に呼びかけるような表現がされている。

（５）　「かがくのとも版　きゅうきゅうばこ新版」　福音館書店

（めやすとなる学年：３～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	けがをしたときの対処の仕方が取り扱われ、健康・安全に関する内容がわかりやすく示されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	楽しいイラストが描かれ、平仮名と片仮名でわかりやすく表現されている。児童が興味・関心をもって学習ができるよう工夫され、障害の状況や発達段階に即して活用できる内容となっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	児童がけがをしそうな場面が適切に取り入れられ、見開きの左ページにけがをした場面、右に具体的な手当ての仕方がわかりやすく配列されている。
④　健康の保持増進と体力の向上を目指し、健康で豊かな生活を送る基礎づくりができる内容となっているか。	けがをしたときの対処の仕方が取り扱われ、自分の健康安全を守るための基礎的な知識が身に付く内容となっており、日常生活の様々な場面で生かすことができる内容となっている。
⑤　健康や安全、病気の予防に留意できるよう工夫されているか。	具体的な手当ての方法について、自分にできる場合や病院に行く場合がわかりやすく説明されていて、健康や安全、病気の予防に留意できるよう工夫されている。

（６）　「子どもの健康を考える絵本（４）　からだがすきなたべものなあに？」　偕成社

（めやすとなる学年：５～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	栄養について基礎的な知識や関心がもてるように示されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	文字は大きくて読みやすく、手書きの図や挿絵により、興味を持って学習できるものとなっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	食べ物や栄養素についてわかりやすいことばで説明されていて、健康の保持や体力の向上について関心がもてるよう工夫されている。
④　健康の保持増進と体力の向上を目指し、健康で豊かな生活を送る基礎づくりができる内容となっているか。	栄養的にバランスのとれた食生活の大切さがわかり、健康の保持や体力の向上について興味・関心がもてるよう工夫されている。
⑤　健康や安全、病気の予防に留意できるよう工夫されているか。	健康な生活を送るためには、栄養的にバランスの良い食事が大切であることを、わかりやすく紹介している。

（７）　「子どもの健康を考える絵本（５）　こんなときどうするの？」　偕成社

（めやすとなる学年：５～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	身近に起こるけがの対応や病気の予防法など、健康に関する初歩的な事柄が理解できるよう示されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
⑥　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	文字は大きくて読みやすく、わかりやすい挿絵により、興味を持って学習できるものとなっている。
⑦　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	身近に起こるけがや事故の応急処置が具体的に示され、頻繁に起こりやすいことから順に配列されていて、わかりやすく工夫されている。
⑧　健康の保持増進と体力の向上を目指し、健康で豊かな生活を送る基礎づくりができる内容となっているか。	応急処置だけでなく、病院へ行くなど事後処理の仕方や、けがの予防についてもわかりやすく説明されている。また、具体的にとるべき行動についてもわかりやすい言葉を使って簡潔に示されている。
⑨　健康や安全、病気の予防に留意できるよう工夫されているか。	日常生活でよくあるけがや事故を中心に、正しい応急処置の仕方がわかりやすく説明され、自分の体は自分で守るという気持ちが育つよう工夫されている。

種目名　【英　語】

一般図書選定のための参考事項

（１）　「親子でうたう英語うたの絵じてん」　　三省堂

（めやすとなる学年：５～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	歌をとおして英語の音声に対する感覚を身につけ、英語への関心や意欲を高めることができるなど、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	親しみのある童謡や振りをつけて歌えるあそびうたが取り上げられており、発達段階に応じて活用できるものとなっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	絵本と併せて付属のCDを使って、正しい発音を聞きながら歌うことができるので学習を効果的に進めることができる。
④　日本語と外国語の違いに気付けるような簡単な表現を通して、外国語や外国への関心を育てる内容となっているか。	全曲に英語の歌詞と日本語訳が示されている。そのうち、あそびうたには、大きな挿絵で遊び方が示されており、歌をとおして日本語と外国語の違いを学ぶことができる内容となっている。
⑤　日常生活でよく使われる身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりする活動を通して学習できるよう工夫されているか。	英語の歌を何回も聞いたり口ずさんだりするうちに、児童が英語のリズムやイントネーションに自然に馴染み、親しみを持って学習できるように工夫されている。

（２）　「五味太郎のことばとかずの絵本　絵本ＡＢＣ」　　岩崎書店

（めやすとなる学年：５～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	アルファベットや身近にある英単語などに親しみながら学習できるよう工夫されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	日用品やスポーツなど身近な場面がわかりやすい絵で示され、児童の発達段階や興味・関心に即して活用できるものとなっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	記号的に表す役目のアルファベットから、その元の意味となる英単語を理解できるように工夫されている。
④　日本語と外国語の違いに気付けるような簡単な表現を通して、外国語や外国への関心を育てる内容となっているか。	方角や服のサイズなど、生活場面で児童が見かけるアルファベットや単語の頭文字を取り上げ、挿絵を理解の支えとしながら日本語と英語の違いに気付けるように工夫されている。
⑤　日常生活でよく使われる身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりする活動を通して学習できるよう工夫されているか。	トイレや映画館、駐車場などの公共の場で使われているマークや表示を挿絵と英単語で示されており、話したり書いたりする英語表現の学習に興味や関心がもてるように工夫されている。

（３）　「ひらがな　和英えほん」　　戸田デザイン研究所

（めやすとなる学年：５～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	日常生活に関する身近で簡単な英単語を親しみながら学習できるよう工夫されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	食べ物、動物、文房具、色などの基本的な英単語の文字が大きくわかりやすく表記され、理解を助けるよう工夫されている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	イラストに対応して日本語、ページをめくると英語になるような仕掛けえほんの形で、楽しく学習することができるよう配慮されている。
④　日本語と外国語の違いに気付けるような簡単な表現を通して、外国語や外国への関心を育てる内容となっているか。	「blue:ブるー」「red:レッド」というように、片仮名と平仮名の組み合わせで発音が示されており、日本語と英語の音声の違いに気付けるよう工夫されている。
⑤　日常生活でよく使われる身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりする活動を通して学習できるよう工夫されているか。	身近な名詞だけでなく児童の生活場面で使える簡単な動詞も取り上げられており、英語で話してみたいという意欲が持てるものとなっている。

（４）　「えいごえほん　ぞうさん　がっこうにいく」　　あかね書房

（めやすとなる学年：５～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	学校生活の１日の流れに沿って身近で簡単な英単語を親しみながら学習できるよう工夫されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	あいさつ、色、かたちなどテーマごとに英単語と基本的な英会話の場面がイラストとともに表現され、わかりやすいものとなっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	ぞうの子が家族や友だちとの会話をする場面が日本語と英語の両方で表記されているので、意味を理解しながら学習することができるよう工夫されている。
④　日本語と外国語の違いに気付けるような簡単な表現を通して、外国語や外国への関心を育てる内容となっているか。	文房具や形、色、楽器など学校生活で活用する身近なものを英単語で表現されているので、実際の場面で使えるものが多く、英語への関心が高められる内容となっている。
⑤　日常生活でよく使われる身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりする活動を通して学習できるよう工夫されているか。	学校生活における場面で身近なやり取りが挿絵とともに英単語で示されており、英語で話してみたいという意欲が持てるよう工夫されている。

（５）　「CD つき小学生の英語レッスン　絵でみて学ぼう英会話」　　成美堂出版

（めやすとなる学年：５～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	あいさつや質問の仕方等、すぐに使える日常生活の英会話を扱っており学習指導要領に示された目標や内容に沿っている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	日常生活でよく使われる会話が、英語とイラストでわかりやすく表現されているので、どのような状況や場面で使うのかがわかりやすい。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	すべての会話文には、発音の手引きとして片仮名で読み方が書いてあり、強く読むアクセントは太字で示されており、学習が効果的に進められるよう配慮されている。
④　日本語と外国語の違いに気付けるような簡単な表現を通して、外国語や外国への関心を育てる内容となっているか。	内容に関連した別の表現や内容に関して役立つ知識が「ステップアップ」「ワンポイントアドバイス」として示されており、日本語と英語を比較したり、関心を持って学んだりすることができる内容となっている。
⑤　日常生活でよく使われる身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりする活動を通して学習できるよう工夫されているか。	日常生活でよく使われる身近で簡単な単語や文を付属の CD で聞くことができる。繰り返し聞いて自分で発音し、学習できるよう工夫されている。

種目名　【道　徳】

一般図書選定のための参考事項

（1）「ワンダー ３さいのおはなし ４ 心が豊かになるお話」　世界文化社

（めやすとなる学年：１～３年）

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	物語を通して、自分の経験と照らし合わせながら考えを深めることができるなど、学習指導要領に沿った内容になっている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	視覚的に理解しやすいはっきりとした色彩の挿絵が使われており、楽しみながら内容を理解でき、児童の障害の状況や発達段階に即した内容となっている。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	題材に適した挿絵からイメージが広がるよう工夫され、児童の実態に合わせて学習が効果的に進められるよう配慮されている。
④ 明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図ることができる内容となっているか。	登場人物の気持ちを考えやすく、自分の好き嫌いにとらわれないで接することや家族の役に立つことの大切さなどを学べる内容となっている。
⑤ 豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができる内容となっているか。	児童が物語を通して、多様な考え方や感じ方に接することができ、物事を多面的に考える力を育むことができる内容となっている。

（2）「ワンダー ４さいのおはなし ８ やさしい心を育てるお話」　世界文化社

（めやすとなる学年：１～４年）

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	物語を通して、自分の経験と照らし合わせながら考えを深めることができるなど、学習指導要領に沿った内容になっている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	挿絵は、その場面の状況を適切に表現しており、自然に内容を理解でき、児童の障害の状況や発達段階に即した内容となっている。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	題材に適した挿絵からイメージや思考が深まるよう工夫され、児童の実態に合わせて学習が効果的に進められるよう配慮されている。
④ 明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図ることができる内容となっているか。	登場人物の気持ちを考えることによって、人にやさしくすることや協力することの大切さなどを学べる内容となっている。
⑤ 豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができる内容となっているか。	児童が物語を通して、多様な考え方や感じ方に接することができ、物事を多面的に考えることができる。さらに自分で考えを深め、判断し、表現できる力を育むことができる内容となっている。

（３）　「４・５・６さいの　きもちをつたえる　ことばのえほん」　　講談社

（めやすとなる学年：３～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	集団や社会に関してのコミュニケーションに必要な基本のことばを育てる工夫がされており、学習指導要領に沿った内容となっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	「あいさつのことば」や「きもちをあらわすことば」がわかりやすく示されており、児童の障害の状況や発達段階に即した内容になっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	テーマごとに「おぼえたいことば」が示されており、児童の実態に合わせて学習が効果的に進められるよう配慮されている。
④　明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図ることができる内容となっているか。	「自分の気持ちを、相手に伝えることばの話」を通して、言葉によるコミュニケーションを理解し、言葉の知識を深めることで、生活体験が豊かになり、人とのつながりも広げていける内容となっている。
⑤　豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができる内容となっているか。	状況に応じた言葉を学習し、使えるようになることで、善悪の判断や社会生活上のきまりを理解し日常生活に役立てようとする気持ちを育てる内容となっている。

（４）　「こどもせいかつ百科」　　講談社

（めやすとなる学年：４～６年）

具体的観点	調査のまとめ
①　学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	日常生活や社会生活に必要な知識、技能や習慣が身に付くよう基礎的・基本的な事項が取り上げられており、学習指導要領に沿った内容となっている。
②　児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	日常生活の中から児童が社会参画や勤労などに主体的に取り組めるようイラストと言葉が対応しており、理解を助けるよう工夫がされ、児童の障害の状況や発達段階に即した内容になっている。
③　学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	手順がわかりやすいイラストで表現されており、児童が絵を見て「生活」の基本を身に付けられるように配慮されている。
④　明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図ることができる内容となっているか。	日常生活のマナーやルール、基本的生活習慣を身に付けられるように工夫されており、児童の日常生活に生かされる内容となっている。
⑤　豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができる内容となっているか。	家庭や地域など実際の生活の場で応用できる内容となっている。様々な経験を増やし、成功体験を積み上げることで明るい生活態度を養い、豊かな道徳的心情を育てる内容となっている。

○知的障害をともなわない児童の場合

肢体不自由、病弱・身体虚弱、難聴、弱視、自閉症・情緒障害学級における知的障害をともなわない児童の場合は、小学校の通常の学級における教科用図書に準じて採択するものとする。

ただし、視覚障害のある児童に対して検定済教科書と同一内容の文字等を拡大したいわゆる「拡大教科書」を採択する場合は、附則９条第１項の規定による教科用図書としての取扱いとなることに留意する。